

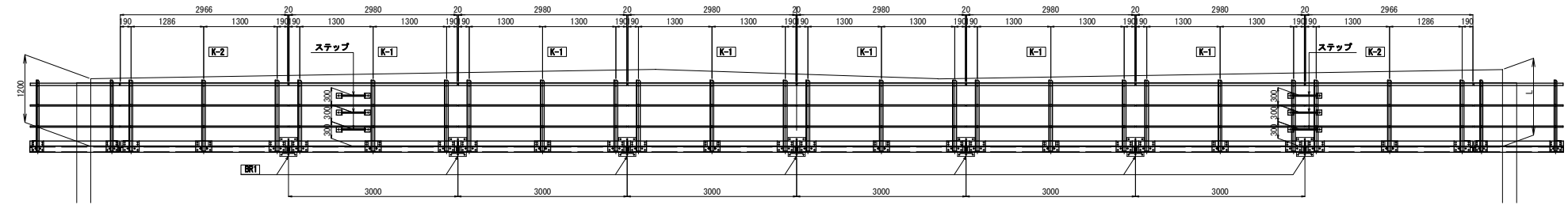
下部工検査路B 1 構造図(その1)

<P1, P4橋脚>

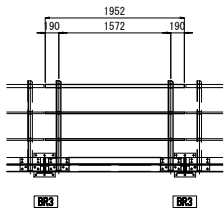
S=1:75

141 / 190

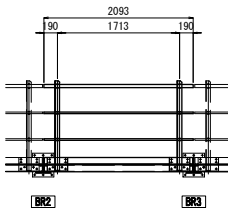
正面図



B-B
K-4正面



A-A
K-3正面



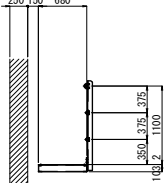
K-4正面 製作数: 2 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x1952 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x1952 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1948
2-PL 190x12x285 (SM400A)
6-BH W10x45 (Z-M)
6-BH W10x35 (Z-M)
2-U BOLT 呼びS32c
4-U BOLT 呼びF15c

K-3正面 製作数: 4 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x2083 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2083 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x2087
2-PL 190x12x285 (SM400A)
6-BH W10x45 (Z-M)
6-BH W10x35 (Z-M)
2-U BOLT 呼びS32c
4-U BOLT 呼びF15c

K-2正面 製作数: 4 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x2986 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2986 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1408
1-PL 90x3.2x1389
3-PL 190x12x285 (SM400A)
12-BH W10x45 (Z-M)
12-BH W10x35 (Z-M)
3-U BOLT 呼びS32c
6-U BOLT 呼びF15c

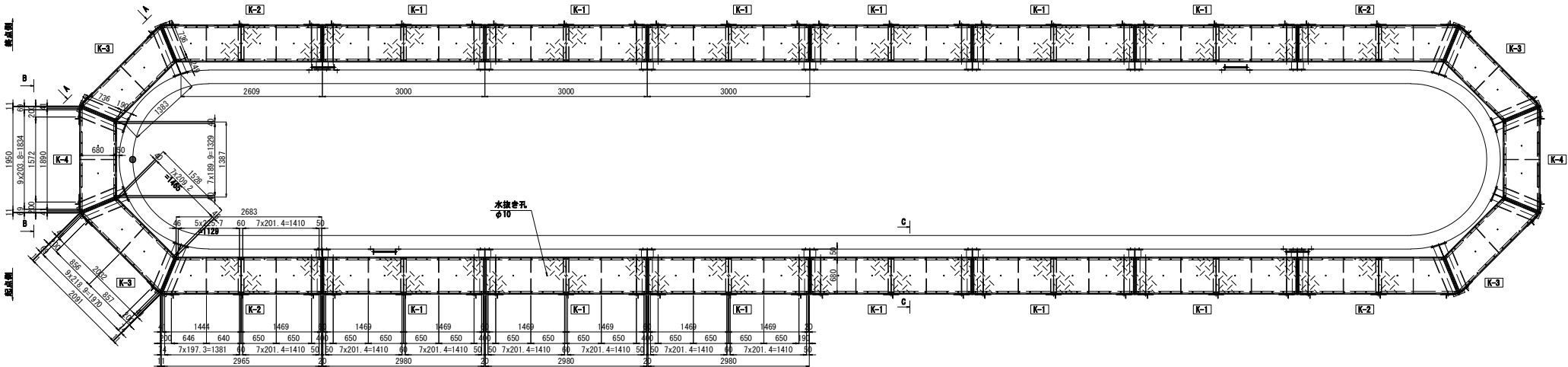
K-1正面 製作数: 12 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x2980 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2980 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1408
3-PL 190x12x285 (SM400A)
12-BH W10x45 (Z-M)
12-BH W10x35 (Z-M)
3-U BOLT 呼びS32c
6-U BOLT 呼びF15c

C-C



	P1	P4
L	1384	1428

平面図



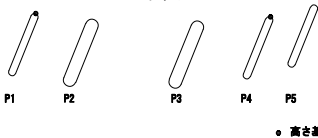
K-4 製作数: 2 (歩道)
1-CH. PL 680x3.2x1890 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x1950
1-CH 100x50x5x7.5x1387
2-L 75x75x6x756
2-FB 90x6x 729
1-FB 90x6x 670
16-BH W10x30 (1-M, 1-TW)
2-PL 60x6x 716 (SM400A)

K-3 製作数: 4 (歩道)
1-CH. PL 680x3.2x2032 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x2081
1-CH 100x50x5x7.5x1528
2-L 75x75x6x756
2-FB 90x6x 729
1-FB 90x6x 670
16-BH W10x30 (1-M, 1-TW)
2-PL 60x6x 716 (SM400A)

K-2 製作数: 4 (歩道)
1-CH. PL 680x3.2x1444 (SS400相当品)
1-CH. PL 680x3.2x1409 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x2986
1-CH 100x50x5x7.5x2683
1-L 75x75x6x 756
1-L 75x75x6x 670
2-L 65x65x6x 670
1-FB 90x6x 729
3-FB 90x6x 670
30-BH W10x30 (1-M, 1-TW)
1-PL 60x6x 716 (SM400A)
1-PL 60x6x 680 (SM400A)

K-1 製作数: 12 (歩道)
2-CH. PL 680x3.2x1409 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2980
2-L 75x75x6x 670
2-L 50x50x6x 670
4-FB 90x6x 670
32-BH W10x30 (1-M, 1-TW)
2-PL 60x6x 680 (SM400A)

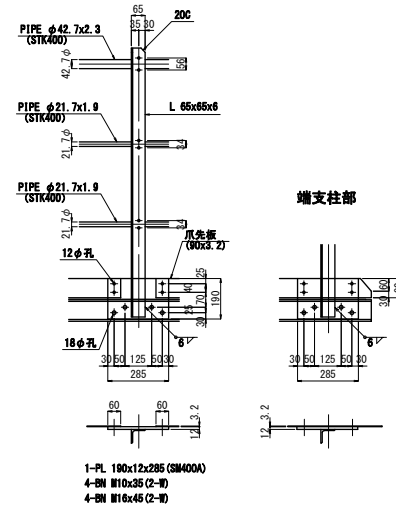
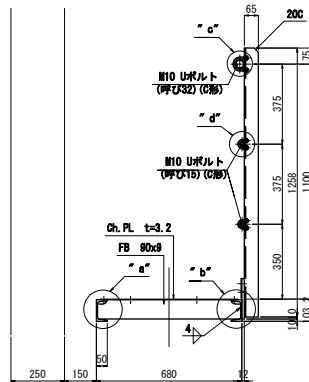
位置図



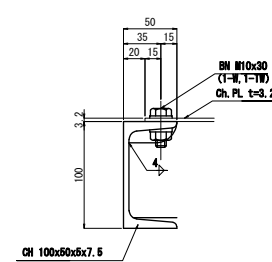
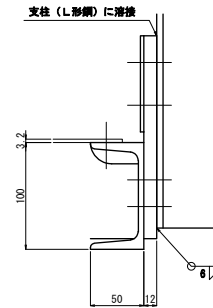
- 注 記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て締め止め
 - 部材は、全て溶接部締めつけとする。
亜鉛の膜厚は、JIS H8641 HDZT48~HDZT77とする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼端並びに高力ボルト等は基準77μm以上 (HDZT77) とする。
ただし、3.2mm以上の鋼材の溶接部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚48μm以上 (HDZT48) とする。
 - ボルト孔はメッキ付部を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	下部工検査路B 1 構造図(その1) <P1, P4橋脚>		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管運事務所		

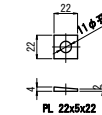
歩廊断面及び構造詳細図



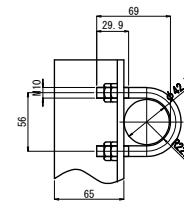
"a" 部詳細 S=1:5

**" b " 部詳細 S=1:5**

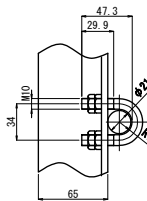
テーブル座金詳細 S=1:5



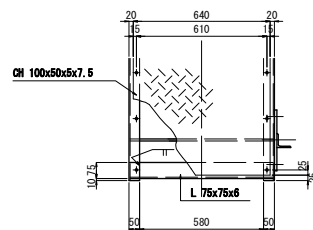
"C"部詳細 S=1:5



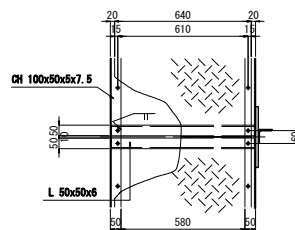
" d" 部詳細 S=1:5



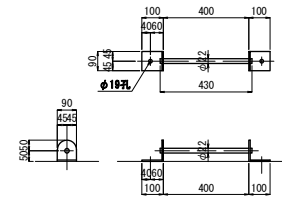
架け違い部(幅員680)詳細図



Ch. PL分割部 詳細図

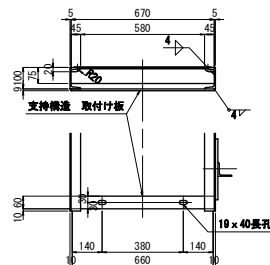


ステップ詳細図 S=1:25

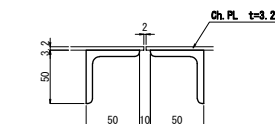


1箇所当り部材（設置数:12）
1. 22 1. 22 1. 22

- 1-RB $\phi 22 \times 430$
2-FB $90 \times 6 \times 200$
2-ホールインアンカー M16x125



1-1 S-1:5



注記

1. 特製ナット材質は、全てSS400とする。
2. 1.1ボルト付以外のはットは、全て縦止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶接継ぎめっきとする。
 主筋の厚さは、JIS H8641 HDZ749へHDZ777とする。
 寸法 3.2mm以上の引張及び型鋼並びに高力ボルト等は厚さ77 μ m以上とHDZ777とする。
 ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき厚は77 μ m以上とHDZ749とする。
3. 2mm未満の鋼材及び低張ボルト等は、厚さ49 μ m以上（HDZ748）とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋脚整備補修工事			
図面の種類	下部工検査直前日1構造図(その2) ＜P1, P4図＞		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

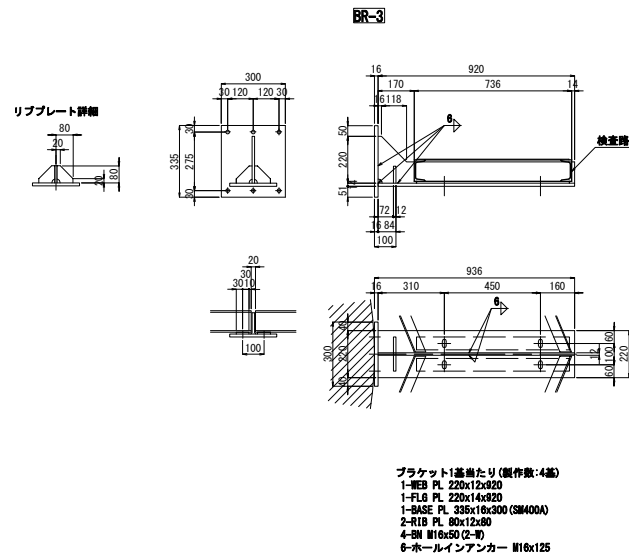
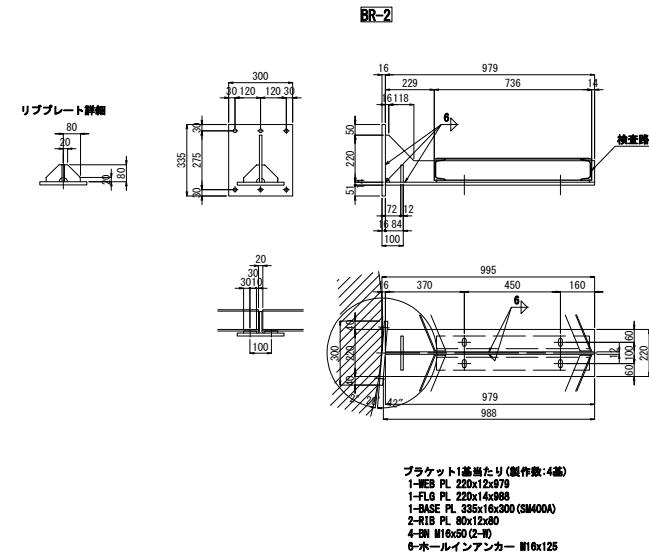
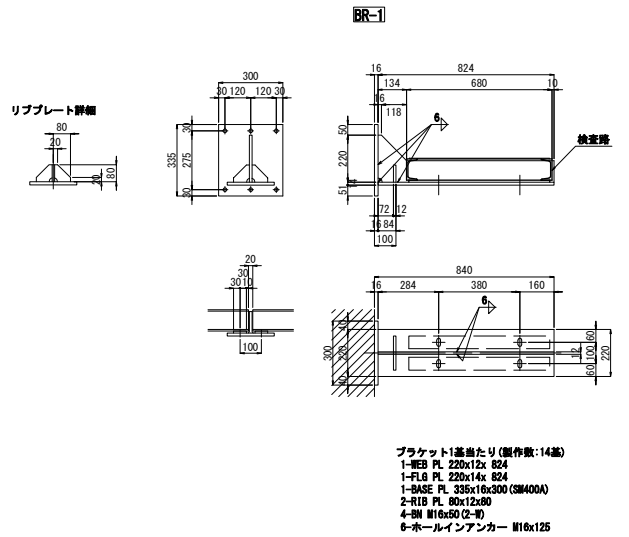
下部工検査路B 1 構造図(その3)

<P1, P4橋脚>

S=1:25

143 / 190

下部構造検査路支持構造図



注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て鎖み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
 亜鉛の膜厚は、JIS H8041 H0ZT49~H0ZT77とする。
 厚さ3.2mm以上の鋼材及び鋼板鋼管及び高力ボルト等は膜厚77μm以上 (H0ZT77) とする。
 ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。
 膜厚49μm以上 (H0ZT49) とする。
4. ボルト孔はメッキ付量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙合直都道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B 1 構造図(その3) <P1, P4橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

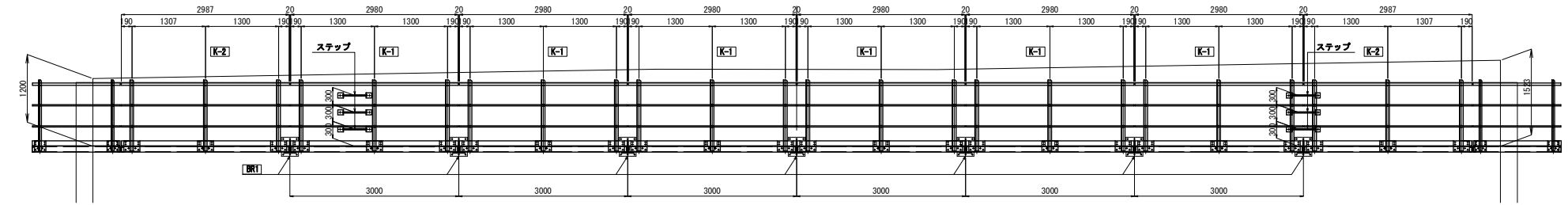
下部工検査路B1構造図(その4)

<P5橋脚>

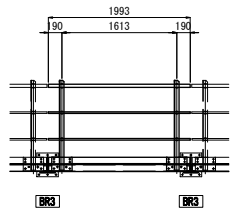
S=1:75

144 / 190

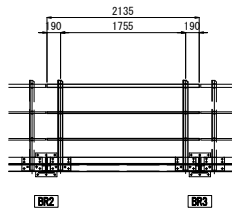
正面図



B-B
K-4正面



A-A
K-3正面



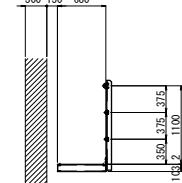
K-4正面 製作数: 2 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x1993 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x1993 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1987
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BH W16x45 (2-W)
8-BH W10x35 (2-W)
2-U BOLT 呼び32c
4-U BOLT 呼び15c

K-3正面 製作数: 4 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x2135 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2135 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x2129
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BH W16x45 (2-W)
8-BH W10x35 (2-W)
2-U BOLT 呼び32c
4-U BOLT 呼び15c

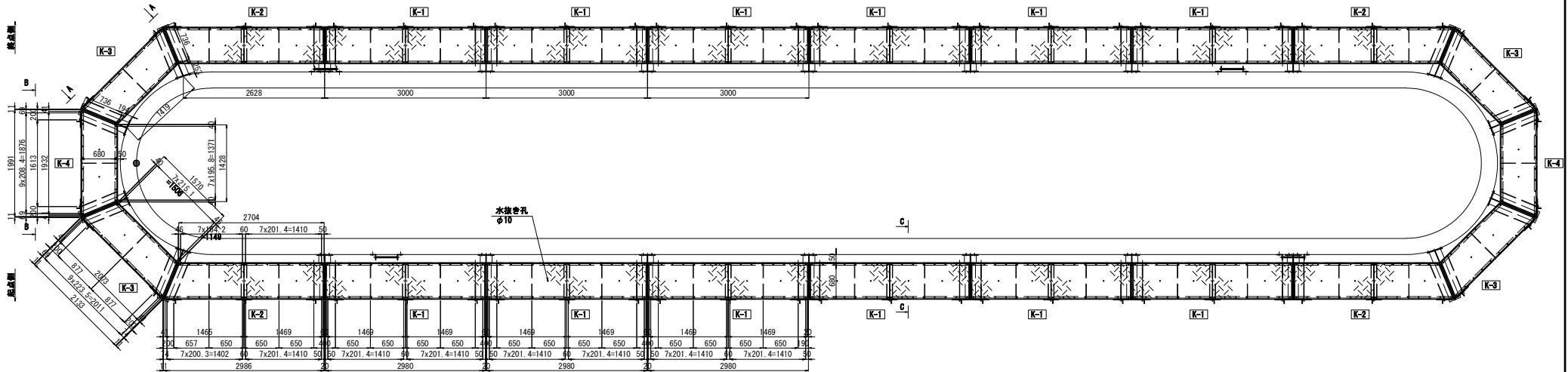
K-2正面 製作数: 4 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x2987 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2987 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1408
1-PL 90x3.2x1410
3-PL 190x12x285 (SM400A)
12-BH W16x45 (2-W)
12-BH W10x35 (2-W)
3-U BOLT 呼び32c
6-U BOLT 呼び15c

K-1正面 製作数: 12 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x2980 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2980 (STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1408
3-PL 190x12x285 (SM400A)
12-BH W16x45 (2-W)
12-BH W10x35 (2-W)
3-U BOLT 呼び32c
6-U BOLT 呼び15c

C-C



平面図



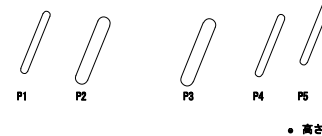
K-4 製作数: 2 (歩脚)
1-Ch. PL 680x3.2x1932 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x1991
1-CH 100x50x5x7.5x1428
2-L 75x75x6x756
2-FB 90x6x 729
1-FB 90x6x 670
16-BH W10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 60x6x 716 (SM400A)

K-3 製作数: 4 (歩脚)
1-Ch. PL 680x3.2x2073 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x2133
1-CH 100x50x5x7.5x1570
2-L 75x75x6x756
2-FB 90x6x 729
1-FB 90x6x 670
16-BH W10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 60x6x 716 (SM400A)

K-2 製作数: 4 (歩脚)
1-Ch. PL 680x3.2x1465 (SS400相当品)
1-Ch. PL 680x3.2x1469 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x2986
1-CH 100x50x5x7.5x2704
1-L 75x75x6x 756
1-L 75x75x6x 670
2-L 50x50x6x 670
1-FB 90x6x 729
3-FB 90x6x 670
32-BH W10x30 (1-W, 1-TW)
1-PL 60x6x 716 (SM400A)
1-PL 60x6x 680 (SM400A)

K-1 製作数: 12 (歩脚)
2-Ch. PL 680x3.2x1469 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2980
2-L 75x75x6x 670
2-L 50x50x6x 670
4-FB 90x6x 670
32-BH W10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 60x6x 680 (SM400A)

位置図

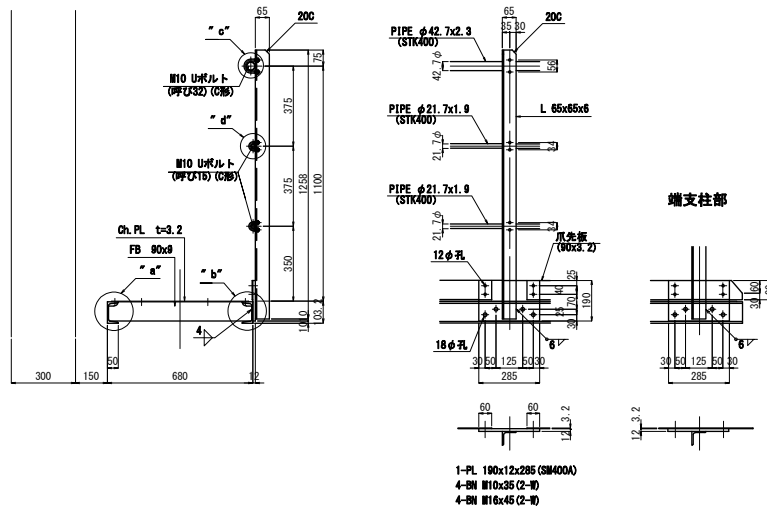


注 記

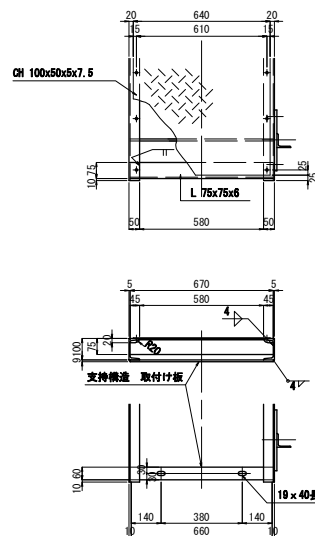
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
- 溶材は、全て溶融亜鉛めっきとする。亜鉛の膜厚は、JIS H8641 HDZT48~HDZT77とする。厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼組立に高力ボルト等は膜厚77μm以上 (HDZT77) とする。ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。
- 2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚48μm以上 (HDZT48) とする。
- ボルト孔はメッキ付部を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B1構造図(その4) <P5橋脚>		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

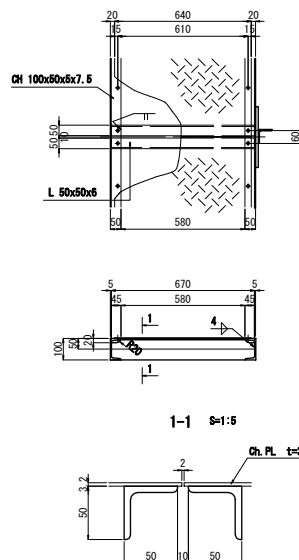
歩廊断面及び構造詳細図



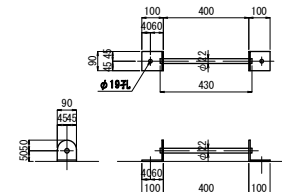
架け違い部(幅員680)詳細図



Ch. PL分割部 詳細図



ステップ詳細図 S=1:25



- 1箇所当り部材（設置数：12）
1-RB φ22x430
2-FB 80x6x200
2-ホールインアンカー M16x125

注記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付きけはるナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て海部規格のものとする。
 船体の厚手は、JIS H8041 HDZ748~HDZ777とする。
 厚さ3.2mm以上の鋼材及び低合金鋼並びに高力ボルト等は標準厚77mm(=HDZ777)とする。
 ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前プラスト処理を行うことを標準とする。
 3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、標準厚48mm(=HDZ748)とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋設計費抽当工事			
図面の種類	下部工検査当日 1 橋造図 (その5) ＜PS橋脚＞		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

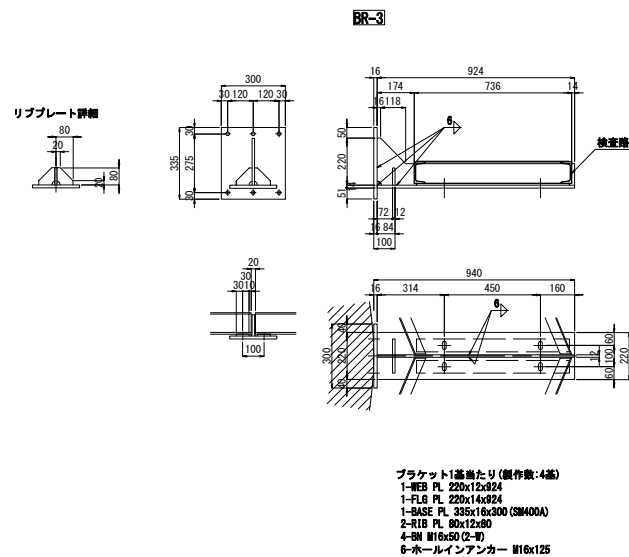
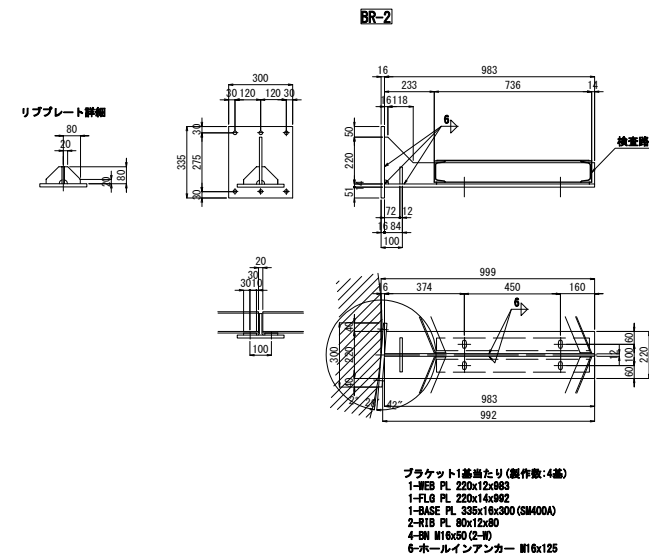
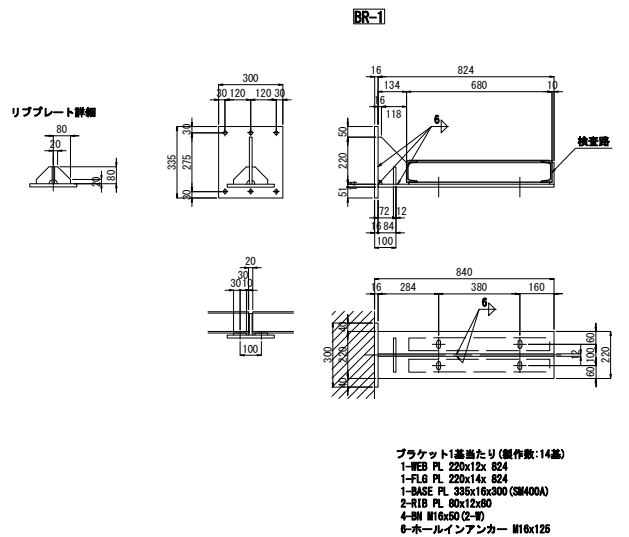
下部工検査路B 1 構造図(その6)

<P5橋脚>

S=1:25

146 / 190

下部構造検査路支持構造図



注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の膜厚は、JIS H8541 H0ZT49~H0ZT77とする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び鋼線鋼索並びに高力ボルト等は膜厚77μm以上(H0ZT77)とする。
ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。
2.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚49μm以上(H0ZT49)とする。
4. ボルト孔はメッキ付部を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙合東部道路 新名取川橋南側補強工事			
図面の種類	下部工検査路B 1 構造図(その6) <P5橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

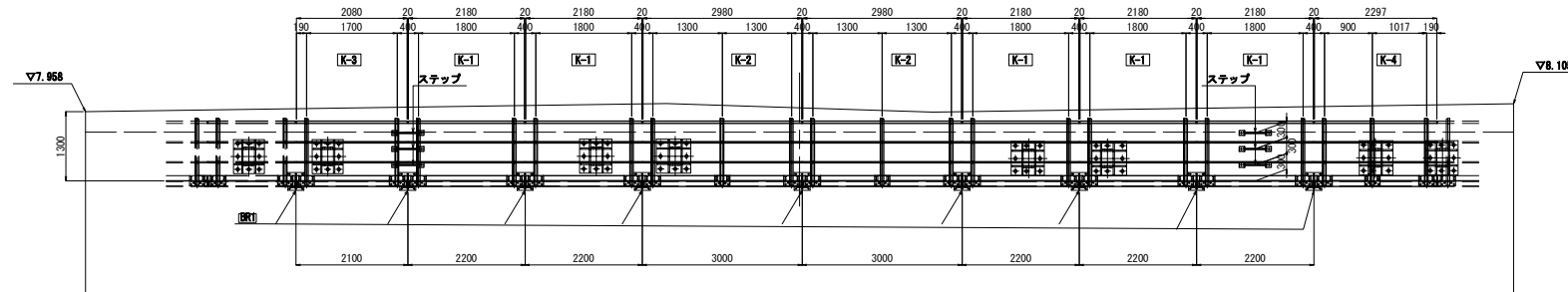
下部工検査路B 2 構造図(その1)

<P2橋脚>

S=1:100

147 / 190

正面図

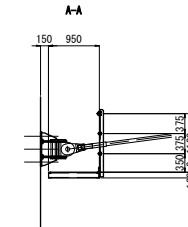


K-3正面 製作数: 1 (手摺U)
1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2080$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2080$ (STK400)
2-60x50x1258
1-PL 90x3.2x2080
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W10x45 (2-M)
8-BN W10x35 (2-M)
2-U BOLT 呼び32c
4-U BOLT 呼び15c

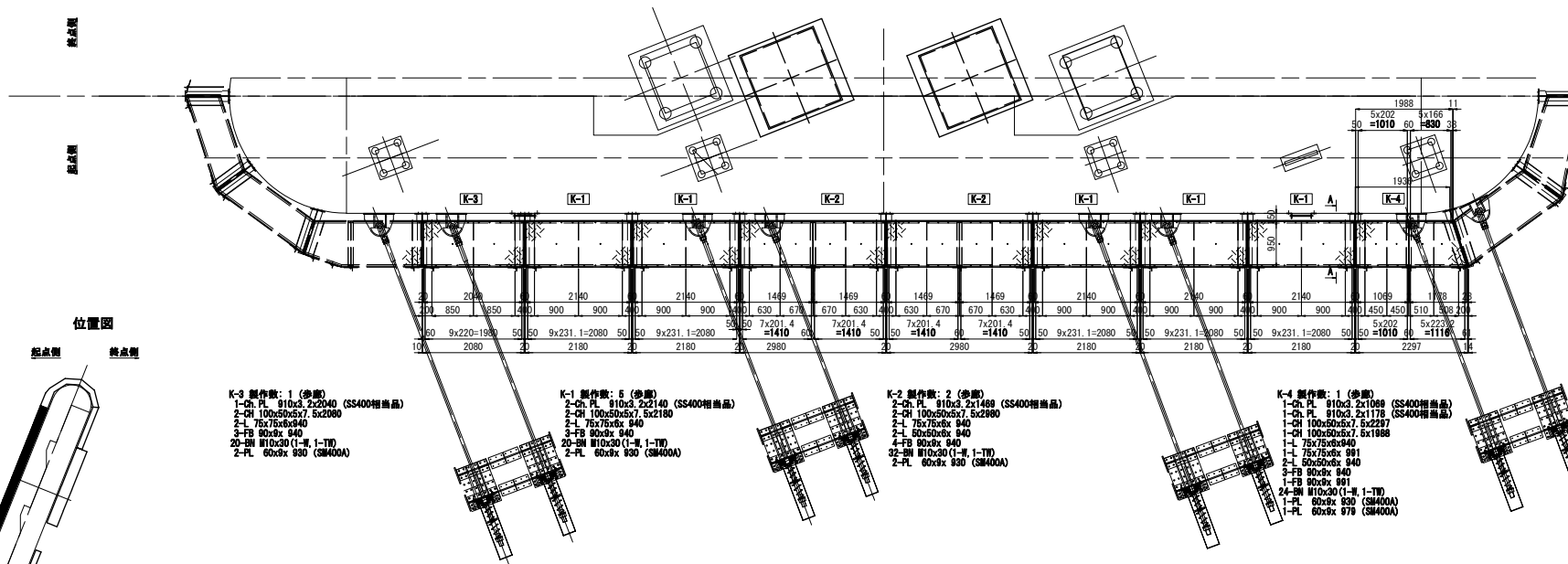
K-1正面 製作数: 5 (手摺U)
1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2180$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2180$ (STK400)
2-60x50x1258
1-PL 90x3.2x2180
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W10x45 (2-M)
8-BN W10x35 (2-M)
2-U BOLT 呼び32c
4-U BOLT 呼び15c

K-2正面 製作数: 2 (手摺U)
1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2980$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2980$ (STK400)
2-60x50x1258
1-PL 90x3.2x1408
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W10x45 (2-M)
8-BN W10x35 (2-M)
3-U BOLT 呼び32c
6-U BOLT 呼び15c

K-4正面 製作数: 1 (手摺U)
1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2297$ (STK400)
2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2297$ (STK400)
2-60x50x1258
1-PL 90x3.2x1008
1-PL 90x3.2x1125
8-BN W10x45 (2-M)
8-BN W10x35 (2-M)
12-BN W10x35 (2-M)
3-U BOLT 呼び32c
6-U BOLT 呼び15c



平面図



位置図

起点側 終点側

K-3 製作数: 1 (歩道)
1-CH PL 910x3.2x2040 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2080
2-L 75x75x6x840
3-FB 90x9x 840
20-BN W10x30 (1-M, 1-TW)
2-PL 60x9x 930 (SM400A)

K-1 製作数: 5 (歩道)
2-CH PL 910x3.2x2140 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2180
2-L 75x75x6x 840
3-FB 90x9x 840
20-BN W10x30 (1-M, 1-TW)
2-PL 60x9x 930 (SM400A)

K-2 製作数: 2 (歩道)
2-CH PL 910x3.2x1488 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2980
2-L 75x75x6x 840
2-L 60x50x6x 840
4-FB 90x9x 840
32-BN W10x30 (1-M, 1-TW)
2-PL 60x9x 930 (SM400A)

K-4 製作数: 1 (歩道)
1-CH PL 910x3.2x1088 (SS400相当品)
1-CH PL 910x3.2x1178 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x2297
1-CH 100x50x5x7.5x1888
1-L 75x75x6x840
1-L 75x75x6x 881
2-L 50x50x6x 840
3-FB 90x9x 840
1-FB 90x9x 881
24-BN W10x30 (1-M, 1-TW)
1-PL 60x9x 930 (SM400A)
1-PL 60x9x 978 (SM400A)

注 記

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
- 新材材は、全て溶接部締めめきとする。
溶接の規格は、JIS B8941 H0Z148~H0Z177とする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び溶接部には高力ボルト等は規格77μm以上(H0Z177)とする。
ただし、3.2mm以上の鋼材の角部溶接には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。
- 3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、規格48μm以上(H0Z148)とする。
- ボルトは、メッキ付品を標準とし、ボルト径+3mmを標準とする。
- 施工時に溶接防止取付け位置が変わった場合は、PCケーブルが手摺や支柱に干渉しないように取付け位置を調整すること。

仙合東部道路 新名取川橋脚耐震補強工事	
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その1) <P2橋脚>
縮 尺	1:100 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所

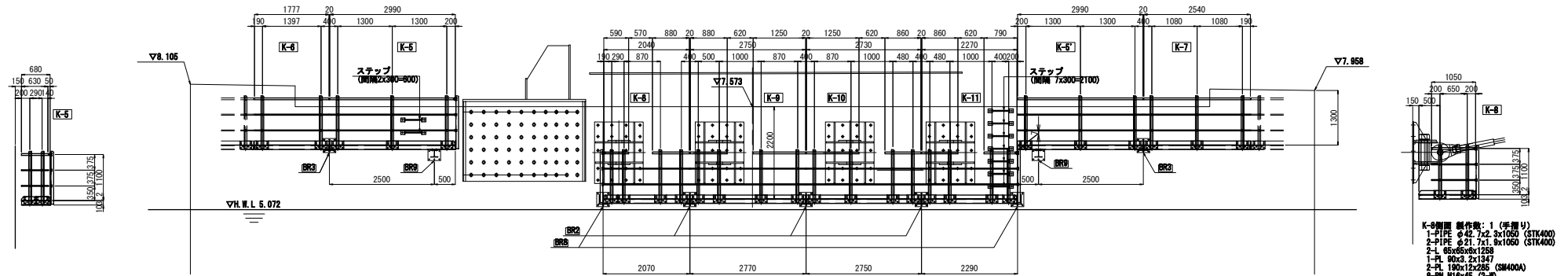
下部工検査路B 2 構造図(その2)

<P2橋脚>

S=1:100

148/190

正面図



K-5側面 製作数: 1 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x 880 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.8x 680 (STK400)
1-PL 90x3.2x 887
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W16x45 (2-#)
8-BN W10x35 (2-#)
2-U BOLT 呼び32c
4-U BOLT 呼び15c

K-6正面 製作数: 1 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x1777 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.8x1777 (STK400)
1-PL 90x3.2x1777
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W16x45 (2-#)
8-BN W10x35 (2-#)
2-U BOLT 呼び32c
4-U BOLT 呼び15c

K-5K-6>正面 製作数: 2 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x2880 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.8x2880 (STK400)
1-PL 90x3.2x1407
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W16x45 (2-#)
8-BN W10x35 (2-#)
2-U BOLT 呼び32c
6-U BOLT 呼び15c

K-8正面 製作数: 1 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x 880 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.8x2040 (STK400)
1-PL 90x3.2x1407
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W16x45 (2-#)
8-BN W10x35 (2-#)
4-U BOLT 呼び32c
6-U BOLT 呼び15c

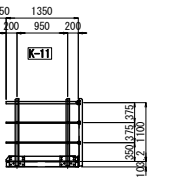
K-9正面 製作数: 1 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x 880 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.8x2750 (STK400)
1-PL 90x3.2x 608
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W16x45 (2-#)
8-BN W10x35 (2-#)
4-U BOLT 呼び32c
6-U BOLT 呼び15c

K-10正面 製作数: 1 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x 880 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.8x2730 (STK400)
1-PL 90x3.2x 608
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W16x45 (2-#)
8-BN W10x35 (2-#)
4-U BOLT 呼び32c
6-U BOLT 呼び15c

K-11正面 製作数: 1 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x 780 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.8x2270 (STK400)
1-PL 90x3.2x 588
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W16x45 (2-#)
8-BN W10x35 (2-#)
4-U BOLT 呼び32c
6-U BOLT 呼び15c

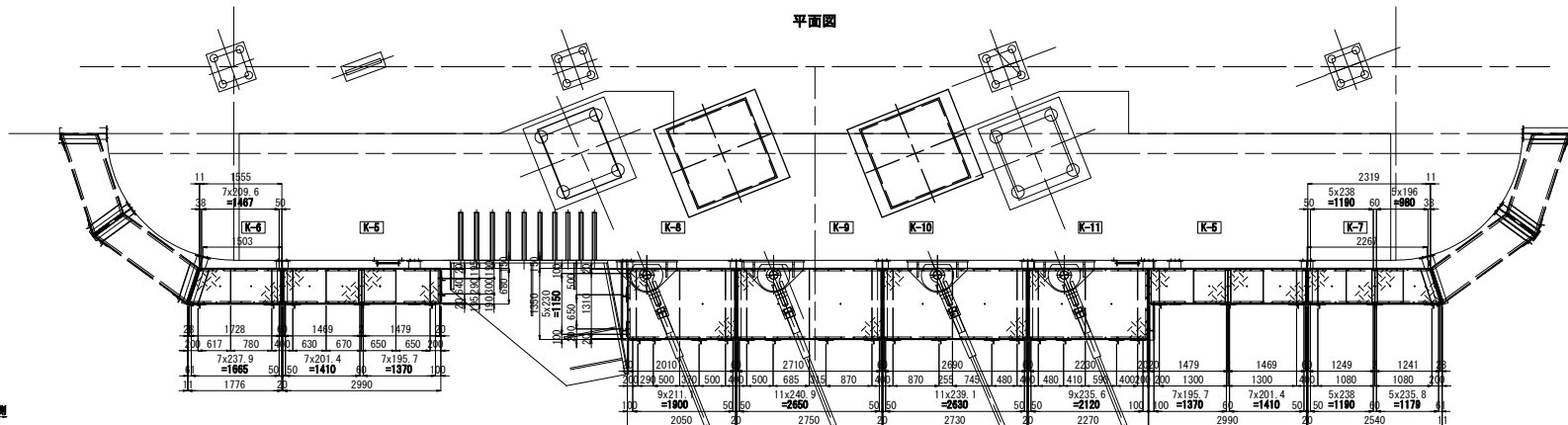
K-7正面 製作数: 1 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x2540 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.8x2540 (STK400)
1-PL 90x3.2x1188
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W16x45 (2-#)
8-BN W10x35 (2-#)
3-U BOLT 呼び32c
6-U BOLT 呼び15c

K-8側面 製作数: 1 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x1050 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.8x1050 (STK400)
1-PL 90x3.2x1347
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W16x45 (2-#)
8-BN W10x35 (2-#)
2-U BOLT 呼び32c
4-U BOLT 呼び15c



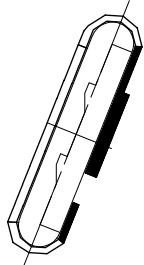
K-11側面 製作数: 1 (手摺り)
1-PIPE φ42.7x2.3x1350 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.8x1350 (STK400)
1-PL 90x3.2x1347
2-PL 190x12x285 (SM400A)
8-BN W16x45 (2-#)
8-BN W10x35 (2-#)
2-U BOLT 呼び32c
4-U BOLT 呼び15c

平面図



位置図

起点側 終点側



K-6 製作数: 1 (歩道)
1-CH PL 840x3.2x1778 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x1778
1-CH 100x50x5x7.5x1555
1-L 75x75x6 670
1-L 75x75x6 707
2-FB 80x6 670
1-FB 80x6 707
16-BN W10x30 (1-#、1-T)
1-PL 60x6 680 (SM400A)
1-PL 60x6 704 (SM400A)

K-5 製作数: 2 (歩道)
1-CH PL 840x3.2x1469 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x1478 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2880
1-CH 100x50x5x7.5x680
1-L 75x75x6 670
2-L 60x50x6 670
1-FB 80x6 670
34-BN W10x30 (1-#、1-T)
1-PL 60x6 680 (SM400A)
1-PL 160x6 680 (SM400A)

K-8 製作数: 1 (歩道)
1-CH PL 1310x3.2x2010 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2050
1-CH 100x50x5x7.5x1350
1-L 75x75x6x1340
3-FB 80x6 1340
26-BN W10x30 (1-#、1-T)
2-PL 60x6x1330 (SM400A)

K-9 製作数: 1 (歩道)
1-CH PL 1310x3.2x2710 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2750
2-L 75x75x6x1340
3-FB 80x6x1340
24-BN W10x30 (1-#、1-T)
2-PL 60x6x1330 (SM400A)

K-10 製作数: 1 (歩道)
1-CH PL 1310x3.2x2730 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2730
2-L 75x75x6x1340
3-FB 80x6x1340
24-BN W10x30 (1-#、1-T)
2-PL 60x6x1330 (SM400A)

K-11 製作数: 1 (歩道)
1-CH PL 1310x3.2x2270 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2270
2-L 75x75x6x1340
3-FB 80x6x1340
20-BN W10x30 (1-#、1-T)
2-PL 60x6x1330 (SM400A)

K-7 製作数: 1 (歩道)
1-CH PL 840x3.2x1249 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x1241 (SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x2319
1-L 75x75x6 670
1-L 75x75x6 707
2-L 50x50x6 670
3-FB 80x6 670
1-FB 80x6 707
24-BN W10x30 (1-#、1-T)
1-PL 60x6 680 (SM400A)
1-PL 60x6 704 (SM400A)

- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
 3. 新材は、全て新製品とする。
 4. 鋼材の腐食は、JIS B8641 H2740~H2777とする。厚さ3.2mm以上の鋼材及び鋼管類並びに高力ボルト等は腐食77μm以上(H2777)とする。ただし、3.2mm以上の鋼材の腐食率には、めっき前にプラス処理を行うことを標準とする。
 5. 3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、腐食40μm以上(H2740)とする。
 6. ボルト・ナットは、メッキ付品を使用し、ボルト・ナット+3mmを標準とする。
 7. 施工時に腐食防止取付け位置が変化した場合は、PCケーブルが手摺りや支柱に干渉しないように取付け位置を調整すること。

仙台東部道路 新名取川橋脚補強工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その2) <P2橋脚>		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

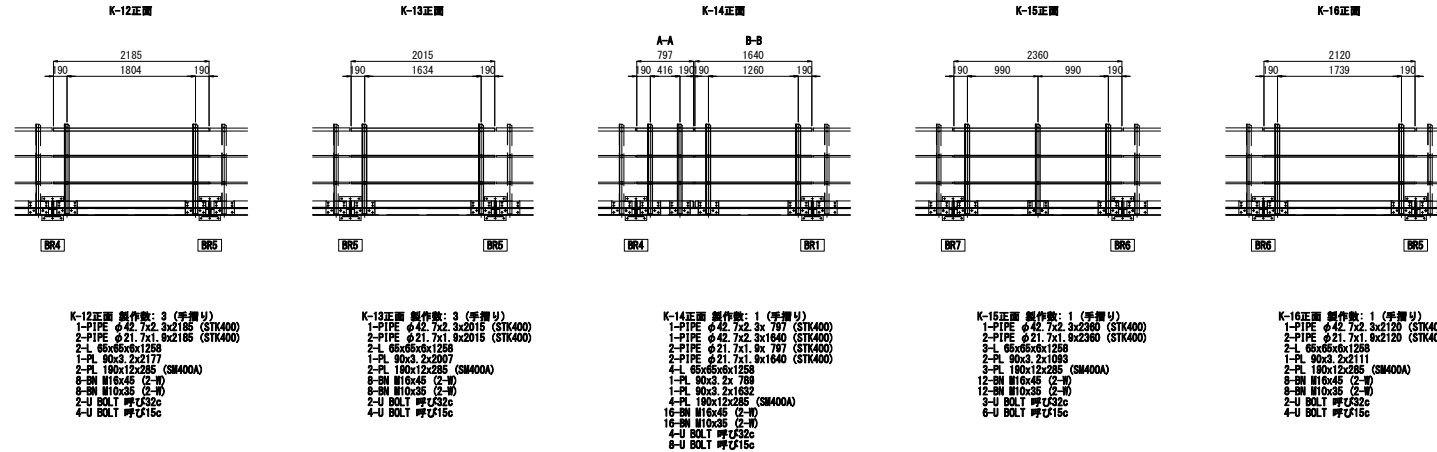
下部工検査路B 2 構造図(その3)

<P2橋脚>

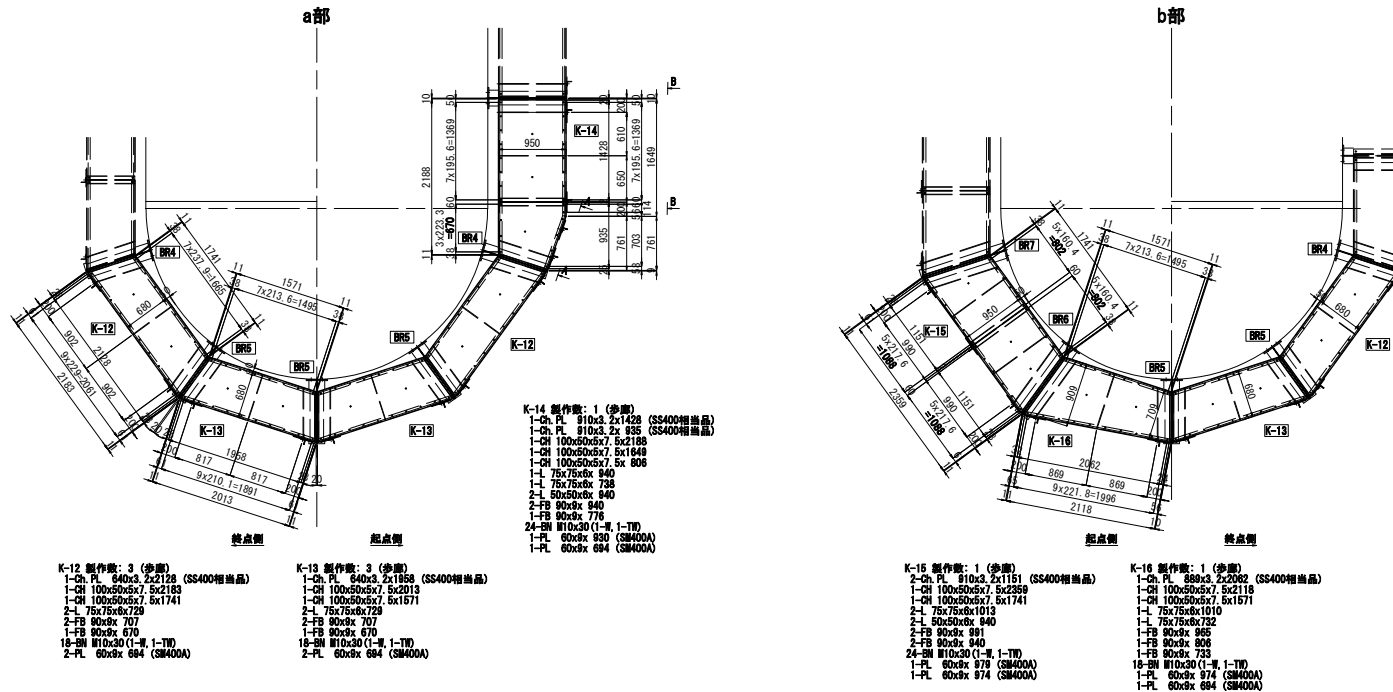
S=1:75

149 / 190

正面図



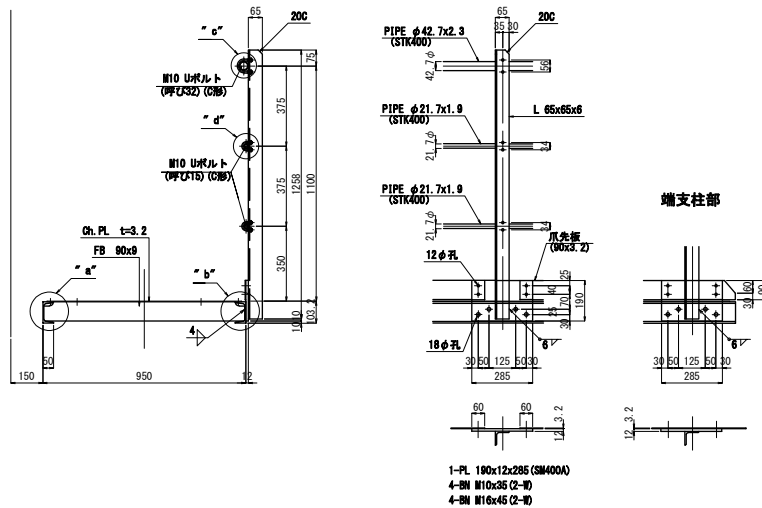
平面図



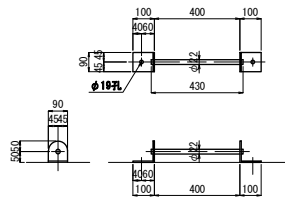
- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
 3. 部材は、全て溶接部をめぐらして、溶接部の強度は、JIS B8941 H02148～H02177とする。厚さ3.2mm以上の鋼材及び鋼板鋼管に高力ボルト等は鋼材77μm以上(H02177)とする。ただし、3.2mm未満の鋼材の鋼板鋼材には、めっき前にプラス処理を行うことを標準とする。3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、鋼材40μm以上(H02148)とする。
 4. ボルトは、メッキ付標準品とする。ボルト径+3mmを標準とする。
 5. 施工時に溶接防止取付け位置が変った場合は、PCケーブルが手摺や支柱に干渉しないように取付け位置を調整すること。

仙台東部道路 新名取川橋脚耐震補修工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その3) <P2橋脚>		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平研日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		
事務所名			

歩廊断面及び構造詳細図

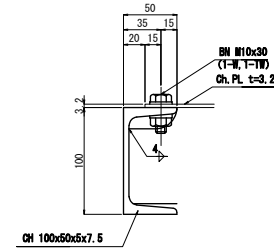
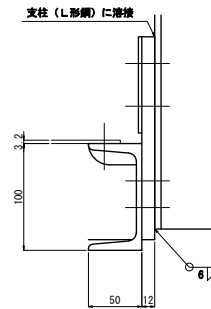


ステップ詳細図 S=1:25

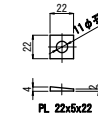


1箇所当り部材（設置数：15）
1-RB φ22x430
2-FB 90x6x200
2-ホールインアンカー M16x125

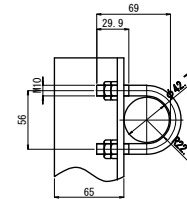
" a" 部詳細 S=1:5

**" b" 部詳細 S=1:5**

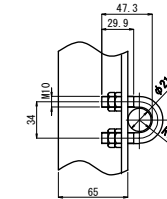
テーパー座金詳細 S=1:5



"C"部詳細 S=1:5



" d" 部詳細 S=1:5



注記

2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て海潮差ぬきとする。
4. 鋼材の厚手は、JIS SH461 HDZ748~HDZ777とする。厚さ3.2mm以上の鋼材及びびね鋼線並びに高力ボルト等はHDZ777以上とする。
5. 2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、HDZ48以上とする。
6. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事			
図面の種類	下部工検査書日2 構造図(その4) <P2側>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

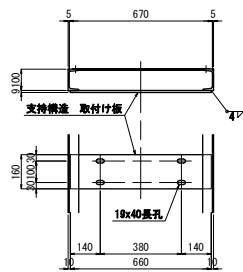
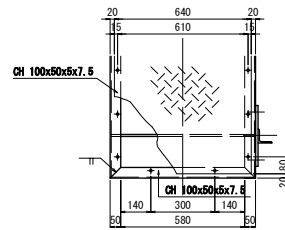
下部工検査路B2構造図(その5)

<P2橋脚>

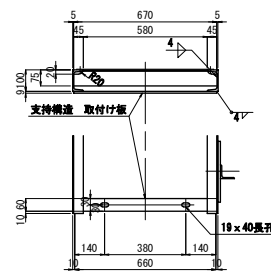
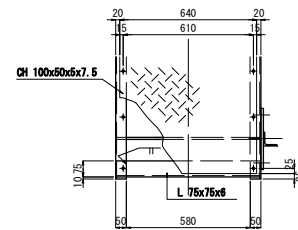
1/25

151 / 190

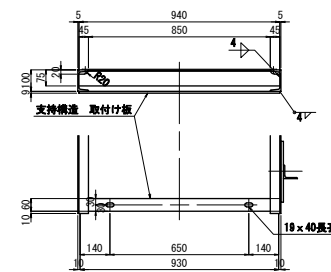
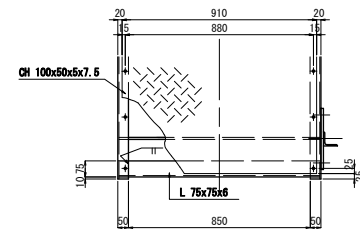
歩廊端部(幅員680)詳細図



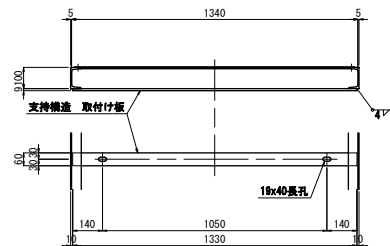
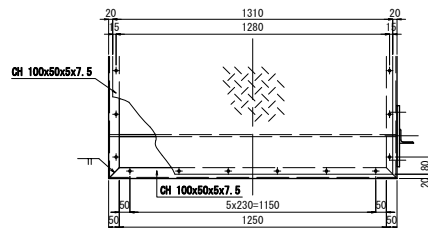
架け違い部(幅員680)詳細図



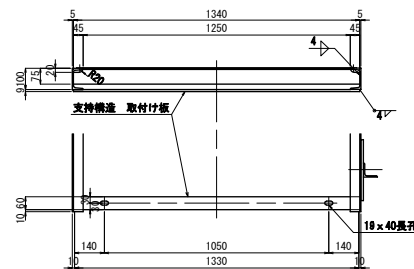
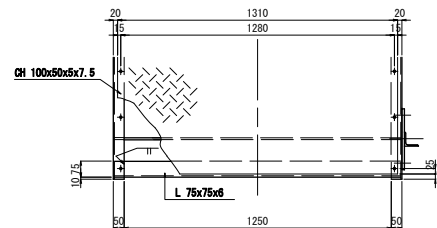
架け違い部(幅員950)詳細図



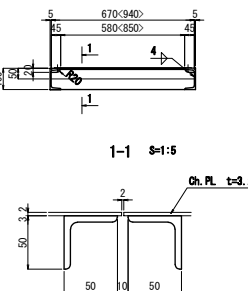
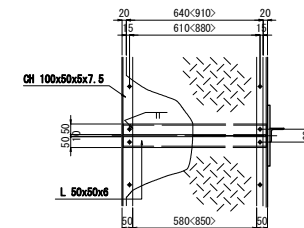
歩廊端部(幅員1350)詳細図



架け違い部(幅員1350)詳細図



Ch. PL分割部 詳細図



注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Lボルト付きは、全てのナットは、全て締め止めナットを施すこと。
3. 部材は、全て溶融亜めっきとする。
亜鉛の膜厚は、JIS H8641 H2748~H2777とする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び亜鉛めっき鋼材に高力ボルト等は膜厚77μm以上(H2777)とする。
ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板鋼材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。
- 3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚48μm以上(H2748)とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙合直都道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B2構造図(その5) <P2橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

下部工検査路B 2 構造図(その6)

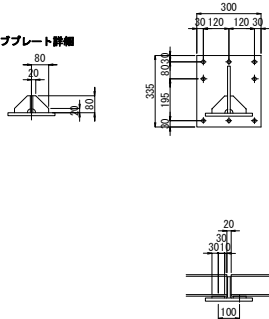
<P2橋脚>

1/25

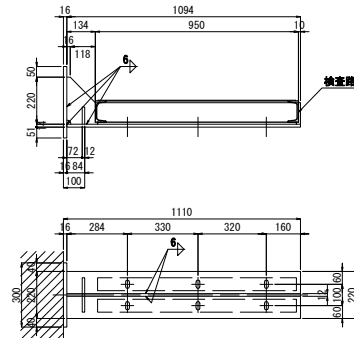
152 / 190

下部構造検査路支持構造図

リブプレート詳細

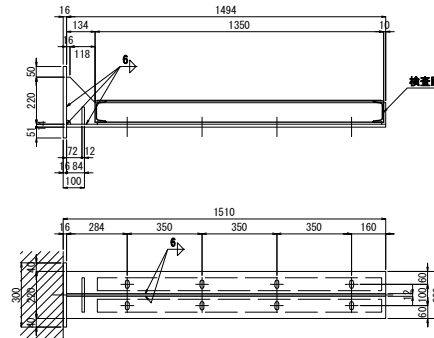


BR-1



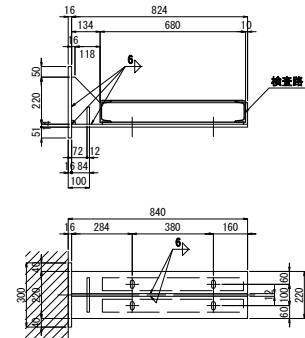
ブラケット1基当たり (製作数: 3基)
1-WEB PL 220x12x1094
1-FLG PL 220x14x1094
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
2-RIB PL 80x12x80
6-BH M16x50 (Z-N)
8-ホールインアンカー M20x170

BR-2



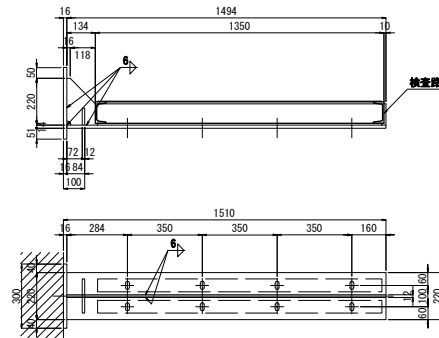
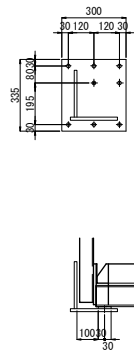
ブラケット1基当たり (製作数: 3基)
1-WEB PL 220x12x1494
1-FLG PL 220x14x1494
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
2-RIB PL 80x12x80
6-BH M16x50 (Z-N)
8-ホールインアンカー M20x170

BR-3



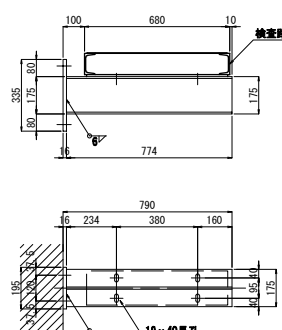
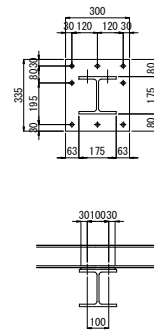
ブラケット1基当たり (製作数: 2基)
1-WEB PL 220x12x 824
1-FLG PL 220x14x 824
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
2-RIB PL 80x12x80
4-BH M16x50 (Z-N)
8-ホールインアンカー M20x170

BR-8



ブラケット1基当たり (製作数: 2基)
1-WEB PL 220x12x1494
1-FLG PL 220x14x1494
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
6-BH M16x50 (Z-N)
8-ホールインアンカー M20x170

BR9



ブラケット1基当たり (製作数: 2基)
1-H 175x175x7.5x11x774
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
4-BH M16x50 (Z-N)
8-ホールインアンカー M20x170

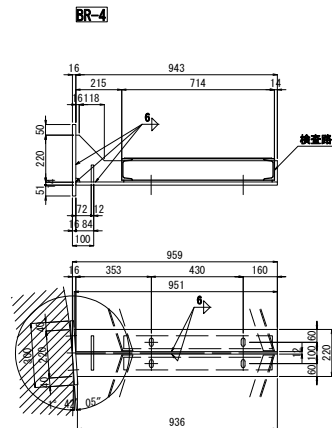
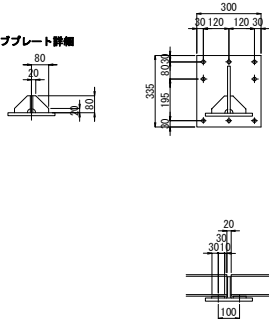
注 記

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- リボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
造船の鋼材は、JIS H8041 H0ZT49~H0ZT77とする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼鋼板並びに高力ボルト等は鋼厚77μm以上 (H0ZT77) とする。
ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスティック処理を行うことを標準とする。
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、鋼厚40μm以上 (H0ZT49) とする。
4. ボルト孔はメッキ付容量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

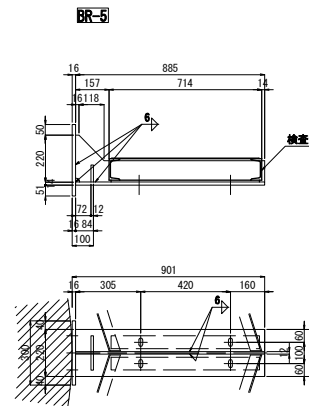
仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その6) <P2橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

下部構造検査路支持構造図

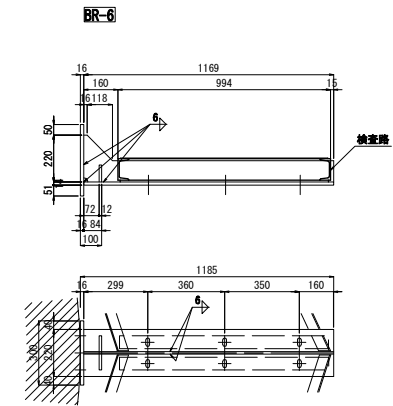
リブプレート詳細



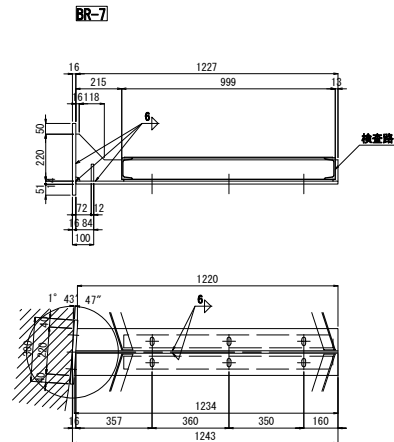
ブラケット1基当たり(製作数: 3基)
1-WEB PL 220x12x 943
1-FLG PL 220x14x 961
1-BASE PL 335x16x300(SH400A)
2-RIB PL 80x12x80
4-BN M16x50(2-ワ)
8-ホールインアンカー M20x170



ブラケット1基当たり(製作数: 5基)
 1-WEB PL 220x12x 885
 1-FLG PL 220x14x 885
 1-BASE PL 335x16x300(SH400A)
 2-RIB PL 80x12x80
 4-BN M16x50 (2-#)
 8-ホールインアンカー M20x170



プラケット1基当たり(製作数:1基)
 1-WEB PL 220x12x1169
 1-FL6 PL 220x14x1169
 1-BASE PL 335x16x300(SM400A)
 2-RIB PL 80x12x80
 6-BN M16x50(2-本)
 8-ホールインアンカー M20x170



ブラケット1基当たり(製作数:1基)
 1-WEB PL 220x12x1227
 1-FLG PL 220x14x1234
 1-BASE PL 335x18x300(SH400A)
 2-RIB PL 80x12x80
 6-BN M16x50(2-ワ)
 8-ホールインアンカー M20x170

注記

1. 特製なキ付材は、全てSS400とする。
2. キ付材は、全てボルトは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 鋼材は、全て溶接部を船めっきとする。
 主筋の厚さは、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
 寸法3.2mm以上の角材及び型鋼断面及びに高力ボルト等は厚さ7mm以上6mm未満の鋼板部材には、めっき鋼板スチールを使用することとする。
- 3.2mm未満の鋼材及び高力ボルト等は、断面49mm以上(HDZT48)とする。
4. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋計費補強工事			
図面の種類	下部工検査路日2構造図(その7) ＜P2欄目＞		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

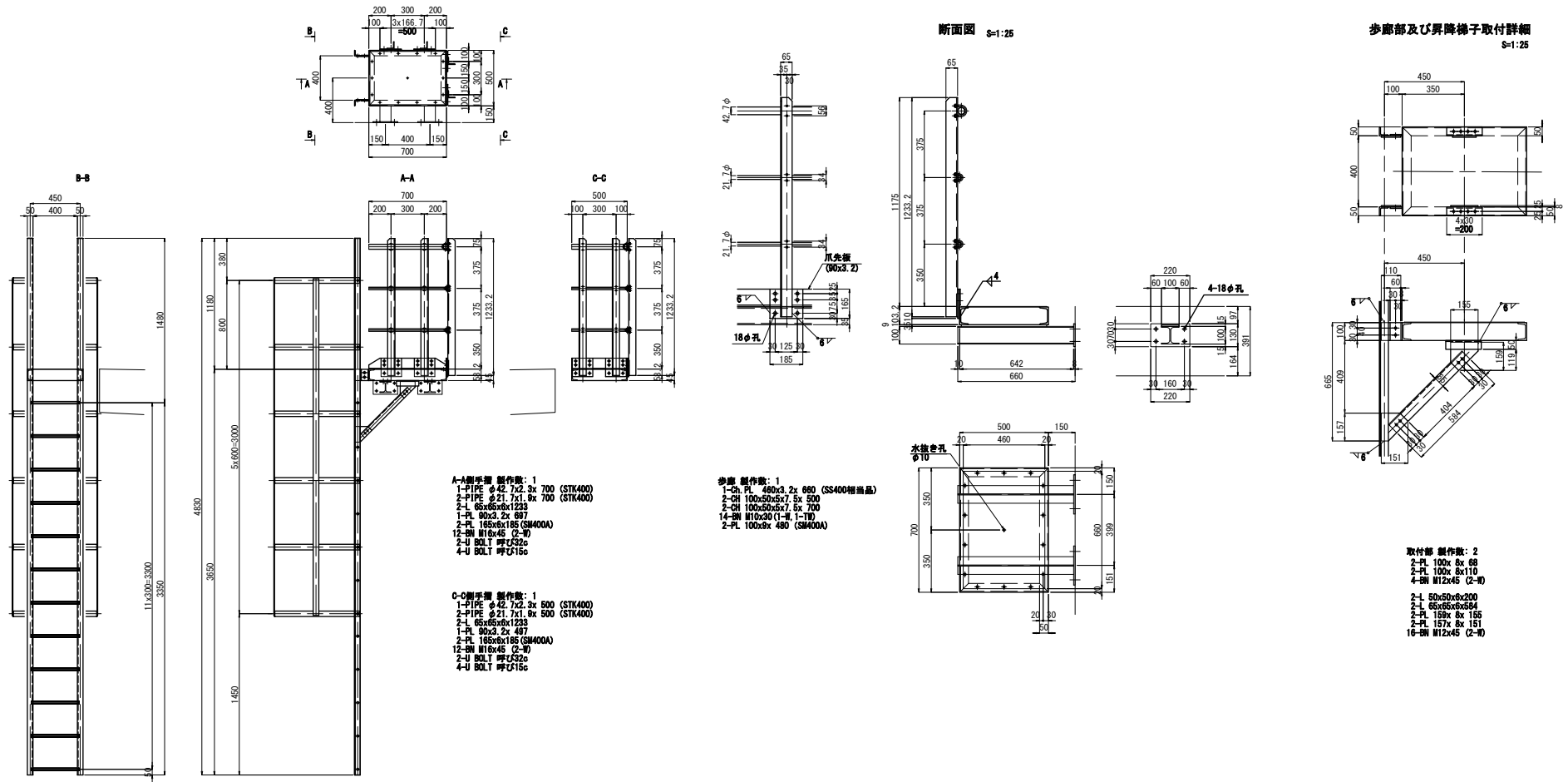
下部工検査路B2構造図(その8)

154 / 190

<P2橋脚>

§=1:40

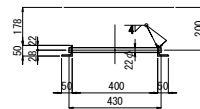
橋脚昇降梯子



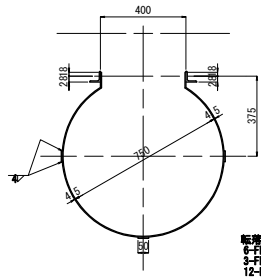
梯子
 2-L 50x50x6x4830
 12-RB φ22x 430

梯子支持金具
 12-FB 90x8x315
 12-ホールインアンカー M16x125

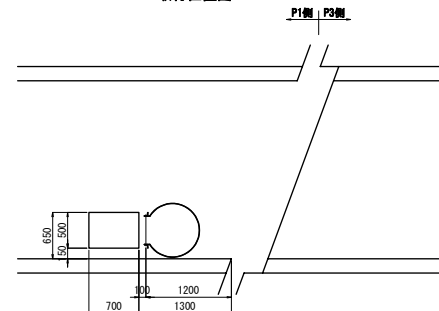
ステップ詳細 §=1:25



転倒防止リング詳細図 §=1:25



取付位置

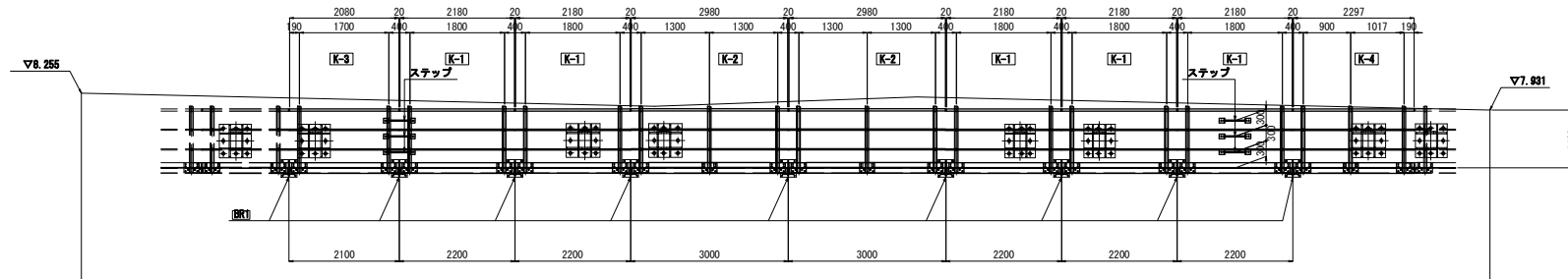


注 記

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。亜鉛の膜厚は、JIS H8541: H0ZT48~H0ZT77とする。厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼溶接及び高力ボルト等は膜厚77μm以上(H0ZT77)とする。ただし、3.2mm以上の6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。
- 3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚48μm以上(H0ZT48)とする。
- ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B2構造図(その8) <P2橋脚>		
縮 尺	1:40	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

正面図

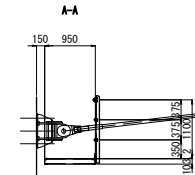


- K-3正面 製作数: 1 (手摺り)
 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2080$ (STK400)
 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2080$ (STK400)
 2-PL $65 \times 65 \times 6 \times 1258$
 1-PL $80 \times 3.2 \times 2080$
 2-PL $190 \times 12 \times 285$ (SM400A)
 8-BM $M16 \times 45$ (2-N)
 8-BM $M10 \times 35$ (2-N)
 2-U BOLT 呼び $\phi 32$
 4-U BOLT 呼び $\phi 15$

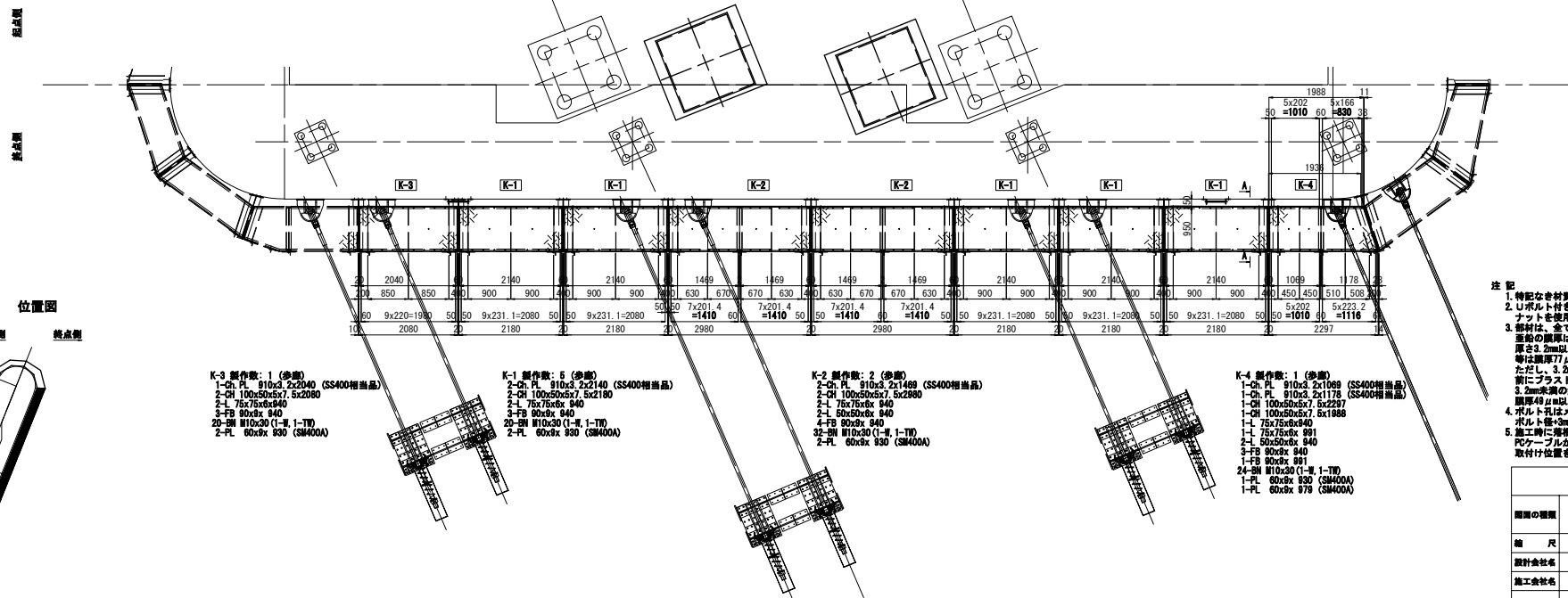
- K-1正面 製作数: 5 (手摺り)
 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2180$ (STK400)
 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2180$ (STK400)
 2-L $65 \times 65 \times 8 \times 1258$
 1-PL $80 \times 3.2 \times 2180$
 2-PL $190 \times 12 \times 285$ (SM400A)
 8-BN $M16 \times 45$ (2-N)
 8-BN $M10 \times 35$ (2-N)
 2-U BOLT 呼び32c
 4-U BOLT 呼び15c

- K-2正面 製作数: 2 (手摺り)
 1-PIPE $\phi 42.7 \times 2.3 \times 2980$ (STK400)
 2-PIPE $\phi 21.7 \times 1.9 \times 2980$ (STK400)
 3-L 65x65x6x1258
 2-PL 90x3.2x1408
 3-PL 180x12x285 (SM400A)
 12-BN M16x45 (2-W)
 12-BN M10x35 (2-W)
 3-U BOLT 呼び32c
 6-U BOLT 呼び15c

- K-4正面 製作数: 1 (手摺り)
 1-PIPE φ42.7x2.3x2297 (STK400)
 2-PIPE φ21.7x1.9x2297 (STK400)
 3-L 65x65x8x1258
 1-PL 80x3.2x1008
 1-PL 90x3.2x1125
 3-PL 190x12x285 (SM400A)
 12-BN M16x45 (2-W)
 12-BN M10x35 (2-W)
 3-U BOLT 呼び32φ
 6-U BOLT 呼び16φ



平面图



- K-3 製作数: 1 (歩庫)
1-CH. PL 910x3. 2x2040 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7. 5x2080
2-L 75x75x6x940
3-FB 90x9x 940
20-BN M10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 60x9x 930 (SM400A)

- K-1 製作数: 5 (多摩)
2-CH. PL 910x3. 2x2140 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7. 5x2180
2-L 75x75x6x 940
3-FB 90x9x 940
20-BN W10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 60x9x 930 (SM400A)

- K-2 製作数: 2 (多座)
2-CH. PL 910x3.2x1469 (SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2880
2-L 75x75x6x 940
2-L 50x50x6x 940
4-FB 90x9x 940
32-BN W10x30 (1-W, 1-TW)
2-PL 60x9x 930 (SM400A)

- K-4 製作数: 1 (歩留)
- 1-CH. PL 910x3. 2x1069 (SS400相当品)
 - 1-CH. PL 910x3. 2x1178 (SS400相当品)
 - 1-CH 100x50x5x7. 5x2297
 - 1-CH 100x50x5x7. 5x1988
 - 1-L 75x75x6x940
 - 1-L 75x75x6x 991
 - 2-L 50x50x6x 940
 - 3-FB 90x3x 940
 - 1-FB 90x3x 991
- 24-BN M10x30 (1-TW, 1-TW)
- 1-PL 60x9x 930 (SM400A)
 - 1-PL 60x9x 979 (SM400A)

注記

2. 特記記載材質は、全てSS400とする。
3. Uボルト付き以外のフタは、全て蓋止め材を使用すること。
4. 部材は、全て常温硬化型とする。
座墊の材質は、JIS H8841 H21Z48~H21Z77とする。
座墊の寸法は、座墊の材質と座墊の寸法により高ボルト等
の寸法は、H21Z77又はH21Z48とする。
5. 寸法は、3.2mm以上6.0mm未満の等級部材は、めっ
す面にフラット処理を行うことを標準とする。
6. 2mm未満の鋼材及び普通鋼材等は、
座墊48mm以上(H21Z48)とする。
7. ボルトにはネッキング検査を考慮し、
ボルトは3.9mmとする。
8. 施工中に部材の付付位置が変化した場合は、
PCケーブルが干渉や支柱に干渉しないように
付付位置を調整すること。

仙台東部道路 新名取川橋新設補強工事			
図面の種類	下部工検査路日2機造図(その0) ＜P8機測＞		
縮 尺	1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

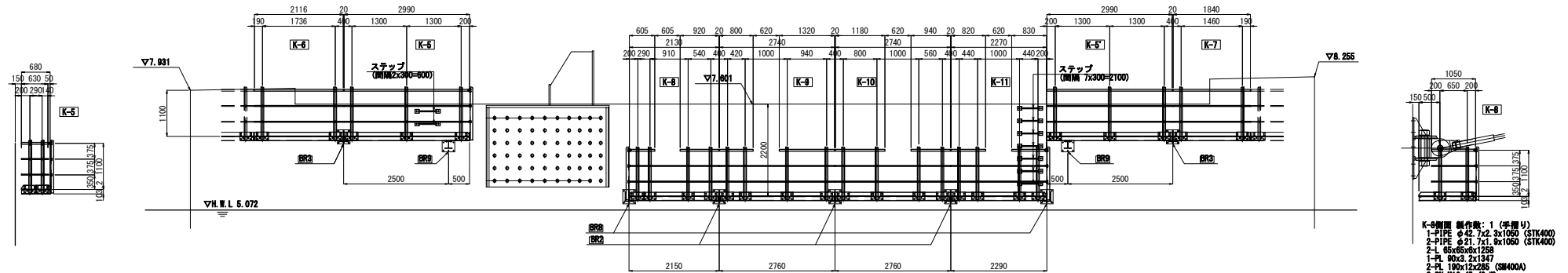
下部工検査路B 2 構造図(その10)

<P3橋脚>

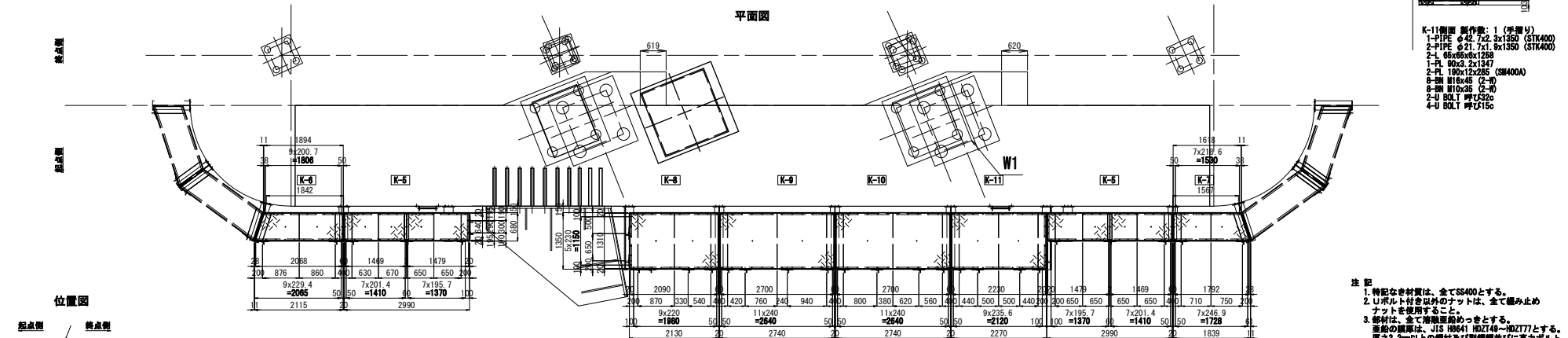
S=1:100

156 / 190

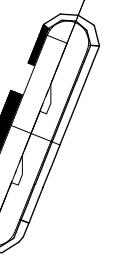
正面図



平面図



- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
 3. 耐材は、全て2mm以上の厚さとする。耐材の継ぎ目は、JIS B8841 H2740~H2777とする。厚さ3.2mm以上の耐材及び型鋼継ぎ目に高力ボルト等は継ぎ目75mm以上 (H2777) とする。ただし、3.2mm未満の厚さの耐材継ぎ目には、めっき前にプラスティックを行うことを標準とする。
 4. 3.2mm未満の耐材及び型鋼継ぎ目は、継ぎ目40mm以上 (H2740) とする。
 5. ポルトは、ボルトの径とナットの径とを一致させる。ボルトの径とナットの径とを一致させる。ボルトの径とナットの径とを一致させる。
 6. 施工時に発生した欠陥や変形が認められる場合は、PCケーブルが手摺や支柱に干渉しないように取付け位置を調整すること。



仙台東部道路 新名取川橋脚補強工事	
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その10) <P3橋脚>
縮 尺	1:100
図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所

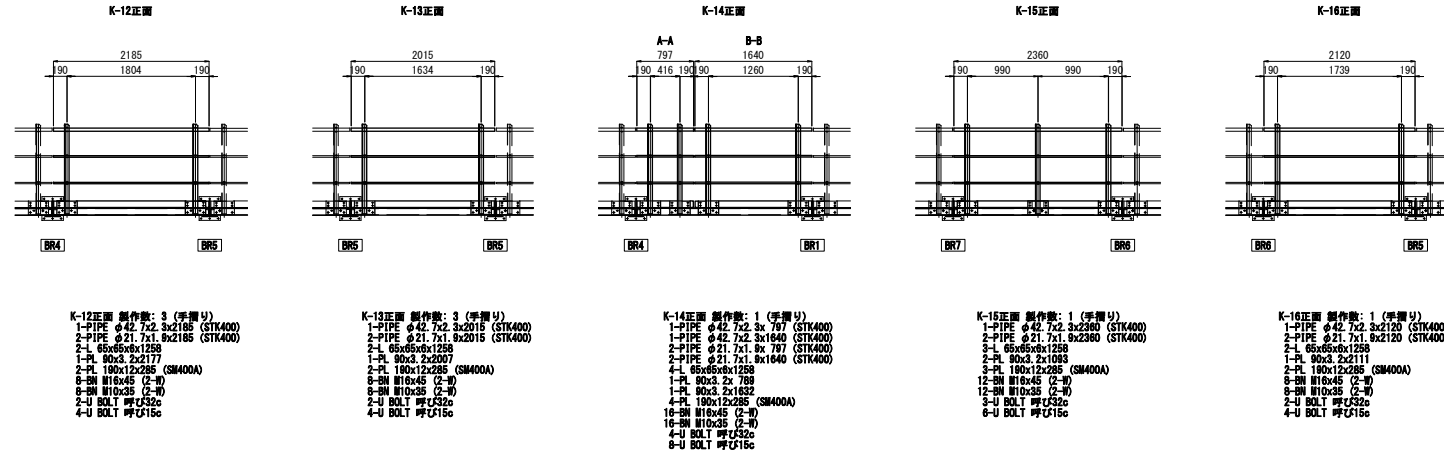
下部工検査路B 2 構造図(その11)

<P3橋脚>

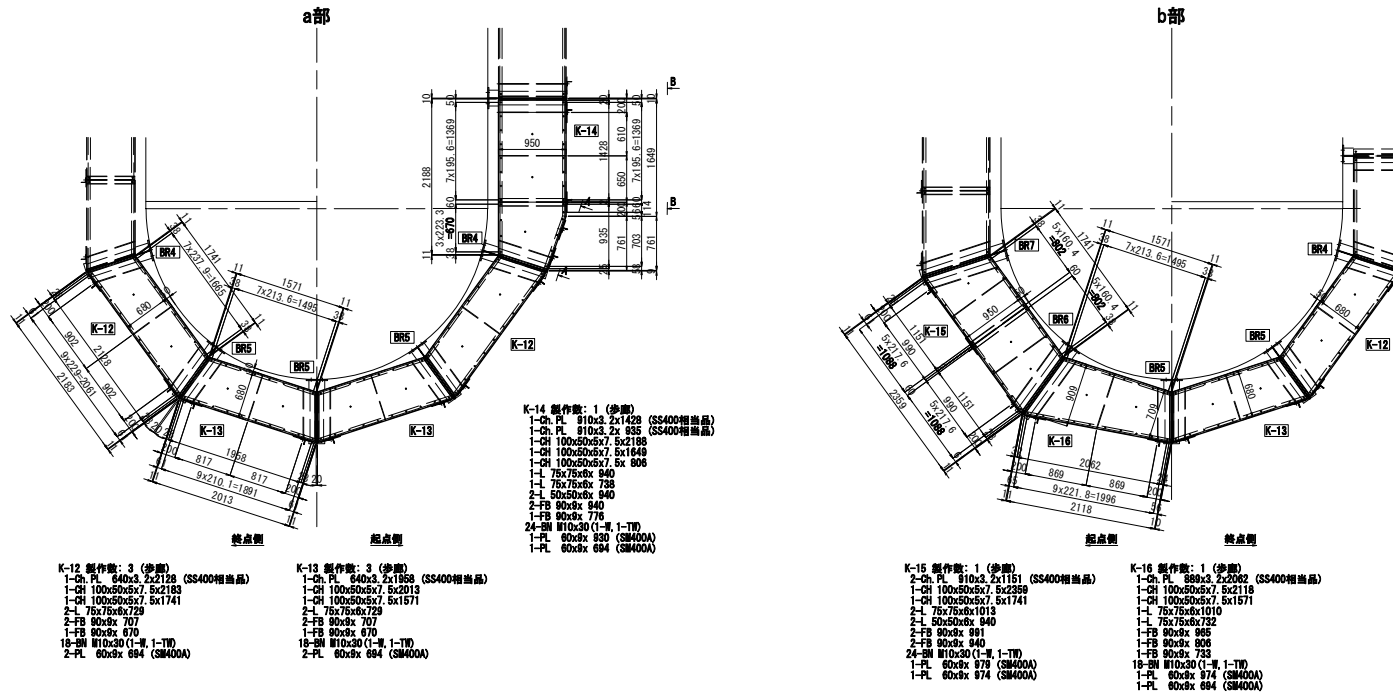
S=1:75

157/190

正面図



平面図



- 注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
 3. 鋼材は、全て溶接部を認めずとする。
 鋼材の規格は、JIS S5541 H0Z740～H0Z777とする。
 厚さ3.2mm以上の鋼材及び鋼板並びに高力ボルト等は鋼材77μm以上(H0Z777)とする。
 ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板鋼材には、めっき前にプラス処理を行うことを標準とする。
 3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、鋼材48μm以上(H0Z740)とする。
 4. ボルト孔はメッキ付標準を準拠し、ボルト径+3mmを標準とする。
 5. 施工時に溶接防止取付け位置が変わった場合は、PCケーブルが手摺や支柱に干渉しないように取付け位置を調整すること。

仙台東部道路 新名取川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その11) <P3橋脚>		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平研		
施工会社名	株式会社 片平研		
事務所名	東京日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

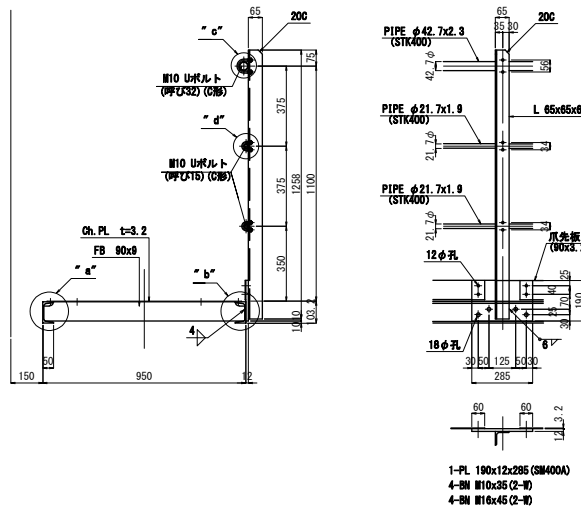
下部工検査路B 2 構造図(その12)

<P3橋脚>

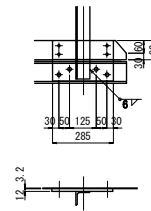
S=1:25

158 / 190

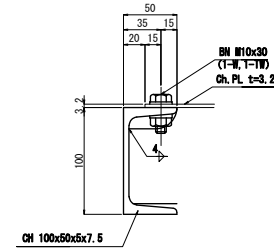
歩廊断面及び構造詳細図



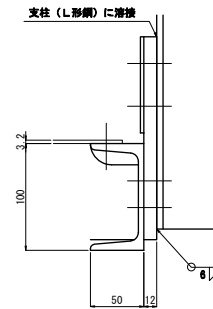
端支柱部



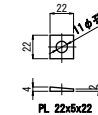
"a" 部詳細 S=1:5



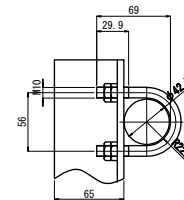
"b" 部詳細 S=1:5



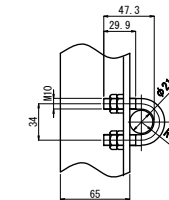
デーパー座金詳細 S=1:5



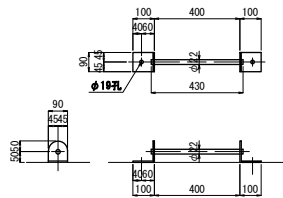
"c" 部詳細 S=1:5



"d" 部詳細 S=1:5



ステップ詳細図 S=1:25



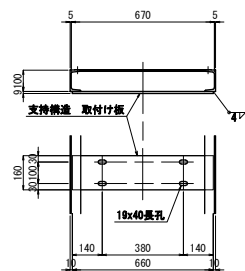
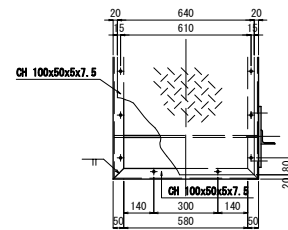
1箇所当り部材 (設置数:15)
1-RB φ22x430
2-FB 90x8x200
2-ホールインアンカー M16x125

注 記

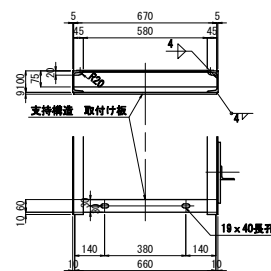
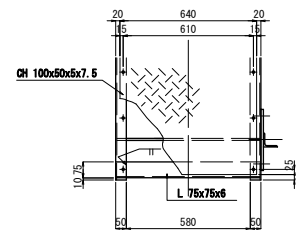
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の膜厚は、JIS H8541 H0ZT49~H0ZT77とする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び鋼線鋼索並びに高力ボルト等は膜厚77μm以上 (H0ZT77) とする。
ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスチ処理を行うことを標準とする。
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚49μm以上 (H0ZT49) とする。
4. ボルト孔はメッキ付量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙合直都道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図 (その12) <P3橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

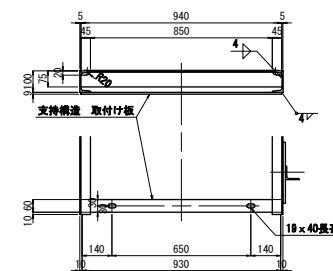
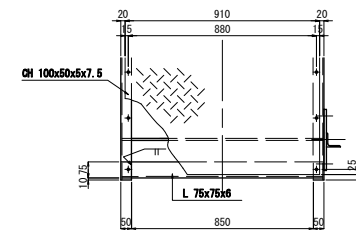
歩廊端部(幅員680)詳細図



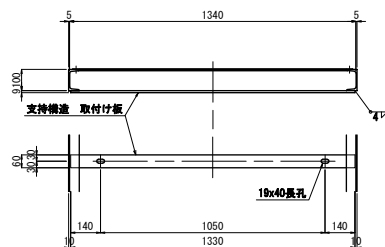
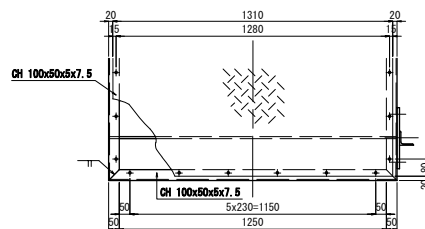
架け違い部(幅員680)詳細図



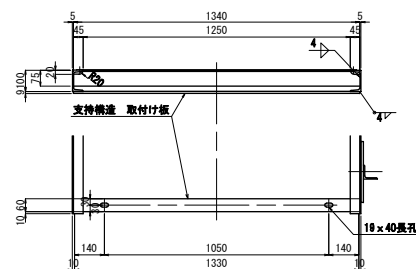
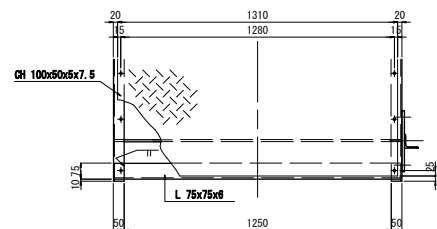
架け違い部(幅員950)詳細図



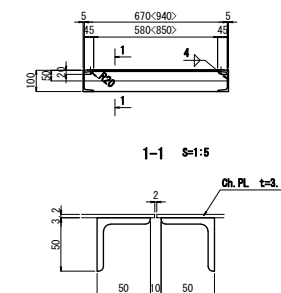
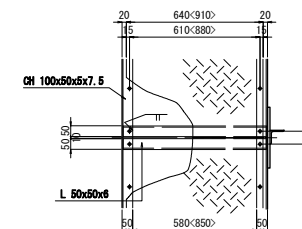
歩廊端部(幅員1350)詳細図



架け違い部(幅員1350)詳細図



Ch. PL分割部 詳細図



注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
鋼材の厚さは、JIS H8041 H27(48~77)とする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼等並びに高力ボルト等は鋼厚77μm以上(H2777)とする。
ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスチック処理を行うことを標準とする。
4. 3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、鋼厚48μm以上(H2748)とする。
5. ボルト孔はメッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙合東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その13) <P3橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

下部工検査路B 2 構造図(その14)

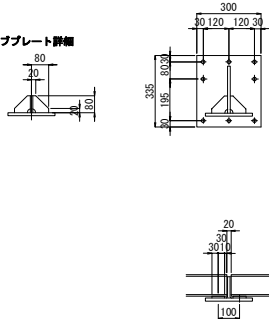
<P3橋脚>

S=1:25

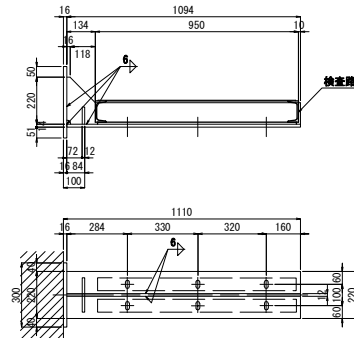
160 / 190

下部構造検査路支持構造図

リブプレート詳細

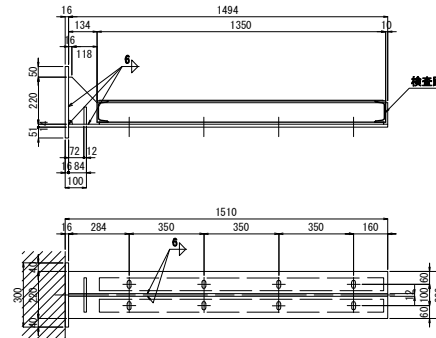


BR-1



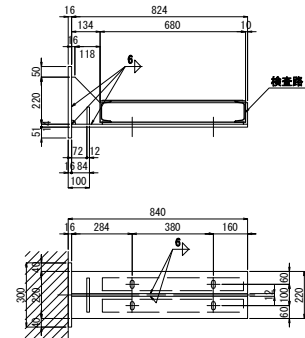
ブラケット1基当たり (製作数: 3基)
1-WEB PL 220x12x1094
1-FLG PL 220x14x1094
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
2-RIB PL 80x12x80
6-BH M16x50 (Z-N)
8-ホールインアンカー M20x170

BR-2



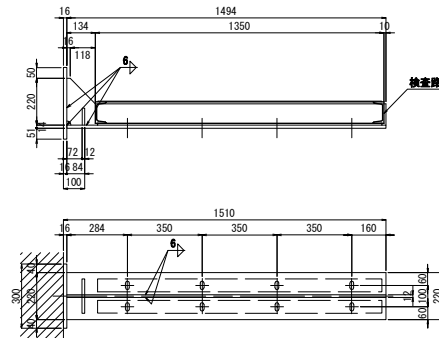
ブラケット1基当たり (製作数: 3基)
1-WEB PL 220x12x1494
1-FLG PL 220x14x1494
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
2-RIB PL 80x12x80
6-BH M16x50 (Z-N)
8-ホールインアンカー M20x170

BR-3



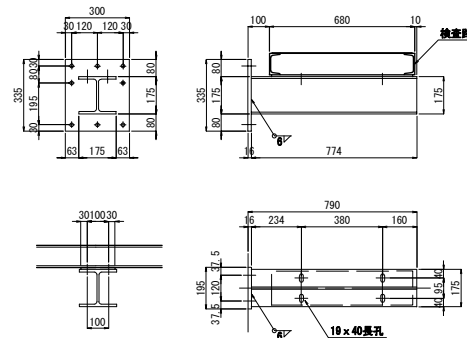
ブラケット1基当たり (製作数: 2基)
1-WEB PL 220x12x 824
1-FLG PL 220x14x 824
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
2-RIB PL 80x12x80
4-BH M16x50 (Z-N)
8-ホールインアンカー M20x170

BR-8



ブラケット1基当たり (製作数: 2基)
1-WEB PL 220x12x1494
1-FLG PL 220x14x1494
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
6-BH M16x50 (Z-N)
8-ホールインアンカー M20x170

BR9



ブラケット1基当たり (製作数: 2基)
1-H 175x175x7.5x11x774
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
4-BH M16x50 (Z-N)
8-ホールインアンカー M20x170

注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
造船の腐食は、JIS H8641 H0ZT49~H0ZT77とする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼並びに高力ボルト等は鋼厚77μm以上 (H0ZT77) とする。
ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスチ処理を行うことを標準とする。
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、鋼厚40μm以上 (H0ZT49) とする。
4. ボルト孔はメッキ付容量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

仙台直都道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図 (その14) <P3橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

下部工検査路B 2 構造図(その15)

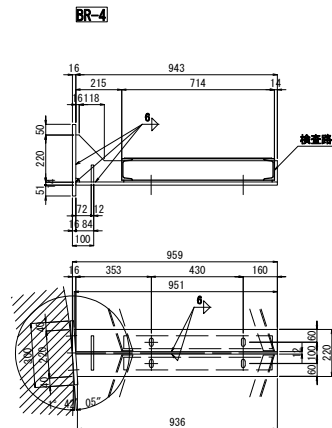
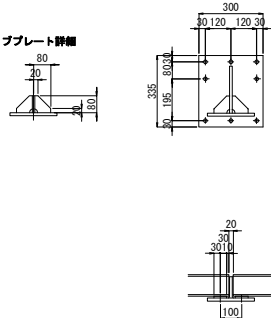
<P3橋脚>

1/25

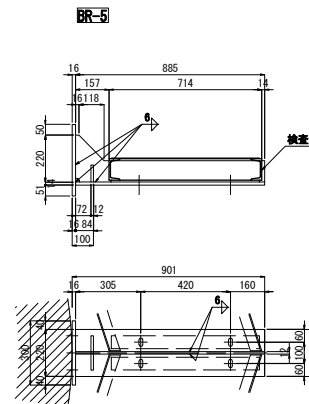
161 / 190

下部構造検査路支持構造図

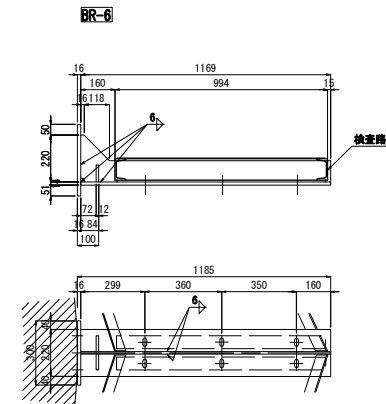
リブプレート詳細



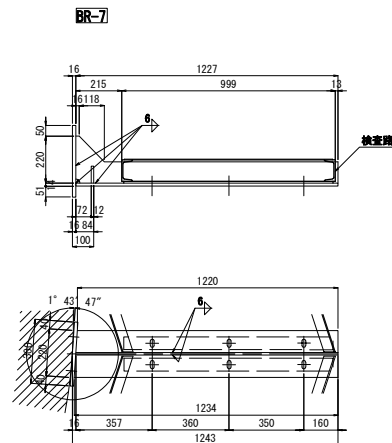
ブラケット1基当たり(製作数: 3基)
1-WEB PL 220x12x 943
1-FLG PL 220x14x 951
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
2-RIB PL 80x12x80
4-BW M16x50 (2-本)
6-ボールインアンカー M20x170



ブラケット1基当たり(製作数: 5基)
1-WEB PL 220x12x 885
1-FLG PL 220x14x 885
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
2-RIB PL 80x12x80
4-BW M16x50 (2-本)
6-ボールインアンカー M20x170



ブラケット1基当たり(製作数: 1基)
1-WEB PL 220x12x1169
1-FLG PL 220x14x1169
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
2-RIB PL 80x12x80
4-BW M16x50 (2-本)
6-ボールインアンカー M20x170

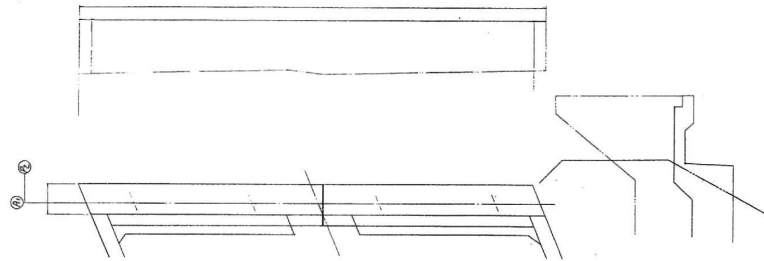


ブラケット1基当たり(製作数: 1基)
1-WEB PL 220x12x1227
1-FLG PL 220x14x1234
1-BASE PL 335x16x300 (SM400A)
2-RIB PL 80x12x80
4-BW M16x50 (2-本)
6-ボールインアンカー M20x170

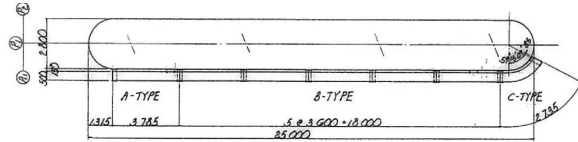
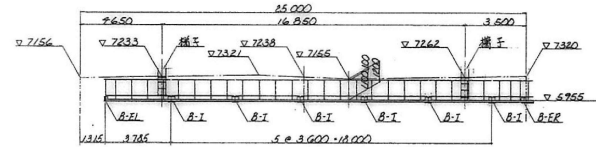
注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の膜厚は、JIS H8041 H0ZT49~H0ZT77とする。
厚さ3.2mm以上の鋼材及び型鋼鋼板並びに高力ボルト等は膜厚77μm以上(H0ZT77)とする。
ただし、3.2mm以上6mm未満の薄板部材には、めっき前にプラスト処理を行うことを標準とする。
2.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等は、膜厚49μm以上(H0ZT49)とする。
4. ボルト孔はメッキ付量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

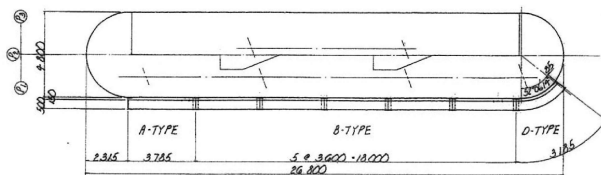
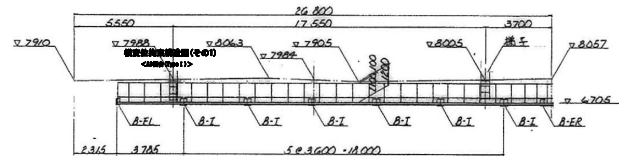
仙台支那道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	下部工検査路B 2 構造図(その15) <P3橋脚>		
縮 尺	1:25	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		



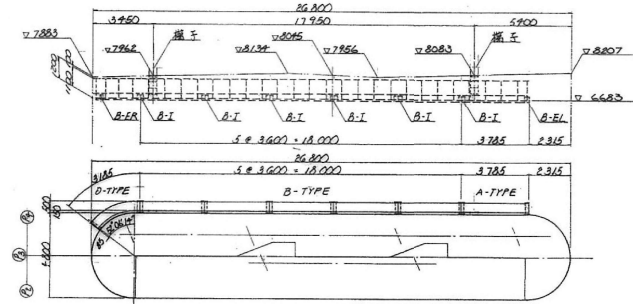
P1橋脚 S=1:300



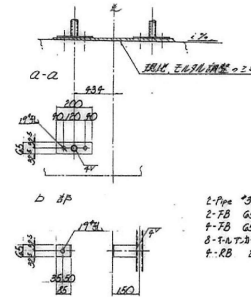
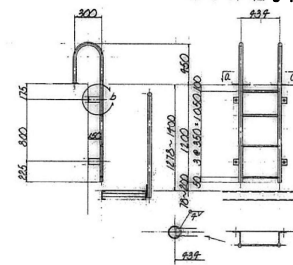
P2橋脚 S=1:300



P3橋脚 **S=1:300**



梯子詳細 S=1:60



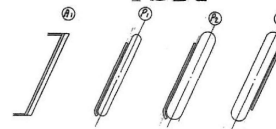
2-Pipe 3/4" x 23 x 2265 (STK 91)
2-FB 65 x 6 x 200
4-FB 65 x 6 x 218
8-T.A.T. 3" M16 x 100
4-RB 12" x 930

座 記

1. 無記名材質は全てSS41とする。
2. 鋼材は全て塩酸亜鉛メッキとする。

仕様量はJIS H8691のHDB.55Cとする。
FEL, ボルト, ナット, 手摺, の仕様量は,
HDB.35Aとする。

— 配置図



新名取川橋 既設下部工検査路撤去数量

		搬去重量 (kg)	搬去延長 (m)
P1機脚	上下總 合計	1,851	24.5
P2機脚		1,876	24.9
P3機脚		1,876	24.9

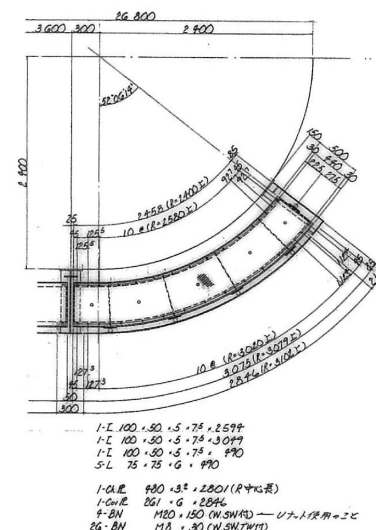
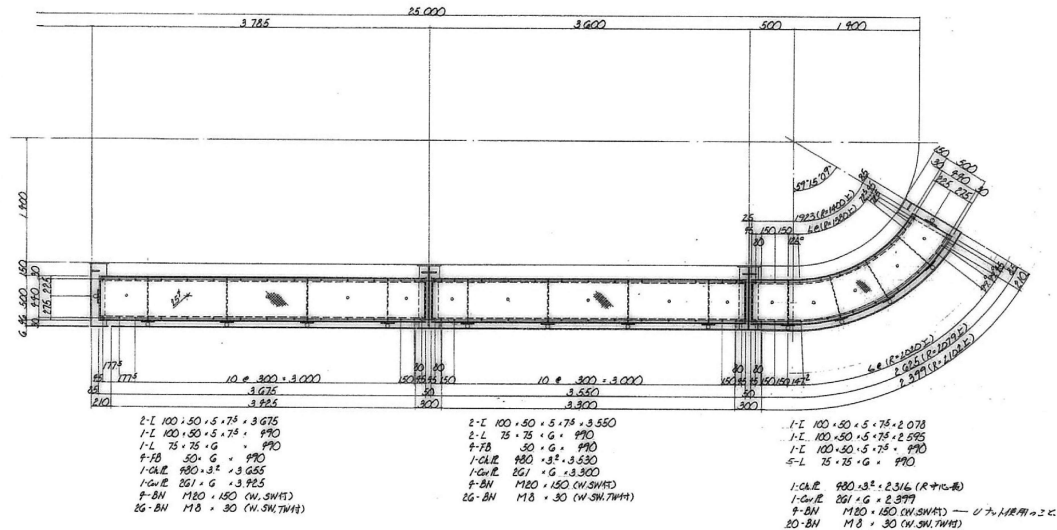
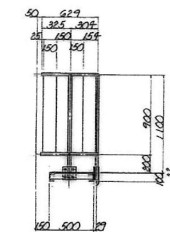
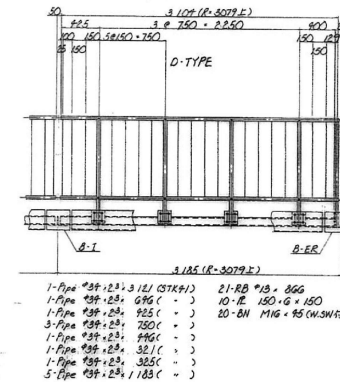
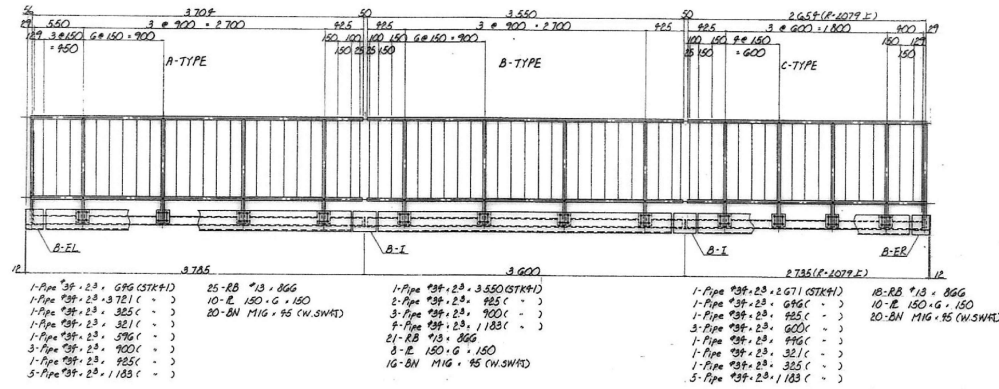
仙台東部道路 新名取川橋新築補強工事	
図面の種類	下部工検査遊歩工圖(その1) ＜P1～P3補脚＞
縮 尺	圖示 圖面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

下部工検査路撤去工図(その2)

<P1~P3橋脚>

S=1:60

163/190



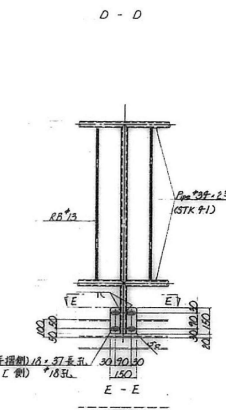
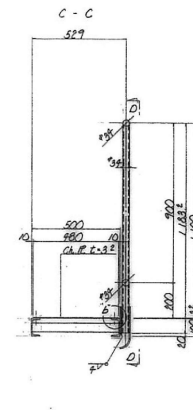
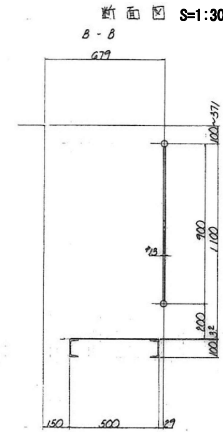
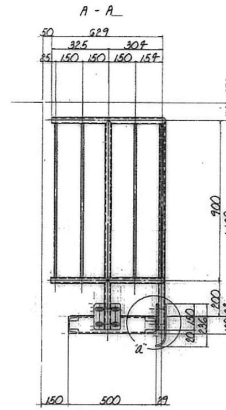
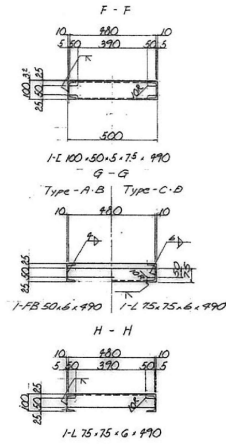
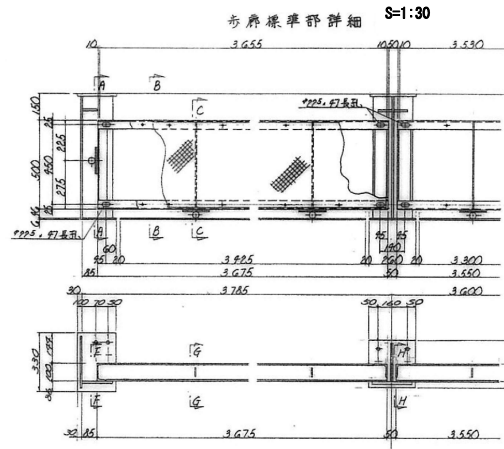
注記
 1. 新設部材は全てS55Cとする。
 2. 部材は全て地盤面を基準とする。
 3. 尺量は、JIS H 6060/1 H 6063 S55Cとする。
 4. 尺量は、JIS H 6060/1 H 6063 S55Cとする。
 5. H 6063 S55Cとする。

仙台東部橋			
新名取川橋脚撤去工事			
図面の種類	下部工検査路撤去工図(その2) <P1~P3橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		
事業所名			

下部工検査路撤去工図(その3)

<P1~P3橋脚>

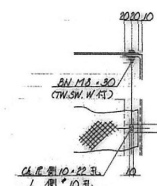
164/190



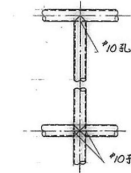
a部詳細 S=1:30



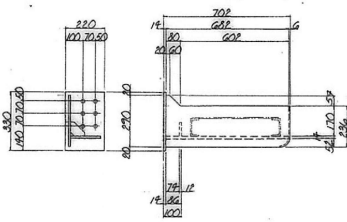
b部詳細 S=1:15



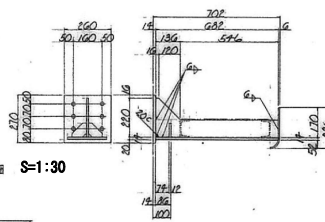
重鋁メッキ室敷板孔詳細 S=1:15



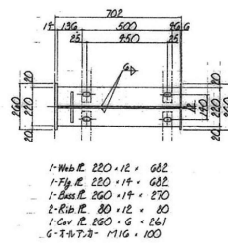
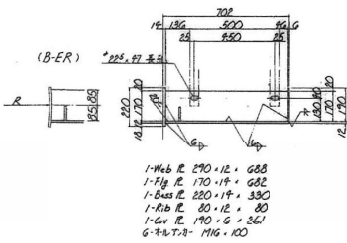
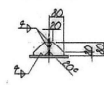
ブラケット B-EL (B-ER) S=1:30
B-ELとB-ERは勝手違へてはる。



ブラケット B-I S=1:30



ブラケット詳細 S=1:30



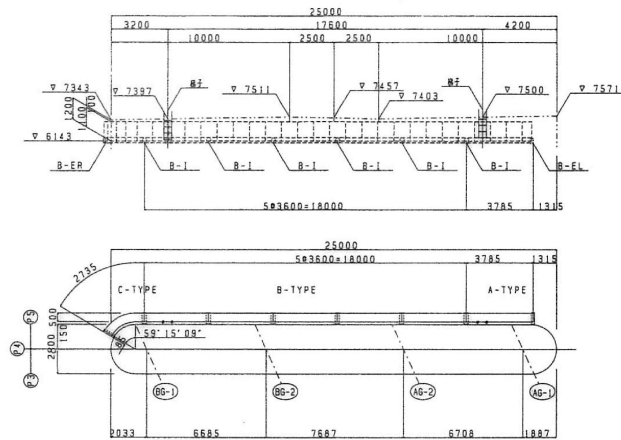
ブラケット製作表

	P, 橋脚	内橋脚	内橋脚	計
B-EL 直	1	1	1	3
B-ER 曲	1 (R=1000)	1 (R=1000)	1 (R=1000)	3
B-I 直	1	1	1	3
計	3	3	3	9

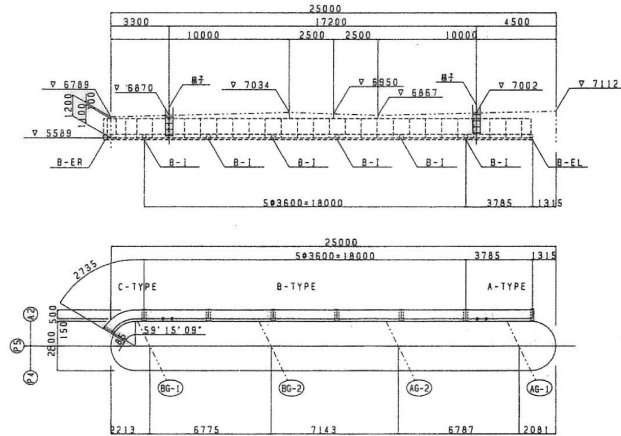
注意
1. 桁元225材質は全てSS41とす。
2. 部材は全て海産重鋁メッキとす。
3. 桁元は JIS H 4041 (H 4041C) とす。
4. 桁元 225材、225材の桁元は
HDE 55A とす。

仙台東部道路 新名取川橋脚撤去工事			
図面の種類	下部工検査路撤去工図(その3) <P1~P3橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

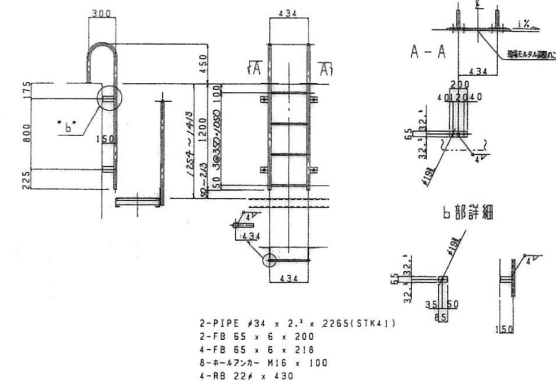
P4 脚 1:300



P5 橋脚 1:300



梯子詳細 1:60

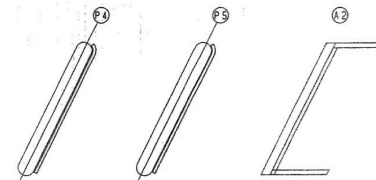


2-PIPE #34 x 2.3 x 2265(STK4)
2-FB 65 x 6 x 200
4-FB 65 x 6 x 218
8-ボルト-ア- M16 x 100
4-RB 22# x 430

注)

1. 補記なき材質は全てSS41とする。
2. 塗料は全て油溶性メッキとする。
付着量は、JIS H 8641のHDZ55C とする。
但し、ボルト、ナット手摺の付着量はHDZ35A とする。

配置图



新名取川橋 既設下部工検査路撤去数量

		撤去重量 (kg)	撤去延長 (m)
P4槽脚	上下鏡	1,851	24.5
P5槽脚	合計	1,851	24.5

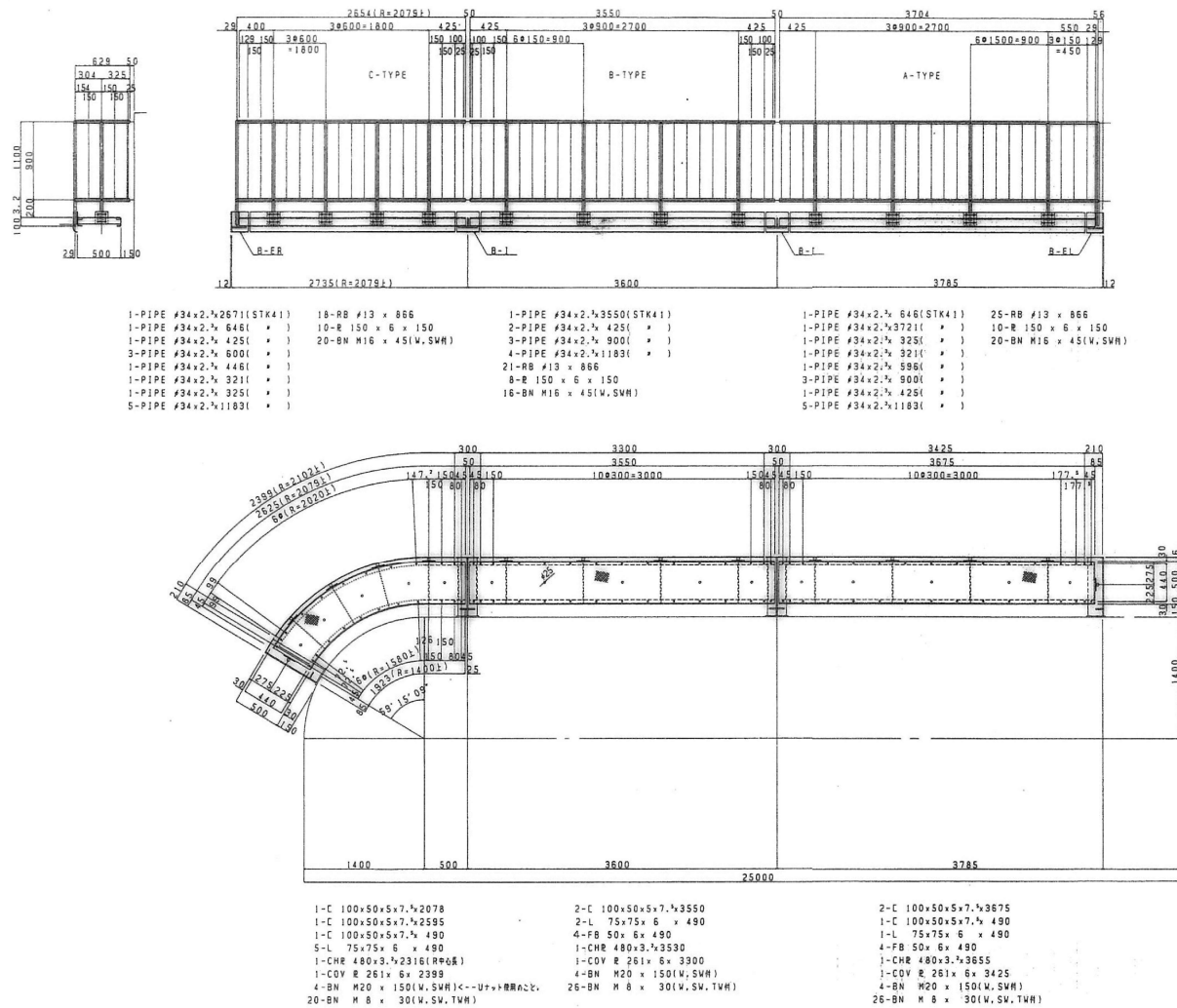
仙台東部道路 新名取川橋新設補強工事			
図面の種類	下郷工検査路踏査工図(その4) <P4・P5橋脚>		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所用	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

下部工検査路撤去工図(その5)

<P4・P5橋脚>

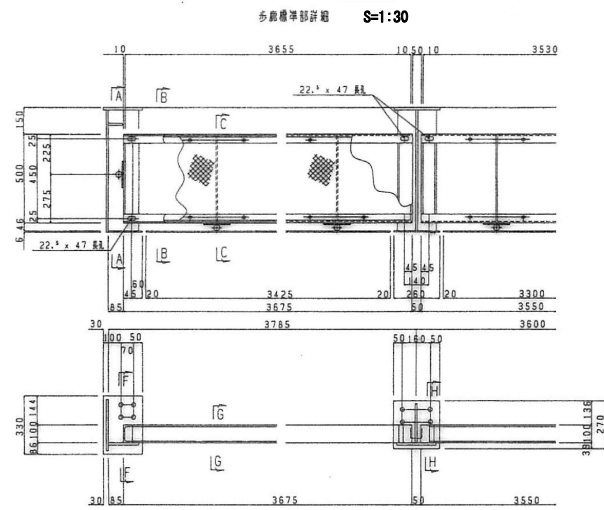
S=1:60

166/190



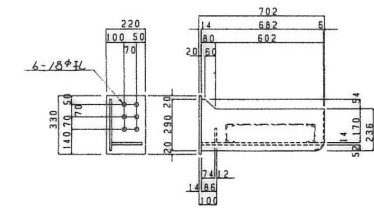
- 注)
1. 補記の材料は全てSS41とする。
 2. 部材は全て溶接継ぎ目メッキとする。
- 付数量は、JIS H 8641のHDZ55C とする。
 仮し、ボルト、ナット、字留の付数量はHDZ35A とする。

仙台東部道路 新名取川橋脚撤去工図(その5)			
図面の種類	下部工検査路撤去工図(その5) <P4・P5橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事業所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

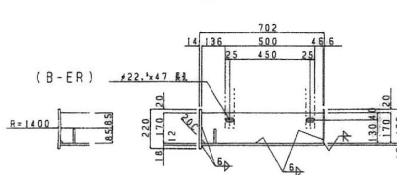


ブラケット B-EL, (B-ER) S=1:30

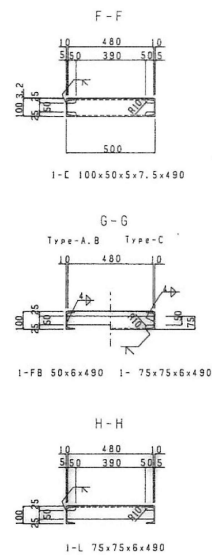
$B-E_L$ と $B-E_R$ は異手違いとする。



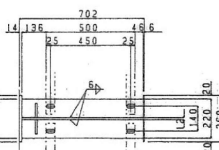
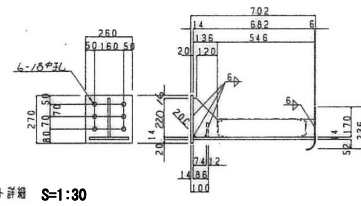
リブプレート詳細 S=1:30



- 1-WEB 290 x 12 x 688
1-FLG 170 x 14 x 682
1-BASE 220 x 14 x 330
1-RIB 80 x 12 x 80
1-COV 190 x 6 x 261
6-ネールアンカー M16 x 100



ブラケット B-I S=1:30

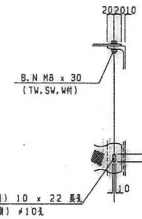


- 1-WEB R 220 x 12 x 582
1-FLG R 220 x 14 x 682
1-BASER 260 x 14 x 270
2-RIB R 80 x 12 x 80
1-COV R 260 x 6 x 261
6-スクリュー M16 x 100

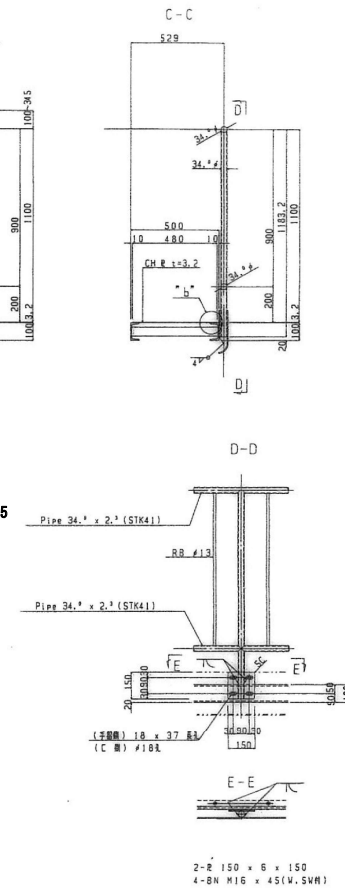
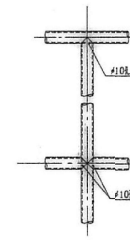
* a * 部詳細 S=1:30



“b”部詳細



S=1:15 亜鉛メッキ空気抜孔詳細 **S=1:15**



- 注)
1. 特記なき材質は全てSS41とする。
 2. 部材は全て油圧引抜きとする。
- 付着量は、JIS H 8641のHDZ55C とする。
- 但し、ボルト、ナット、手摺の付着量はHDZ35A とする。

ブラケット製作数

		P4機型	P5機型	計
B-EL	直	1	1	2
B-ER	曲	1	1	2
B-I	直	6	6	12
	計	8	8	16

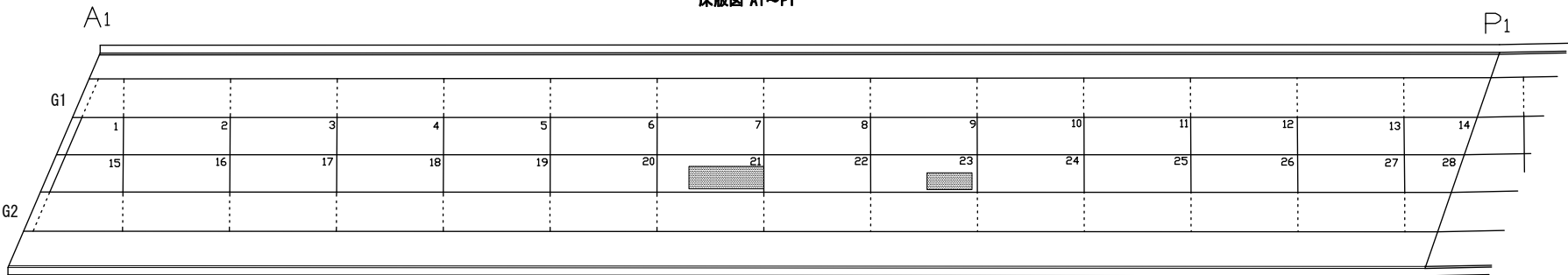
仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事		
図面の種類	下部工検査時遊歩工面(その6) ＜P4・P5欄＞	
縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所	

はつリエ・断面修復工
床版図 A1~P1

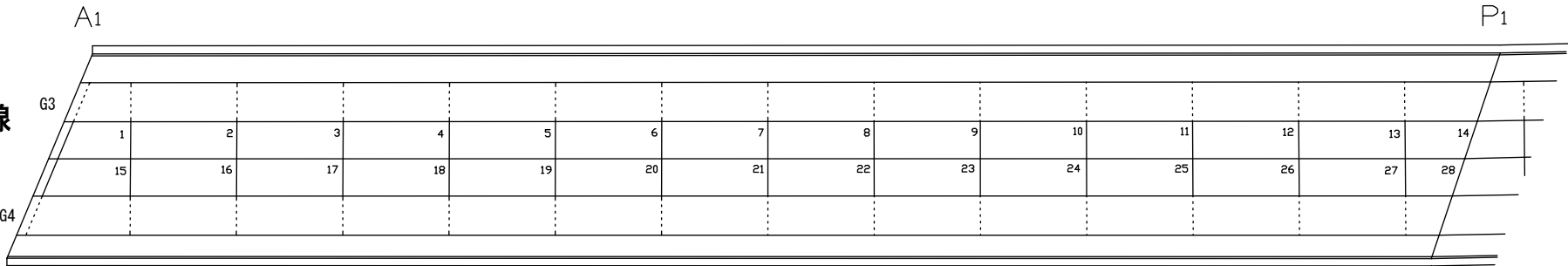
S=1:250

168 / 190

下り線

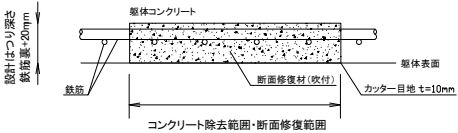


上り線



断面修復工断面図

断面修復工 A.Ab.B.C
コンクリートはつリエ A.Ab.B.C



断面修復工 A 数量表 (下り線 上部工)

番号	区間	場所	延長 (m)	幅 (m)	面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (L)
21	A1-P1	床版下面	4.0	1.2	4.80	69	331.2
23	A1-P1	床版下面	2.4	0.9	2.16	69	149.0
合計							480.2

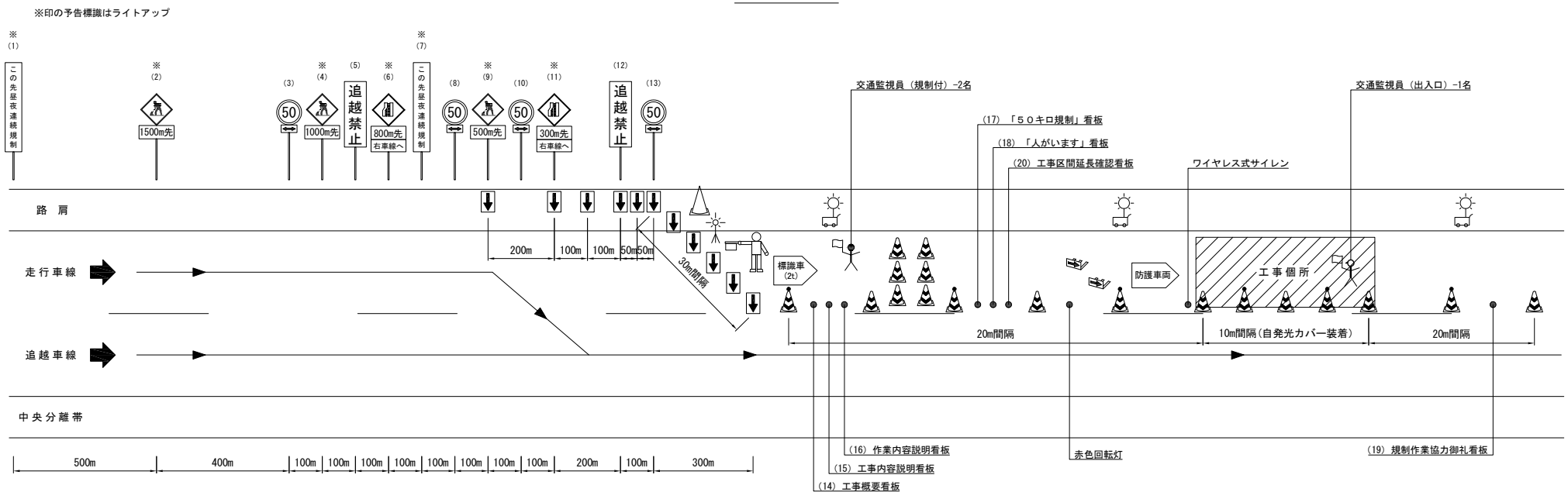
コンクリートはつリエ A 数量表 (下り線 上部工)

番号	区間	場所	工法	延長 (m)	幅 (m)	面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (L)
21	A1-P1	床版下面	WJ工法	4.0	1.2	4.8	69	331.2
23	A1-P1	床版下面	WJ工法	2.4	0.9	2.16	69	149.0
WJ工法 小計								480.2
合計								480.2

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	はつリエ・断面修復工 床版図 A1~P1		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

交通規制図(その1)
車線規制 I × I × 0

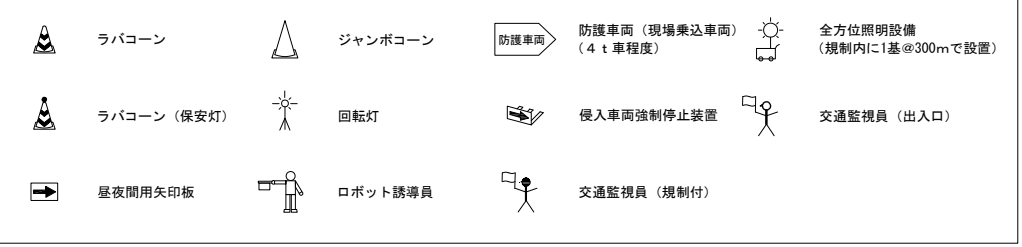
走行車線規制



規制機材等区分表

項目	細目	区分		備考
		受注者	発注者	
規制標識		○	—	(1) ~ (13)
矢印板	テーパー及びテーパー先端部の手前に設置	○	—	昼夜間用
ジャンボコーン	規制先端部	○	—	
回転灯		○	—	
ロボット誘導員		○	—	
標識車		○	—	2 t 車
ラバコーン	40m間隔で保安灯を設置(コーン差込みタイプ)	○	—	
工事関係看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(14) ~ (16)
「50キロ規制」看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(17)
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(18)
規制作業協力御礼看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(19)
工事区間延長確認看板	W550×H1400 高輝度反射式	○	—	(20)
赤色回転灯		○	—	
防護車両	現場乗込車両 4 t 車程度	○	—	
進入車両強制停止装置	工事箇所上流に設置	○	—	
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○	—	
ラバコーン用自発光カバー	工事箇所に10間隔で設置	○	—	
全方位証明設備	400Wメタルハライド同等以上	○	—	テーパー起点から300m後方が1基目
予告標識ライトアップ機材	LEDソーラー充電タイプ	○	—	規制図に示す「ライトアップ」標識

凡 例

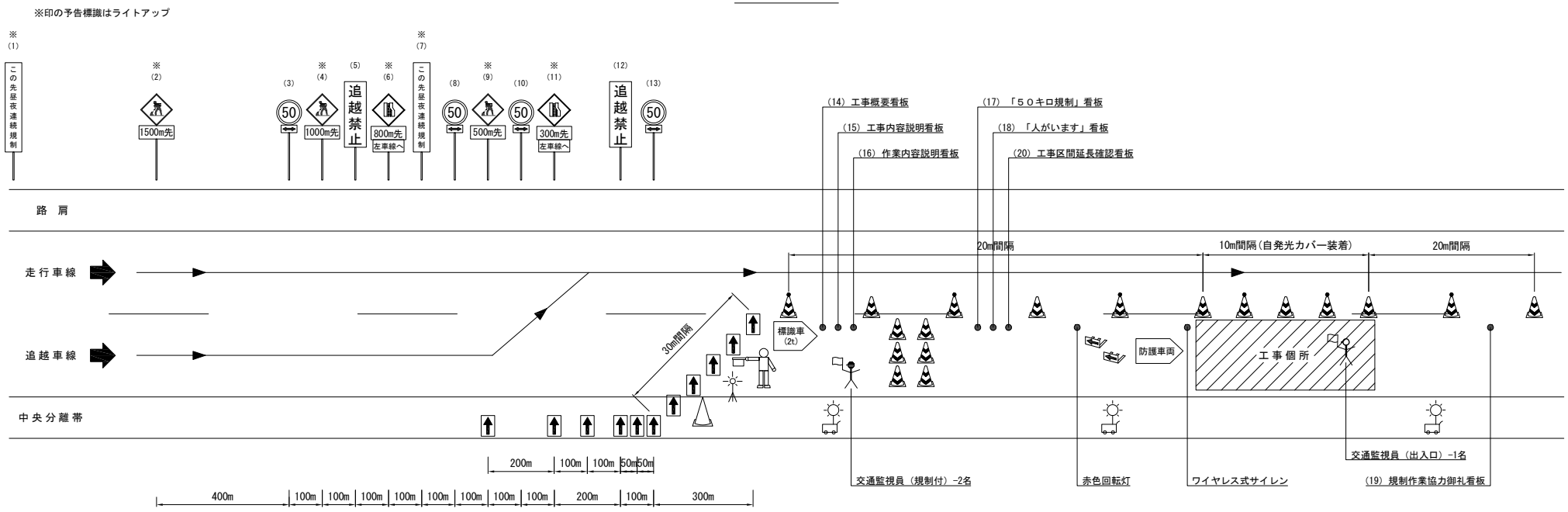


※ 「工事区間延長確認看板」については規制解除端からの延長を表示する。
(規制延長が1 kmを超える場合に1 km毎に1箇所設置する。)

仙台直轄道路 新名取川橋南側補強工事			
図面の種類	交通規制図(その1) 車線規制 I × I × 0		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

交通規制図(その2)
車線規制 I × I × 0

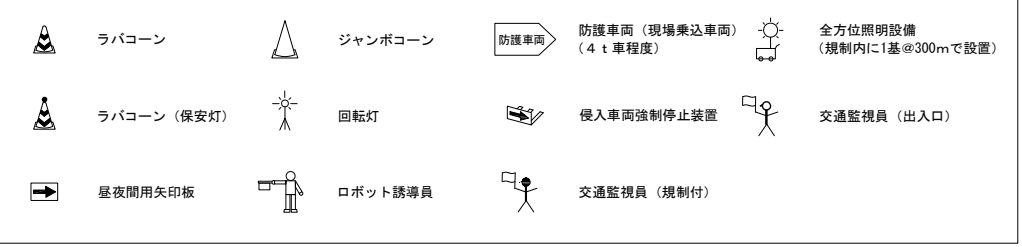
追越車線規制



規制機材等区分表

項目	細目	区分		備考
		受注者	発注者	
規制標識		○	—	(1) ~ (13)
矢印板	テーパー及びテーパー先端部の手前に設置	○	—	昼夜間用
ジャンボコーン	規制先端部	○	—	
回転灯		○	—	
ロボット誘導員		○	—	
標識車		○	—	2 t 車
ラバコーン	40m間隔で保安灯を設置 (コーン差込みタイプ)	○	—	
工事関係看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(14) ~ (16)
「50キロ規制」看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(17)
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(18)
規制作業協力御礼看板	W1100×H1400 高輝度反射式	○	—	(19)
工事区間延長確認看板	W550×H1400 高輝度反射式	○	—	(20)
赤色回転灯		○	—	
防護車両	現場乗込車両 4 t 車程度	○	—	
進入車両強制停止装置	工事箇所上流に設置	○	—	
ワイヤレス式サイレン	工事箇所に設置	○	—	
ラバコーン用自発光カバー	工事箇所に10間隔で設置	○	—	
全方位証明設備	400Wメタルハライド同等以上	○	—	テーパー起点から300m後方が1基目
予告標識ライトアップ機材	LEDソーラー充電タイプ	○	—	規制図に示す「ライトアップ」標識

凡 例



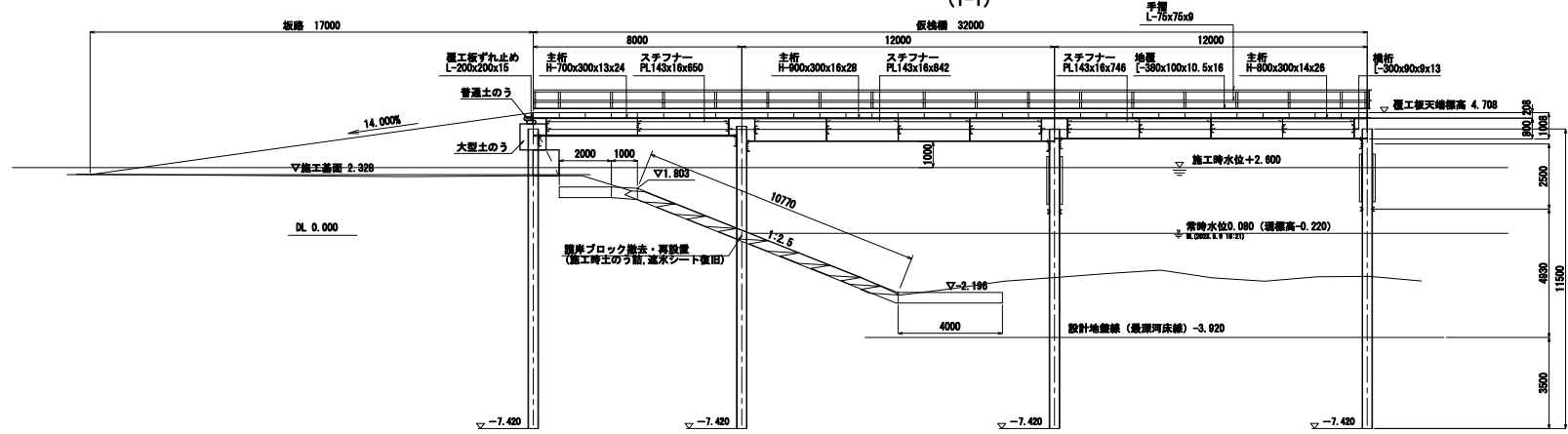
※ 「工事区間延長確認看板」については規制解除端からの延長を表示する。
(規制延長が1kmを超える場合に1km毎に1箇所設置する。)

仙台直轄道路 新名取川橋南側補強工事			
図面の種類	交通規制図(その2) 車線規制 I × I × 0		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

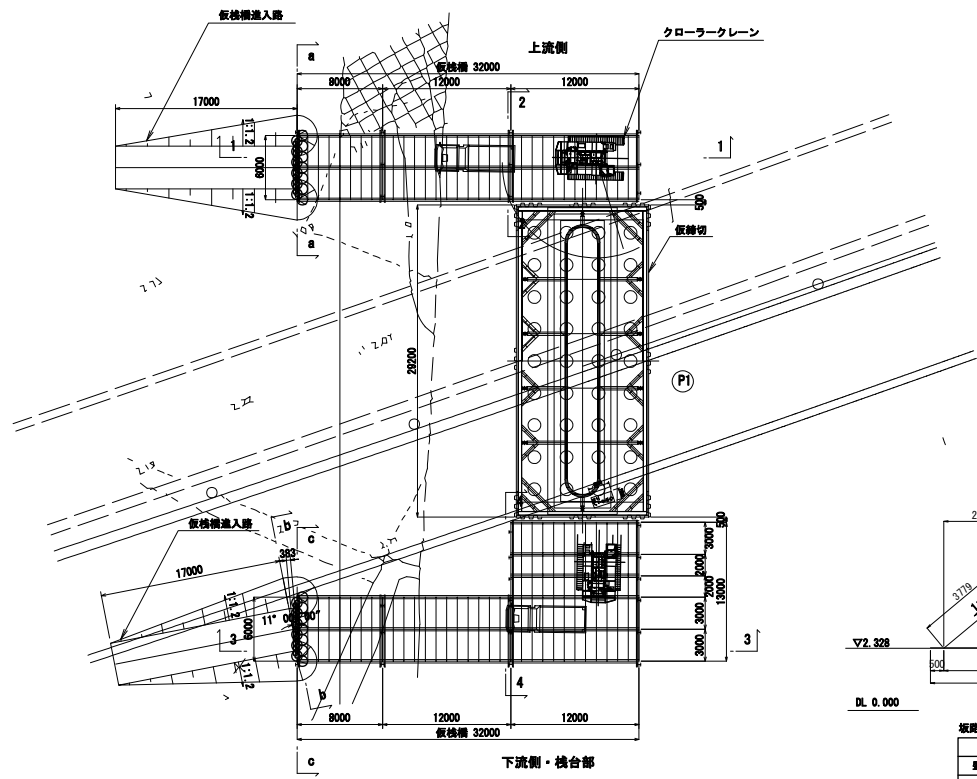
仮橋工図(その1)
(上流側)

側面図
(1-1)

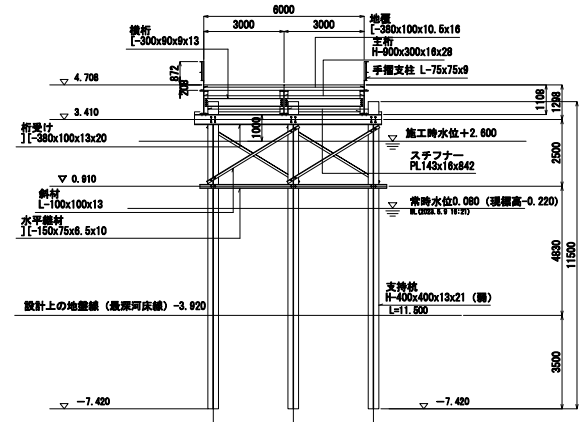
S=1:200



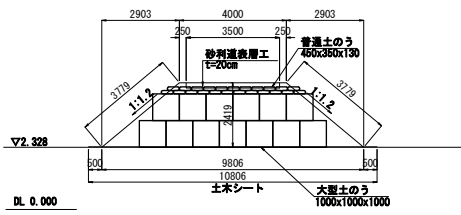
平面図 S=1:500



断面図
(2-2)



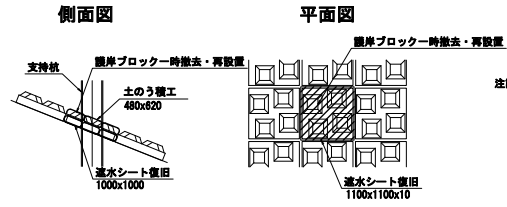
盛土断面図
(a-a) S=1:200



仮橋部数量集計表

工種	規格・寸法	単位	数量	摘要
盛土	側溝上流用	m3	142.0	
土木シート	引張強さ900N/3mm t=0.37mm	m2	134.3	ポリプロピレン製
砂利置換層工	RC40	m3	12.0	
大型土のう積工	φ1100x1100	個	13	ポリプロピレン製
土のう積工	480x820	個	23	ポリエチレン

護岸ブロック撤去・設置図 S=1:100



- 注記) 1. 本図面は、既存資料及び現地調査に基づき、作成した図面である。
2. 工事により、寸法等や地質状況は、現地調査により変更すること。
3. 資材の搬入・搬出時、仮設等については必要に応じて関係機関と協議を行うこと。
4. 本図面は、1枚の図面を構成しているもので、注意のこと (現場高-竣工時高-0.300)

護岸ブロック撤去・設置数量

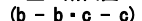
項目	数量	備考
大型連節ブロック撤去・設置	3箇所	
土のう積工 設置・撤去	38個	1箇所当り12個
吸出防止材	3.6m2	1100x1100x10

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	仮橋工図(その1) (上流側)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平研日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

S=1:200

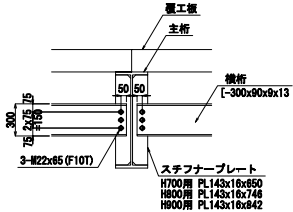


S=1:500

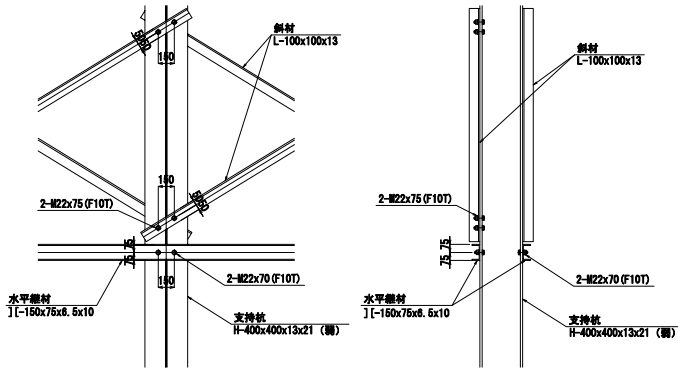
陸岸ブロック撤去・設置数量

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	仮橋構工図(その2) (下支脚)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

横桁取付詳細図 S=1:50

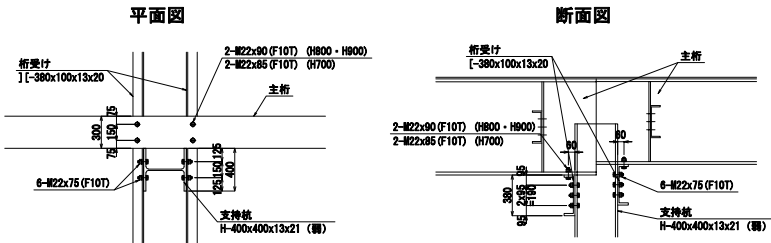


斜材及び水平継材取付詳細図 S=1:50

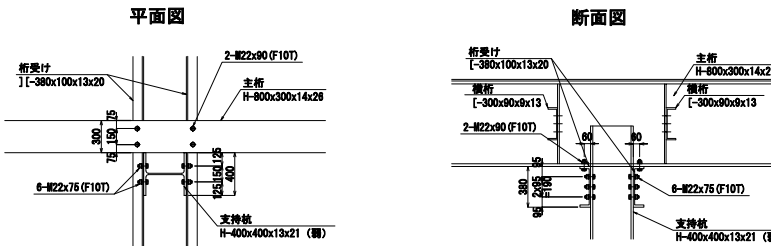


主桁・支持杭と桁受け取付詳細図 S=1:50

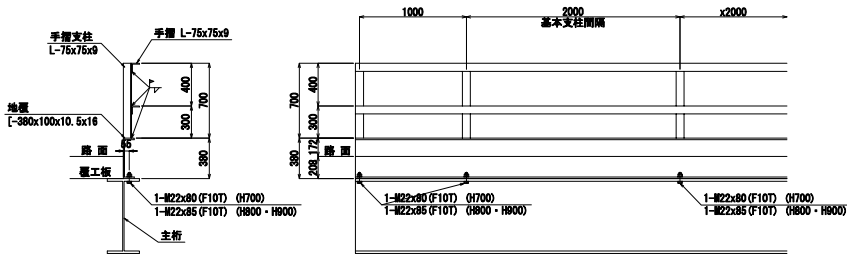
上流・下流 通路部



下流 栈台部



防護柵(高欄)詳細図 S=1:50



仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	仮橋工図(その3) 取付詳細図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

仮橋橋工図(その4)
材料表(上流側)

上流側 上部工数量表

1. 覆工板							
品名	記号・断面	1枚当平米数 (㎡)	-	-	通路部	合計	平米数 (㎡)
覆工板	MD(M)-1.0×3.0	3.0	-	-	64	64	192.0
小計面積(㎡) :					192.0		
覆工板 合計面積(㎡) :						192.0	

2. 主桁							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
主桁	H700×300×13×24	182.00	8.000	1,456.00	3	3	4,368
〃	H900×300×16×28	240.00	12.000	2,880.00	3	3	8,640
〃	H800×300×14×26	207.00	12.000	2,484.00	3	3	7,452
小計質量(kg) :					20,460		20,460
主材 合計質量(t) :						20,460	

3. 覆工板ｽﾚ止め							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
覆工板ｽﾚ止め	L-200×200×15	45.3	0.20	9.06	3	3	27
小計質量(kg) :					27		
覆工板ｽﾚ止め 合計質量(t) :						0,027	

4. 横継材							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
横継材	└ 300×90×9×13	38.1	2.90	110.49	26	26	2,873
小計質量(kg) :					2,873		
横継材 合計質量(t) :						2,873	

5. プレート							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
ｽﾚｯﾄﾞ	PL143×16×650	-	-	11.67	12	12	140
〃	PL143×16×842	-	-	15.12	20	20	302
〃	PL143×16×746	-	-	13.40	20	20	268
小計質量(kg) :					710		710
ﾌﾟﾚｰﾄ 合計質量(t) :						0,710	

上部工設置・撤去重量 (覆工板・ボルト・高欄含まない)					2～5	合計質量(t) :	24,070
-----------------------------	--	--	--	--	-----	-----------	--------

6. 仮設高欄(形鋼橋立型)							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
地覆	└ 380×100×10.5×16	54.5	8.00	436.00	2	2	872
〃	└ 380×100×10.5×16	54.5	12.00	654.00	4	4	2,616
〃	└ 380×100×10.5×16	54.5	6.00	327.00	1	1	327
手摺	L-75×75×9	9.96	12.000	119.52	8	8	956
〃	L-75×75×9	9.96	8.000	79.68	4	4	319
〃	L-75×75×9	9.96	6.000	59.76	2	2	120
手摺支柱	L-75×75×9	9.96	0.700	6.97	41	41	286
小計質量(kg) :					5,496		5,496
水平延長(m) :					(70.0m)	(70.0m)	
仮設高欄 合計質量(t) :						5,496	

7. ｶﾞｰﾄﾞ・ﾌｫｯﾄ : 実数							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
高力ｶﾞｰﾄﾞ	M22×65(F10T)	-	-	0.540	156	156	84
〃	M22×80(F10T)	-	-	0.585	10	10	6
〃	M22×85(F10T)	-	-	0.600	31	31	19
小計質量(kg) :					84		
ｶﾞｰﾄﾞ・ﾌｫｯﾄ 合計質量(t) :						0,109	

上流側 下部工数量表

1. 桁受け							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
桁受け	└ 380×100×13×20	67.3	7.000	471.10	6	6	2,827
小計質量(kg) :					2,827		2,827
桁受け 合計質量(t) :						2,827	

2. 水平継材							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
水平継材	└ 150×75×6.5×10	18.6	7.000	130.20	4	4	521
小計質量(kg) :					521		521
水平継材 合計質量(t) :						0,521	

3. 斜材							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
斜材	L100×100×13	19.1	4.020	76.78	8	8	614
小計質量(kg) :					614		614
斜材 合計質量(kg) :						0,614	

4. 抗材数量							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
支持杭	H400×400×13×21	172.0	11.500	1,978.0	12	12	23,736
小計質量(kg) :					23,736		-
支持杭 合計質量(t) :						23,736	

下部工設置・撤去重量 (ボルト含まない)					1～4	合計質量(t) :	27,698
----------------------	--	--	--	--	-----	-----------	--------

5. 高力ｶﾞｰﾄﾞ : 実数							
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	合計	質量 (kg)
高力ｶﾞｰﾄﾞ	M22×85(F10T)	-	-	0.600	12	12	7
〃	M22×90(F10T)	-	-	0.615	24	24	15
〃	M22×75(F10T)	-	-	0.570	108	108	62
〃	M22×75(F10T)	-	-	0.570	32	32	18
〃	M22×70(F10T)	-	-	0.555	24	24	13
小計質量(kg) :					108		115
高力ｶﾞｰﾄﾞ 合計質量(kg) :						0,115	

上流側 杭橋脚打込み・引抜き長

種別	部材長		枚数	1本当たりの打込み・引抜き長		最大N値
	(m)	(本)		(m)	(m)	
H-400	11.5	3		9.70	29.10	38
H-400	11.5	3		7.19	21.57	38
H-400	11.5	3		5.80	17.40	38
H-400	11.5	3		5.85	17.55	38
合計			12		85.62	

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	仮橋橋工図(その4) 材料表(上流側)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

仮橋橋工図(その5)
材料表(下流側)

下流側・橋台部 上部工数量表

1. 覆工板									
品名	記号・断面	1枚当平米数 (㎡)	-	-	通路部	橋台部	合計	平米数 (㎡)	備考
覆工板	MD(M)-1.0×3.0	3.0	-	-	64	12	76	228	落とし込み式 鋼製補強型
覆工板	MD(M)-1.0×2.0	2.0	-	-	-	24	24	48	落とし込み式 鋼製補強型
小計面積(㎡)：					192.0	84.0		276.0	
					覆工板	合計面積(㎡)：	276.0		

2. 主桁									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
主桁	H700×300×13×24	182.00	8.000	1,456.00	3	-	3	4,368	
〃	H900×300×16×28	240.00	12.000	2,880.00	6	-	6	17,280	
〃	H800×300×14×26	207.00	12.000	2,484.00	-	3	3	7,452	
小計質量(kg)：					21,648	7,452		29,100	
					主桁	合計質量(t)：	29.100		

3. 覆工板スリ止め									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
覆工板スリ止め	L-200×200×15	45.3	0.20	9.06	3	-	3	27	
小計質量(kg)：					27			27	
					覆工板スリ止め	合計質量(t)：	0.027		

4. 横継材									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
横継材	∟ 300×90×9×13	38.1	2.90	110.49	26	5	31	3,425	
〃	∟ 300×90×9×13	38.1	1.90	72.39	-	10	10	724	
小計質量(kg)：					2,873	1,276		4,149	
					横継材	合計質量(t)：	4.149		

5. 2プレート									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
2プレート	PL143×16×650	-	-	11.67	12	-	12	140	H700用
〃	PL143×16×842	-	-	15.12	40	5	45	681	H900用
〃	PL143×16×746	-	-	13.40	-	25	25	335	H800用
小計質量(kg)：					745	411		1,156	
					2プレート	合計質量(t)：	1.156		

上部工設置・撤去重量（覆工板・ボルト・高欄含まない）					2～5	合計質量(t)：	34.432		
----------------------------	--	--	--	--	-----	----------	--------	--	--

6. 仮設高欄(影線縦立型)									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
地覆	∟ 380×100×10.5×16	54.5	8.00	436.00	2	-	2	872	
〃	∟ 380×100×10.5×16	54.5	12.00	654.00	3	-	3	1,962	
〃	∟ 380×100×10.5×16	54.5	6.00	327.00	1	-	1	327	
〃	∟ 380×100×10.5×16	54.5	7.00	381.50	-	2	2	763	
〃	∟ 380×100×10.5×16	54.5	12.00	654.00	-	1	1	654	
手摺	L-75×75×9	9.96	8.000	79.68	4	-	4	319	
〃	L-75×75×9	9.96	12.000	119.52	6	-	6	717	
〃	L-75×75×9	9.96	6.000	59.76	2	-	2	120	
〃	L-75×75×9	9.96	7.000	69.72	-	4	4	279	
〃	L-75×75×9	9.96	5.500	54.78	-	4	4	219	
支柱	L-75×75×9	9.96	0.700	6.97	34	17	51	355	
小計質量(kg)：					4,554	2,033		6,587	
水平延長(m)：					(58.0m)	(25.0m)		(83.0m)	
					仮設高欄	合計質量(t)：	6.587		

7. 8プレート・ナット：実数									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
高力8プレート	M22×65(F10T)	-	-	0.540	156	90	246	133	横継材取付用
〃	M22×80(F10T)	-	-	0.585	10	-	10	6	主桁(H700)・地覆
〃	M22×85(F10T)	-	-	0.600	24	17	41	24	主桁(H800・900)・地覆
小計質量(kg)：					84	-	-	-	
					8プレート・ナット	合計質量(t)：	0.163		

下流側・橋台部 下部工数量表

1. 桁受け									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
桁受け	∟ 380×100×13×20	67.3	7.000	471.10	6	2	8	3,769	
〃	∟ 380×100×13×20	67.3	6.000	403.80	-	2	2	808	
小計質量(kg)：					2,827	1,750		4,577	
					桁受け	合計質量(t)：	4.577		

2. 水平継材									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
水平継材	∟ 150×75×6.5×10	18.6	14.000	260.40	-	4	4	1,042	通路部と共通
小計質量(kg)：					-				
					水平継材	合計質量(t)：	1.042		

3. 斜材									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
斜材	L100×100×13	19.1	4.020	76.78	8	4	12	921	
斜材	L100×100×13	19.1	3.120	59.59	-	8	8	477	
小計質量(kg)：					614		-	1,398	
					斜材	合計質量(kg)：	1,398		

4. 杭材数量									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
支持杭	H400×400×13×21	172.0	11.500	1,978.0	12	6	18	35,604	
小計質量(kg)：					23,736	11,868	-	35,604	
					支持杭	合計質量(t)：	35.604		

下部工設置・撤去重量（ボルト含まない）					1～4	合計質量(t)：	42.621		
---------------------	--	--	--	--	-----	----------	--------	--	--

5. 高力8プレート：実数									
品名	記号・断面	単位質量 (kg/m)	長さ (m)	1個当質量 (kg)	通路部	橋台部	合計	質量 (kg)	備考
高力8プレート	M22×85(F10T)	-	-	0.600	12	-	12	7	主桁(H700)・桁受け
〃	M22×90(F10T)	-	-	0.615	24	12	36	22	主桁(H900・900)・桁受け
〃	M22×75(F10T)	-	-	0.570	108	36	144	83	桁受け・支持杭
〃	M22×75(F10T)	-	-	0.570	32	48	80	45	支持杭・斜材
〃	M22×70(F10T)	-	-	0.555	24	24	48	26	支持杭・水平継材
小計質量(kg)：					115	68	-	183	
					高力8プレート	合計質量(kg)：	0.183		

下流・橋台部 杭橋脚打込み・引抜き長

種別	部材長 (m)	枚数 (本)	1本当たりの 打込み・引抜き 延長		最大N値
			(m)	(m)	
H-400	11.5	3	9.79	29.37	38
H-400	11.5	3	7.19	21.57	38
H-400	11.5	6	4.65	27.90	38
H-400	11.5	6	3.93	23.58	38
合計		18		102.42	

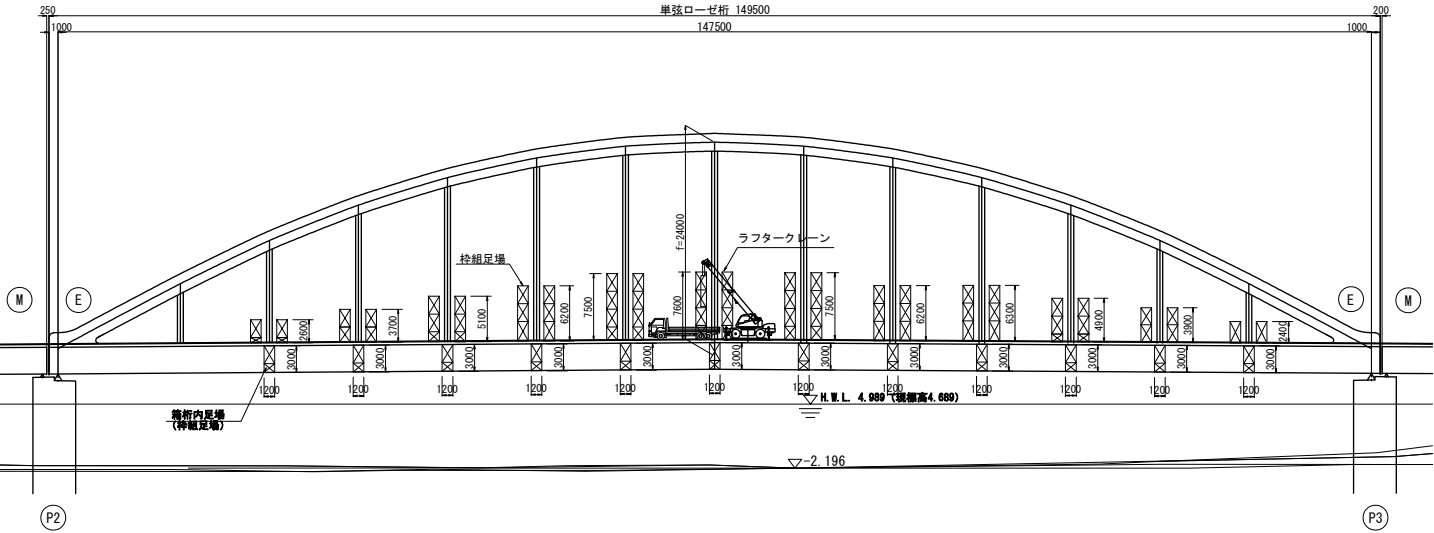
仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	仮橋橋工図(その5) 材料表(下流側)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

施工計画図(参考図)(その1)

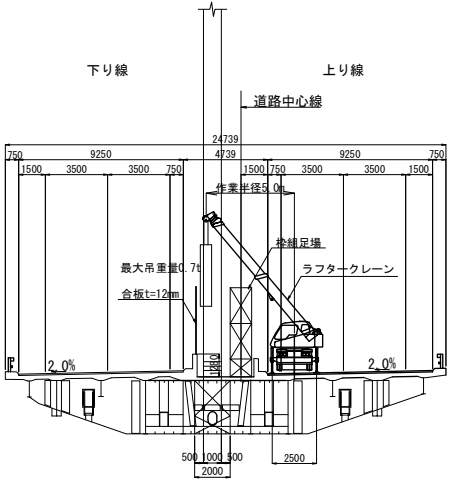
上部工鉛直材補強工

176/190

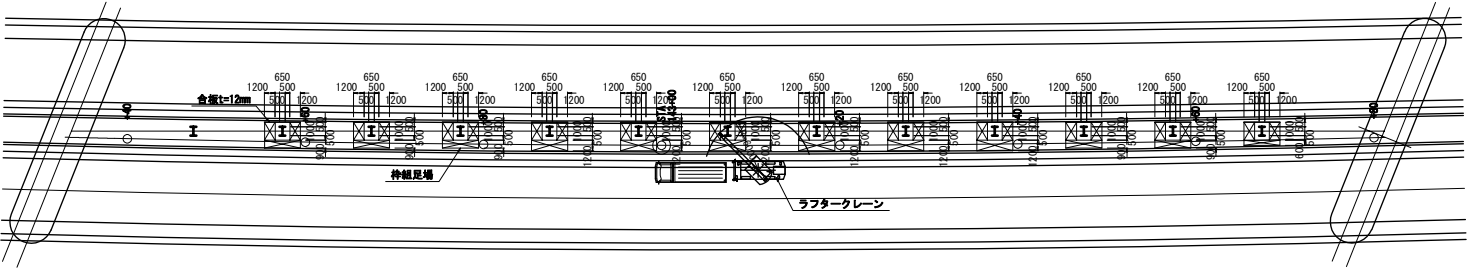
側面図 S=1:600



断面図 S=1:300



平面図 S=1:600



注記) 1. 工事に当たり、足場設置の可否を確認し、車道に影響する範囲は合板により対応のこと。

仙合東部道路 新名取川橋脚直材補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その1) 上部工鉛直材補強工		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙合東管轄事務所		

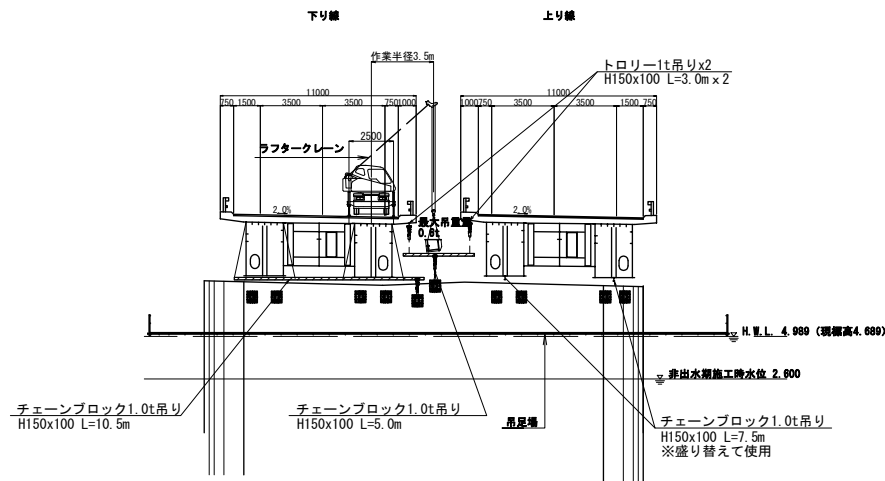
施工計画図(参考図)(その2)

鋼箱桁側付属物施工計画図 (P2・P3橋脚)

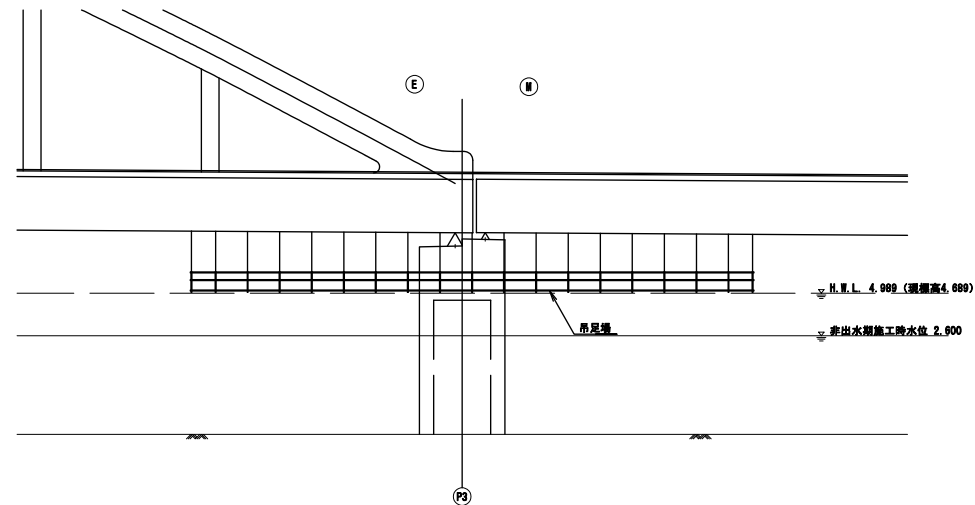
S=1:300

177 / 190

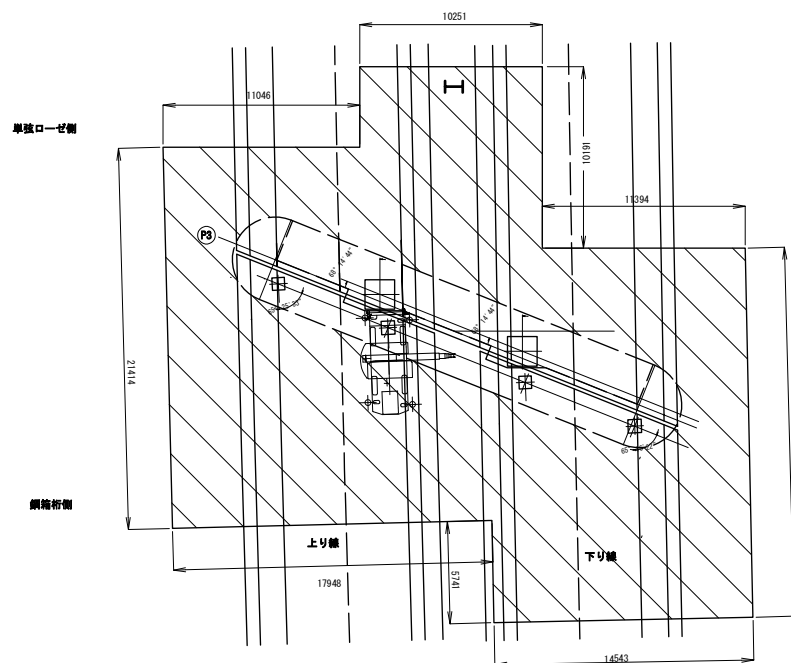
断面図 S=1:300



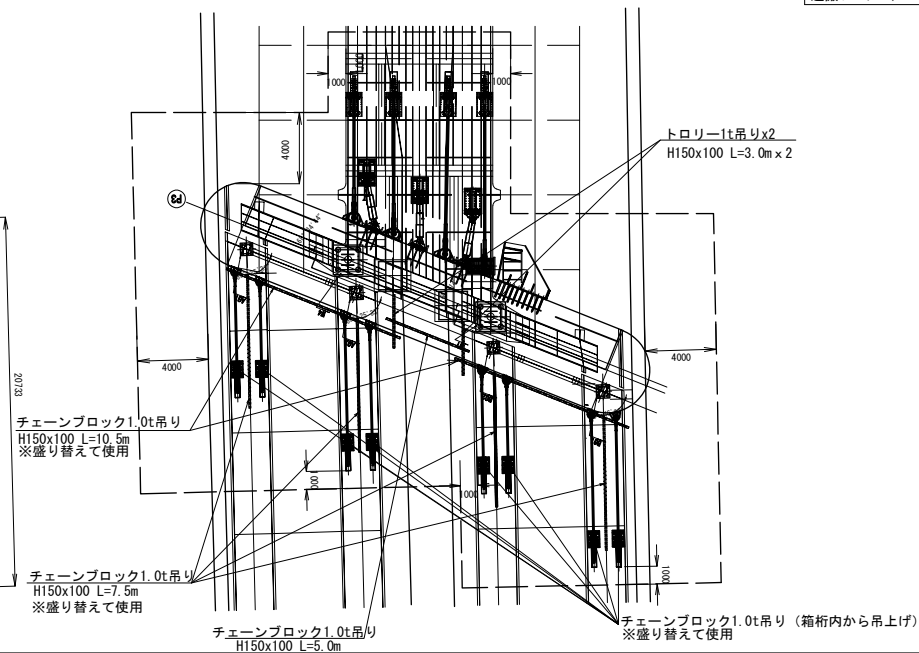
側面図



平面図 S=1:300



平面図 S=1:300

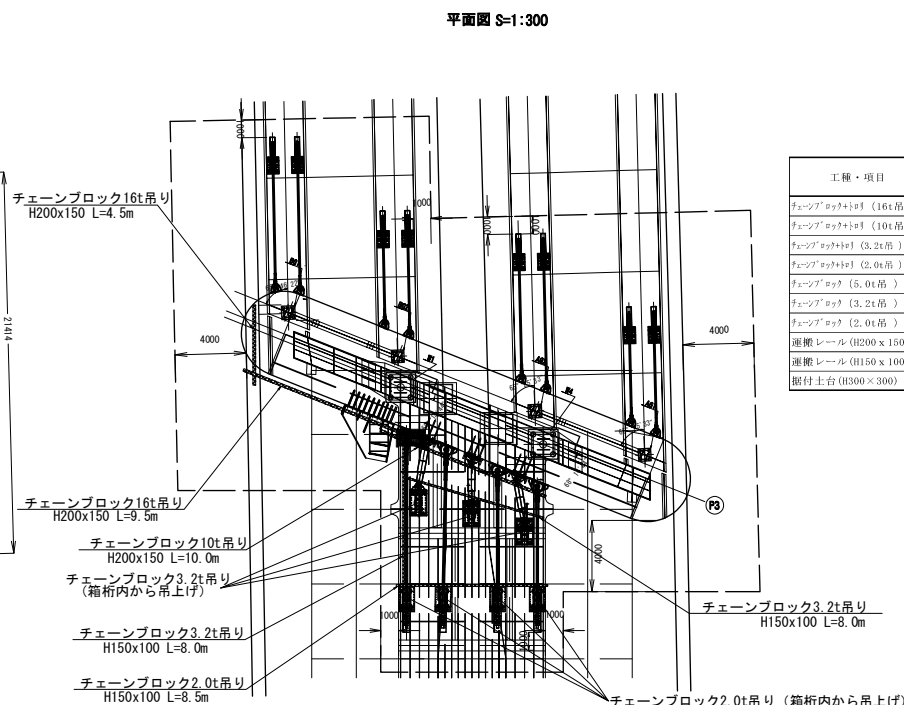
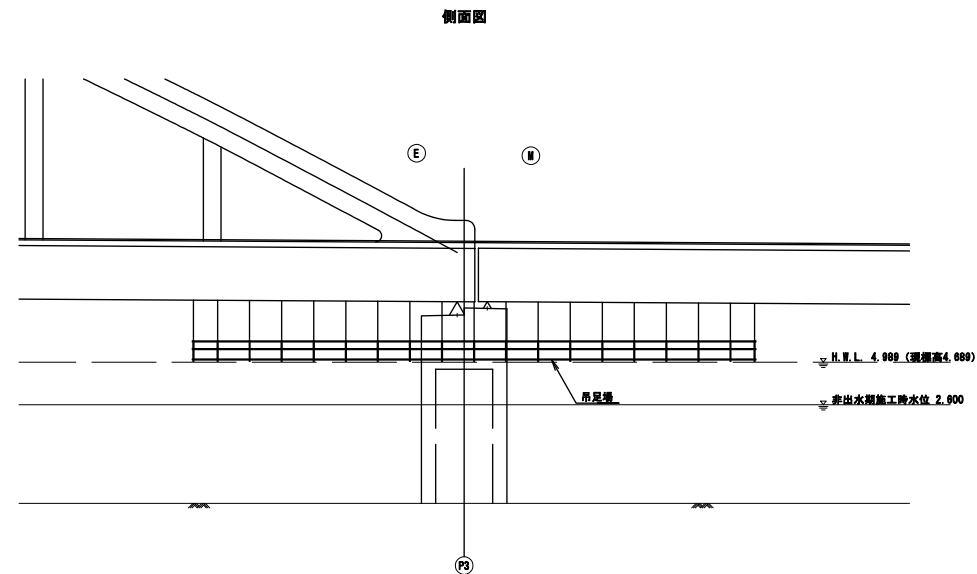


【P2, P3鋼箱桁側(天井クレーン設備)】1箇所当り

工種・項目	単位	数量	備考
チェーンブロック+トリ (1.0t吊)	基	3	
チェーンブロック (1.0t吊)	基	1	
トリ (1.0t吊)	基	2	
運搬レール (H150x100)	kg	600.3	ΣL=29.0m

注記) 1. 工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
2. 資機材搬入・搬出時、便路等については必要に応じて関係機関と協議を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋桁架補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その2) 鋼箱桁側付属物施工計画図 (P2・P3橋脚)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		



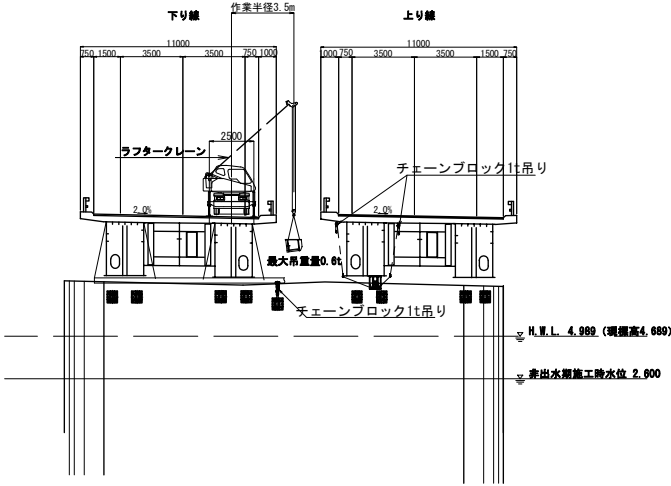
【P2、P3単弦ローゼ棚（天井クレーン設備）】1箇所当				
工種・項目	単位	桁内補強部材		
		上部アラケット	下部アラケット	変位制限 必要量（最大値）
チェーンボルトφ10×16t(吊)	基	2	2	2
チェーンボルトφ10×10t(吊)	基		1	1
チェーンボルトφ10(3.2t吊)	基	2		2
チェーンボルトφ10(2.0t吊)	基	2		2
チェーンボルトφ8(5.0t吊)			2	2
チェーンボルトφ8(3.2t吊)	基	1		1
チェーンボルトφ8(2.0t吊)	基	1		1
連続レール(H200 x 150)	kg	418.6	717.6	418.6
連続レール(H150 x 100)	kg	507.2		507.2
据付土台(H300×300)	t		186.00	186.0

仙台東部道路 新名取川橋梁震害補修工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その3) 早稲コザ割付異物除去計画図(P2・P3附)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

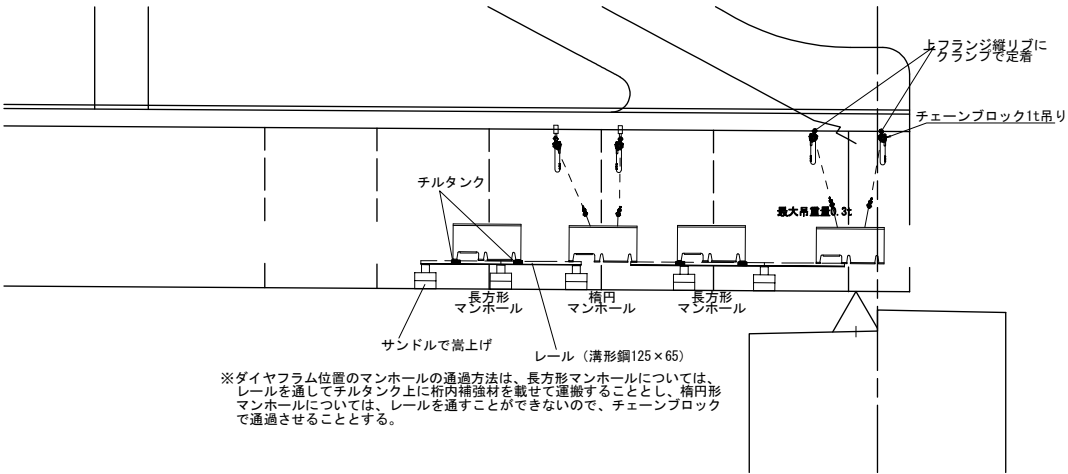
注記) 1. 工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

施工計画図(参考図)(その4)
桁内補強部材の運搬計画搬入 一般図<P2・P3橋脚>

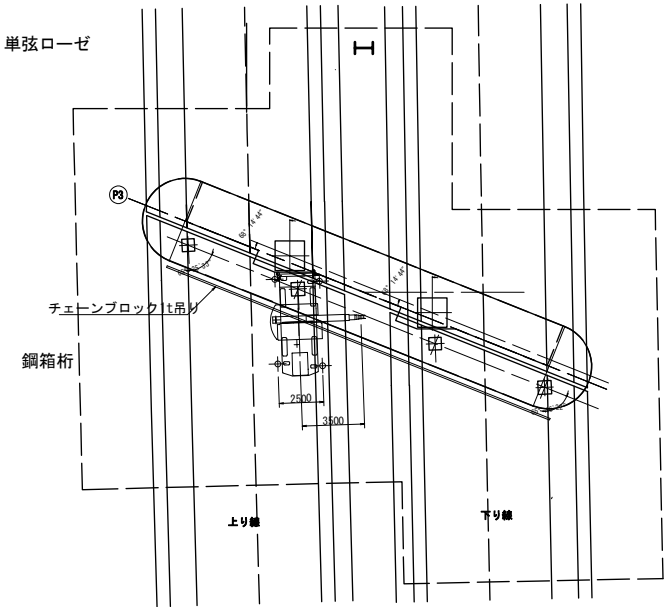
断面図 S=1:300



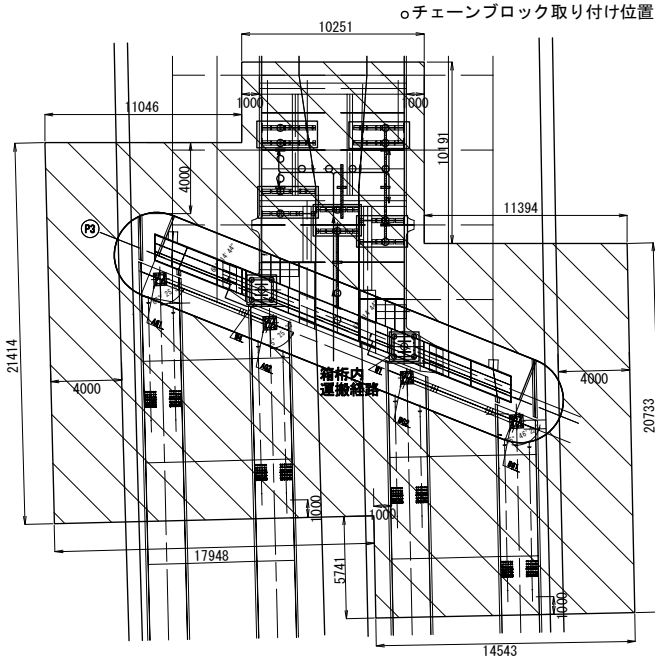
単弦ローゼ箱桁内 S=1:100



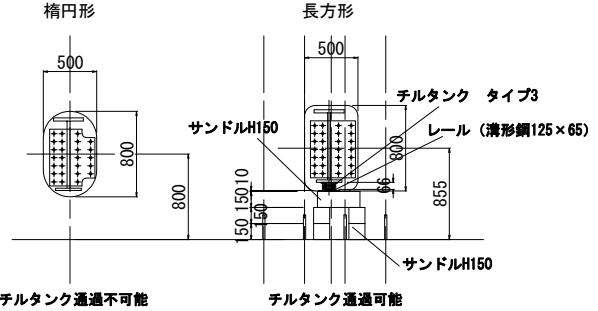
平面図 S=1:300



桁内運搬平面図 S=1:300



マンホール通過状況図 S=1:50



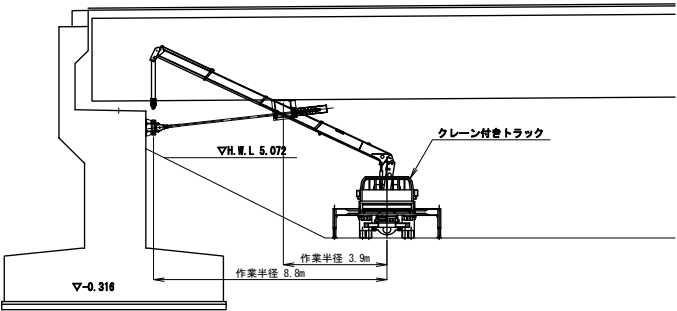
注記) 1. 本図面は、既存資料及び現地計測に基づき、作成した図面である。
2. 工事により、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 資機材搬入・搬出時、仮設等については必要に応じて関係機関と協議を行うこと。

※桁内運搬平面図の詳細は次頁参照

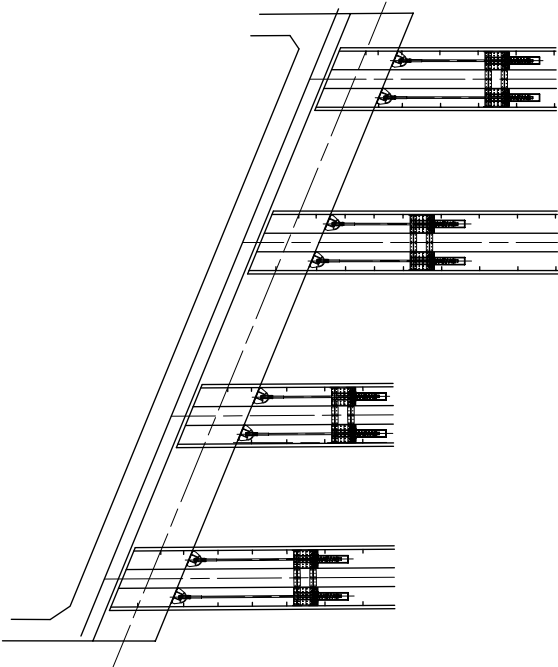
仙台東部道路 新名取川橋脚補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その4) 桁内補強部材の運搬計画搬入 一般図 <P2・P3橋脚>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事業所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

A1橋台

側面図

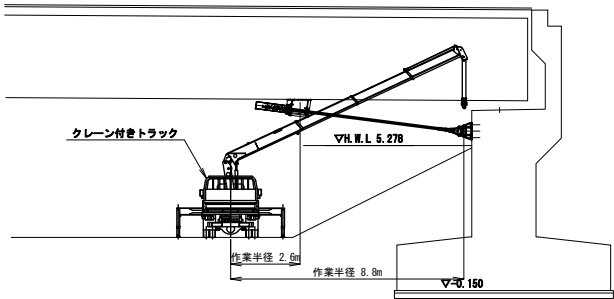


平面図

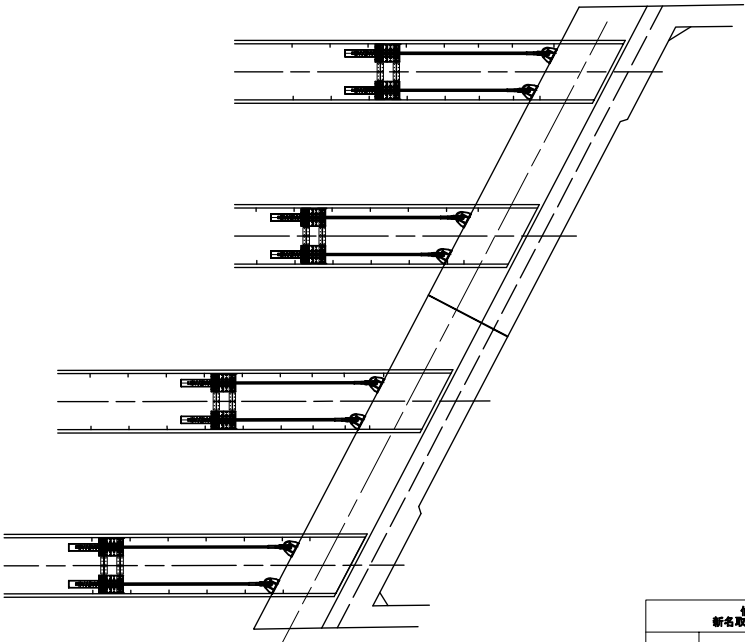


A2橋台

側面図



平面図

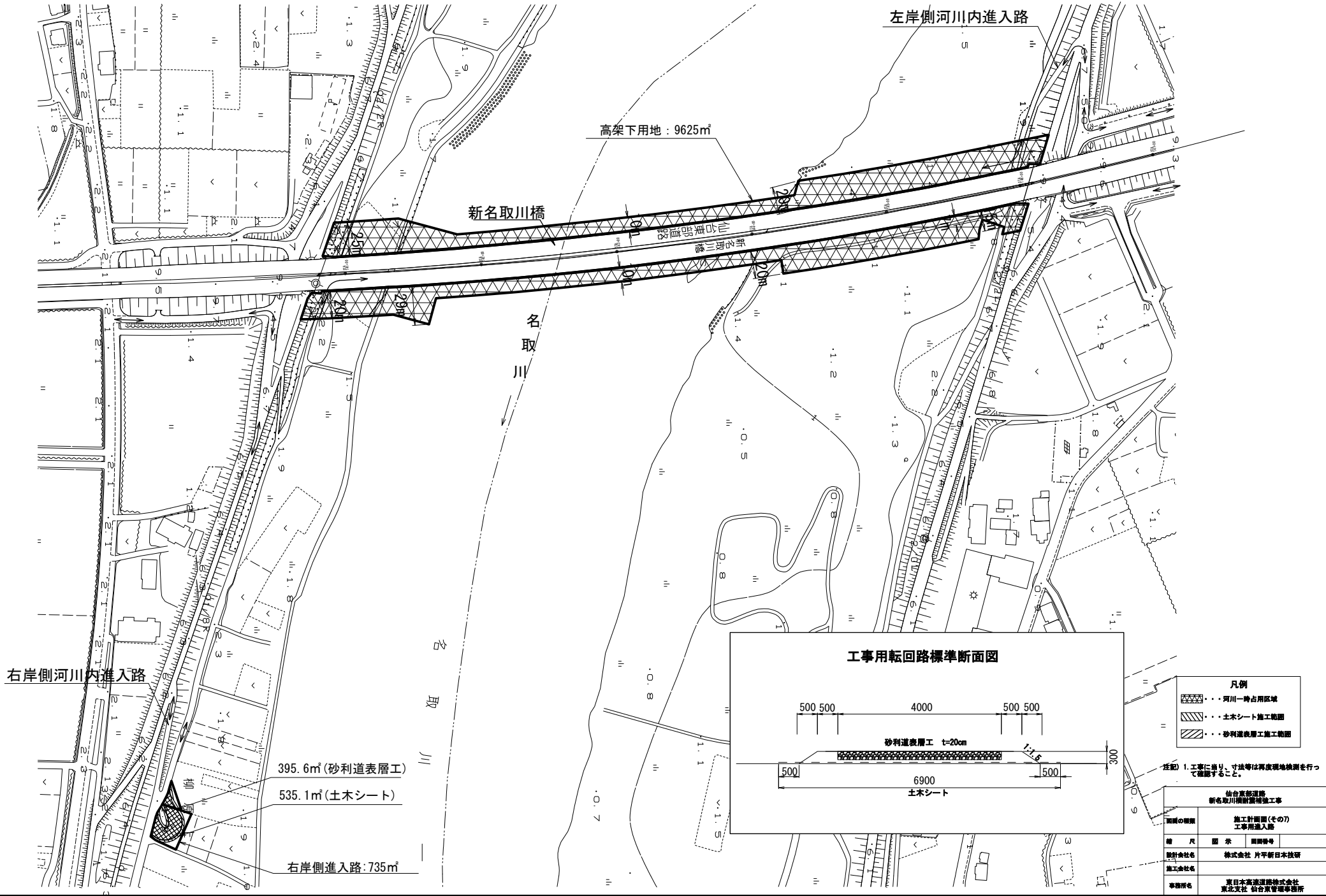


注記) 1. 工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

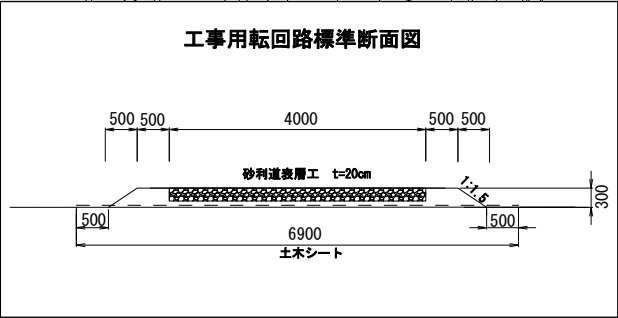
仙台東部道路 新名取川橋前段補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その6) 落橋防止システム〈A1・A2橋台〉		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

施工計画図(その7)

工事用進入路 S=1:2500



工事用転回路標準断面図



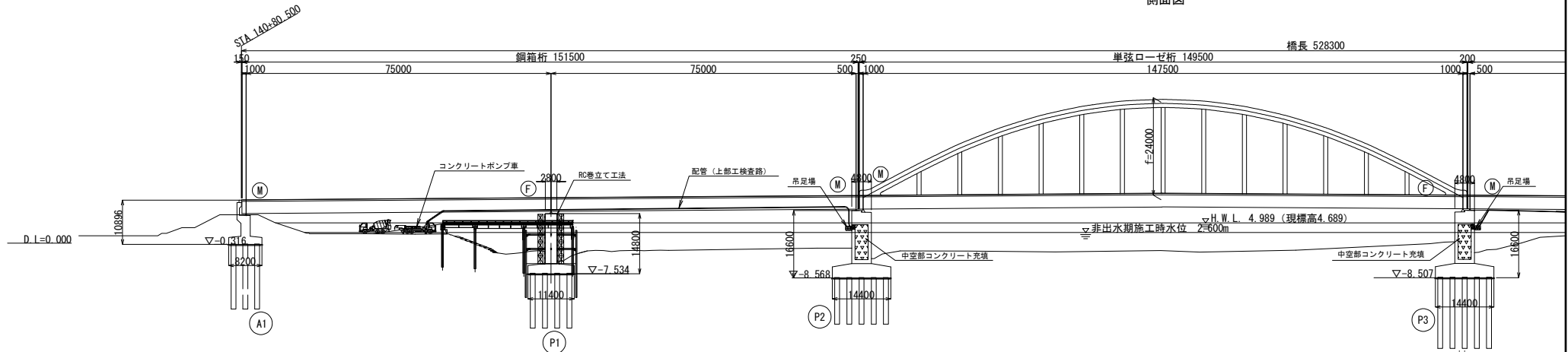
凡例

	河川一時占用区域
	土木シート施工範囲
	砂利道表層工施工範囲

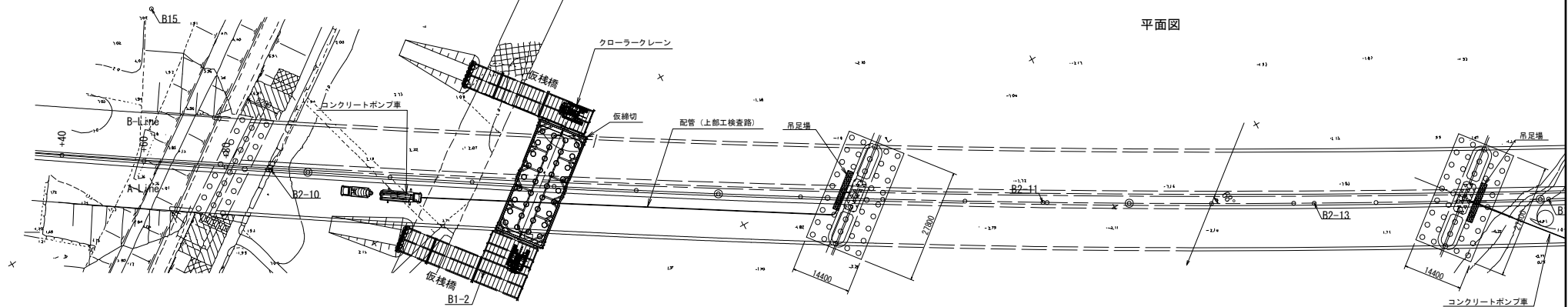
注記) 1. 工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

仙台東部道路 新名取川橋新設補強工事			
計画の概要	施工計画図(その7) 工事用進入路		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

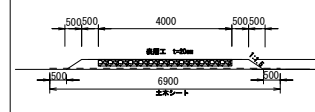
側面図



平面图



假棧橋進入路標準断面図



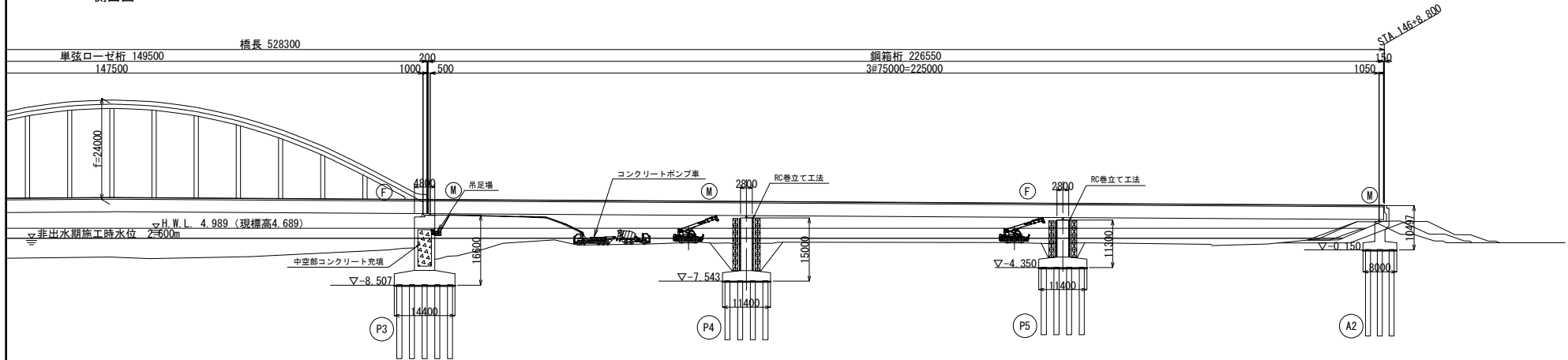
新名取川橋 下部工耐震補強工事一覧

	対象	耐震補強工法・工種	施工方法	摘要
下脚工機脚耐震補強	P1機脚	RC巻立て工法	仮結構・仮締切	
	P2, P3機脚	中空部コンクリート充填工法	ポンプ車圧送・假設足場	
	P4, P5機脚	RC巻立て工法	オープン機脚	

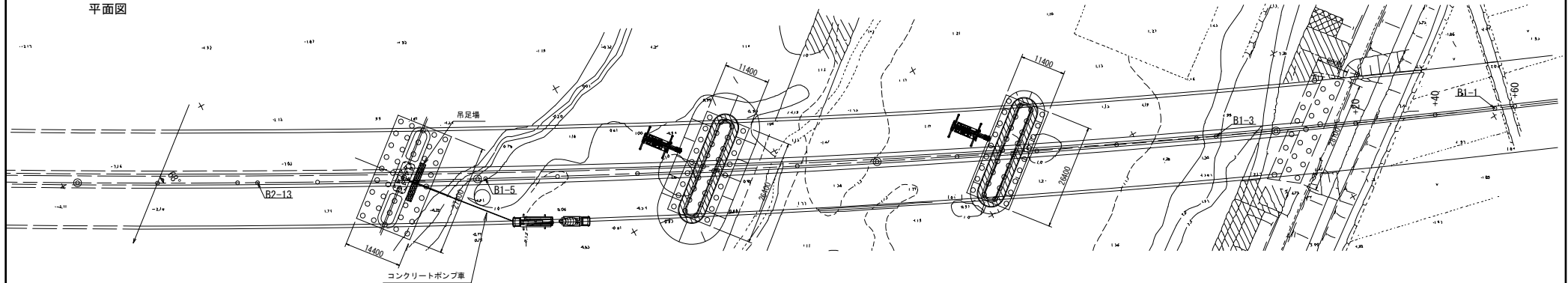
仙台東部道路 新名取川欄柵整備施工事	
図面の種類	施工計画図(参考図)(その8) 右岸側施工計画
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

注記) 1. 標高表記はしゅん功時に合わせて表記している。
2. 現標高への補正は、国土地理院Pより、現標高=しゅん功時標高-0.300mである。
3. 側面図のPI橋脚施工の仮橋脚は、上流側の仮橋脚の状況を示している。

側面図



平面图



新名取川橋 下部工耐震補強工事一覧

	対象	耐震補強工法・工程	施工方法	摘要
下部工橋脚耐震補強	P1 橋脚	RC壁立て工法	仮橋脚・仮斜切	
	P2, P3 橋脚	中空部コンクリート充填工法	ポンプ車圧送・仮設足場	
	P4, P6 橋脚	RC壁立て工法	オーブン側割	

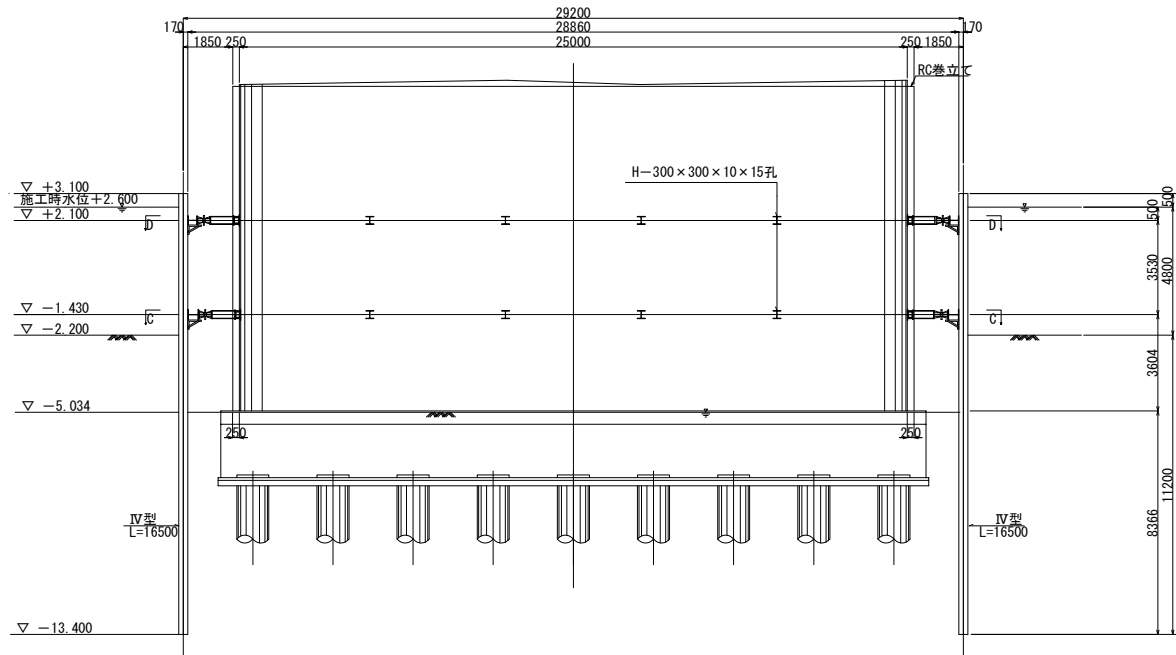
注記) 1. 標高表記はしゅん功時に合わせて表記している。
2. 現標高への補正は、国土地理院IPより、現標高＝しゅん功時標高－0.300mである。
3. 側面図のPI橋脚施工の仮橋脚は、上流側の仮橋脚の状況を示している。

仙台東部道路 新名取川橋梁整備施工工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その9) 左岸側施工計画図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

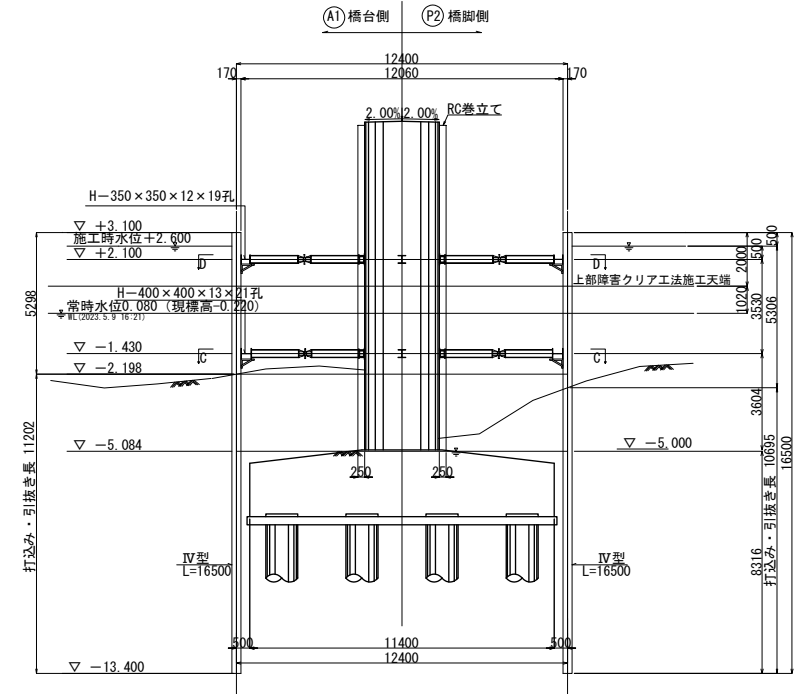
施工計画図(その10)
仮締切工図<P1橋脚>

185/190

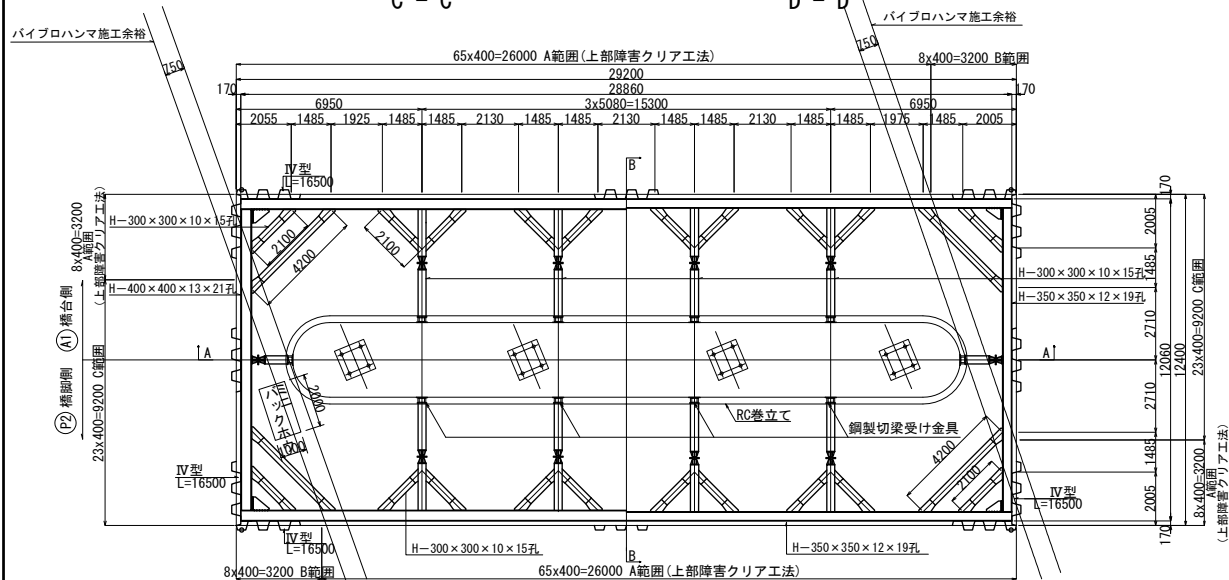
A-A 断面図 S=1:200



B-B 断面図 S=1:200



平面図 S=1:200

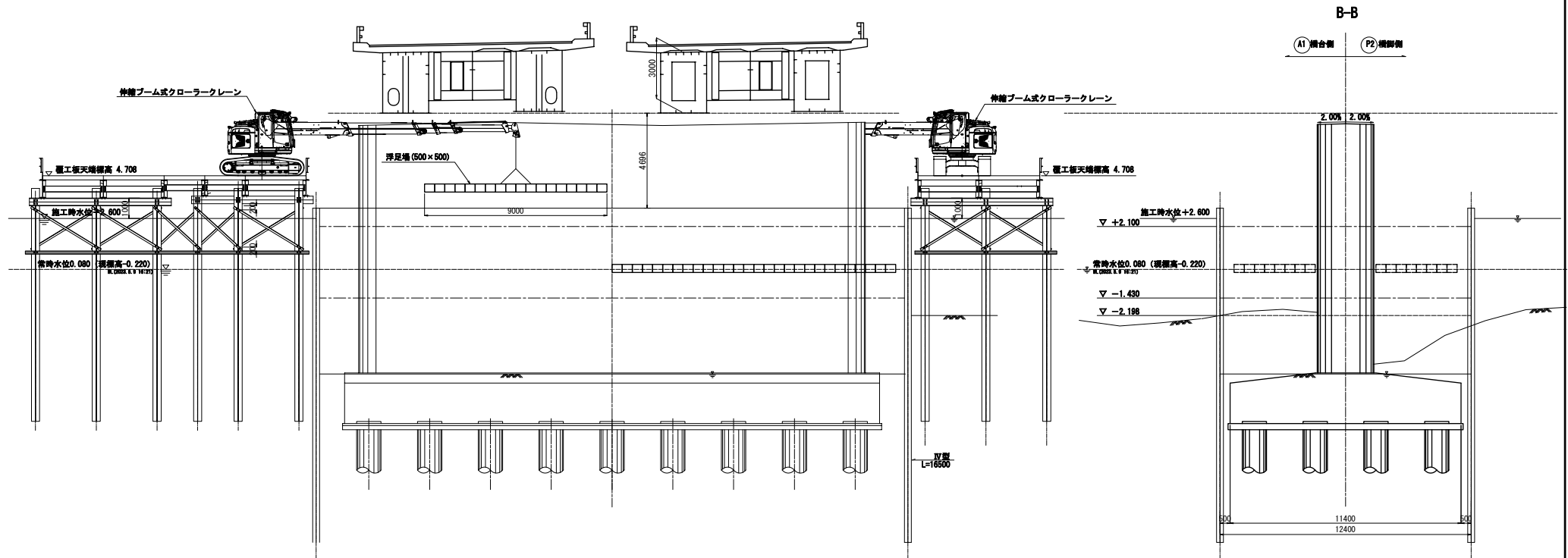


注記) 1. 工事に当たり、寸法等や地質状況は、現地検測を行って確認すること。
2. 基準高への補正は、国土地理院HPより、現標高=しゅん功時標高-0.300mである。

仙台東部道路 新名取川橋前復旧工事			
図面の種類	施工計画図(その10) 仮締切工図<P1橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

施工計画図(参考図)(その12)
仮締切工図 浮足場設置<P1橋脚>

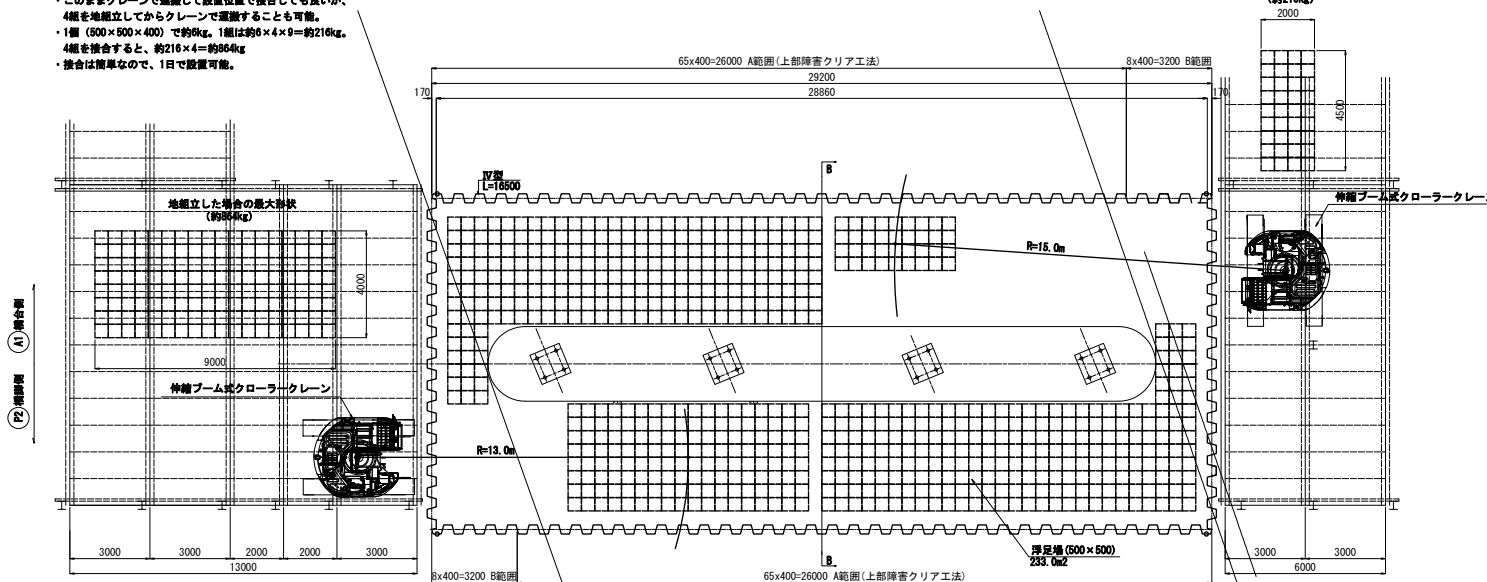
187/190



- 標準的な運搬・組立方法
- ・2.0m×4.5mに組立した状態で運搬。
 - ・1台のトラックで2.0m×4.5mを4組（縦に並べて2段階）運搬。
 - ・このままクレーンで運搬して設置位置で接合しても良いが、4組を地組立してからクレーンで運搬することも可能。
 - ・1個（500×500×400）で約6kg。1組は約6×4×9＝約216kg。
 - ・4組を接合すると、約216×4＝約864kg
 - ・接合は簡単なもので、1日で設置可能。

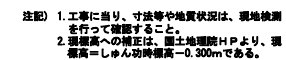
平面図

運搬時の標準的な形状

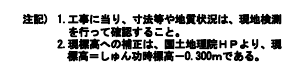


注記) 1. 工事に当たり、寸法等や地質状況は、現地検測を行って確認すること。
2. 堰頂高への補正は、国土地理院HPより、堰頂高＝しゅん功時堰高－0.300mである。

仙台東部道路 新名取川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	施工計画図(参考図)(その12) 仮締切工図 浮足場設置<P1橋脚>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		
事務所名			



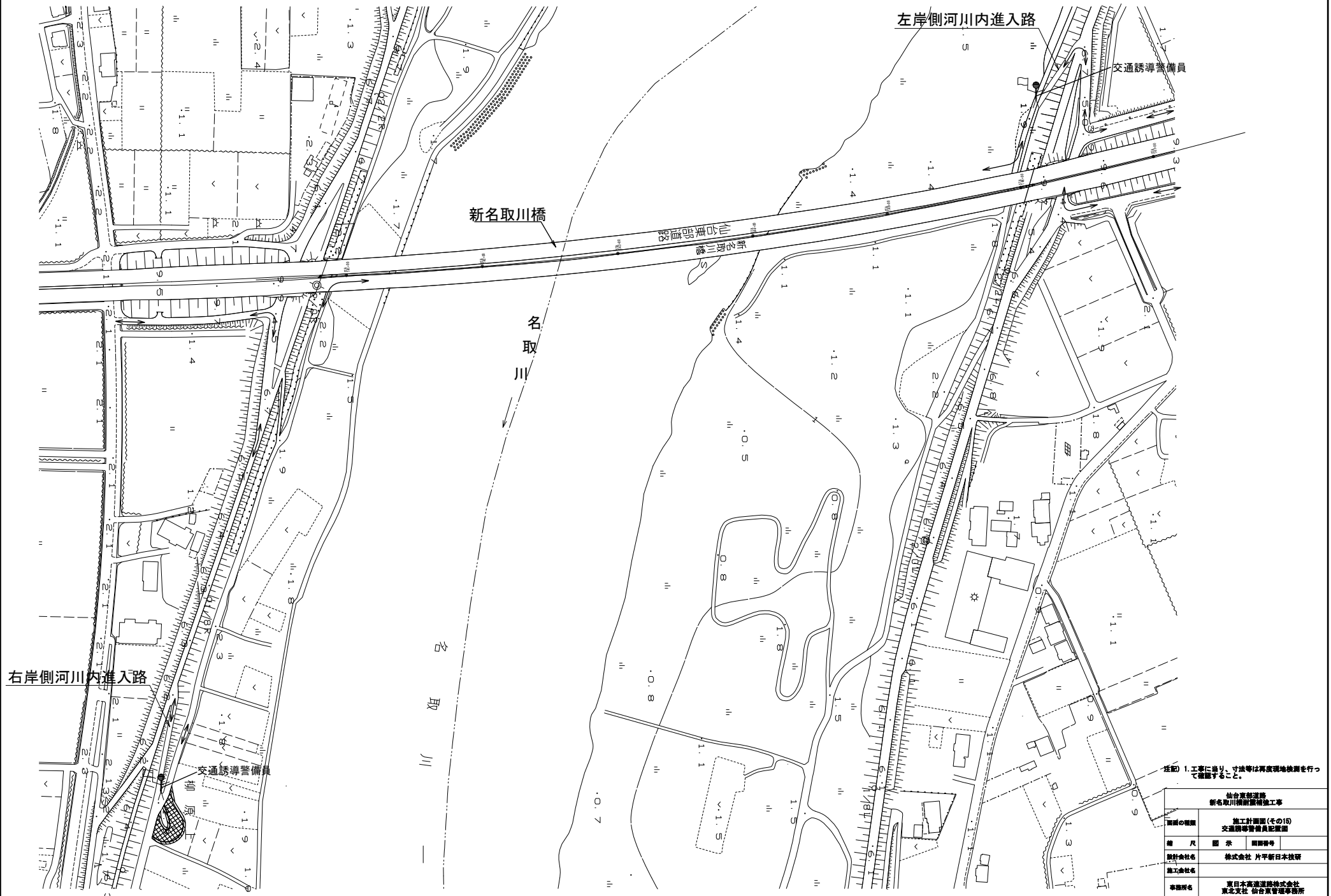
仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事	
図面の種類	施工計画図(参考図) (その13) 仮断切工周 切梁・敷設し設置<P1規模
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所



仙台東部道路 新名取川橋梁復旧工事	
図面の種類	施工計画図(参考図) (その14) 仮締切工面 仮締切内の掘削<P1掘削>
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台営業事務所

施工計画図(その15)
交通誘導警備員配置図 S=1:2500

190/190



仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	施工計画図(その15) 交通誘導警備員配置図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		